

小学校、義務教育学校の前期課程
教科用図書調査研究の結果

(令和6・7・8・9年度使用)

令和5年6月
神奈川県教育委員会

本資料は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律及び同法施行令に基づき、神奈川県内の採択権者が教科用図書を選定するための基礎的な資料として作成した。

本資料は、教科用図書調査研究の各観点に基づき、21の調査項目を定め、全発行者の教科用図書について調査した結果の概要を発行者ごとにまとめたものを「資料Ⅰ」とし、その詳細を「資料Ⅱ」として構成した。

目 次

発行者の記載順は、文部科学省発行の小学校用教科書目録（令和6年度使用）の掲載順による

		ページ
令和6年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点について		観点1～5
教科・種目名	発行者の略称	
国語（国語）	東書 教出 光村	国語1～10
国語（書写）	東書 教出 光村	書写1～10
社会（社会）	東書 教出 日文	社会1～10
社会（地図）	東書 帝国	地図1～6
算数（算数）	東書 大日本 学図 教出 啓林館 日文	算数1～17
理科（理科）	東書 大日本 学図 教出 信教 啓林館	理科1～14
生活（生活）	東書 大日本 学図 教出 信教 光村 啓林館	生活1～16
音楽（音楽）	教出 教芸	音楽1～6
図画工作（図画工作）	開隆堂 日文	図画工作1～6
家庭（家庭）	東書 開隆堂	家庭1～6
体育（保健）	東書 大日本 大修館 文教社 光文 学研	保健1～15
外国語（英語）	東書 開隆堂 三省堂 教出 光村 啓林館	英語1～17
特別の教科 道徳（道徳）	東書 教出 光村 日文 光文 学研	道徳1～15

<参考> 発行者一覧

発行者	発行者の略称	発行者	発行者の略号
東京書籍株式会社	東書	光村図書出版株式会社	光村
大日本図書株式会社	大日本	株式会社帝国書院	帝国
開隆堂出版株式会社	開隆堂	株式会社大修館書店	大修館
学校図書株式会社	学図	株式会社新興出版社啓林館	啓林館
株式会社三省堂	三省堂	日本文教出版株式会社	日文
教育出版株式会社	教出	株式会社文教社	文教社
一般社団法人信州教育出版社	信教	株式会社光文書院	光文
株式会社教育芸術社	教芸	株式会社Gakken	学研

＜本資料の見方＞

1 【資料Ⅰ】と【資料Ⅱ】について

(1) 【資料Ⅰ】

各教科・種目について、発行者ごとに、すべての観点の調査研究の結果の概要を一覧にした。

(2) 【資料Ⅱ】

【資料Ⅱ】は、観点ごとに、調査研究の結果を一覧にした。

2 【資料Ⅰ】の「2 かながわ教育ビジョンとの関連」における④～⑥の観点について

(1) ④の観点である「思いやる力」については、さらに具体的な項目としての（共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 等）から一つを取り上げて記載した。

(2) ⑤の観点である「たくましく生きる力」については、さらに具体的な項目としての（公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 等）から一つを取り上げて記載した。

(3) ⑥の観点である「社会とかかわる力」については、さらに具体的な項目としての（生きること、働くこと、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 等）から一つを取り上げて記載した。

※ 「令和6年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針」より抜粋

令和6年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点について

令和6・7・8・9年度使用小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書が、学習指導要領に定められた各教科の目標や本県の児童の学習等に鑑み、題材等の取扱いが適切なものであるか、工夫や配慮がなされているかという視点に基づき、以下に具体的な「観点」の項目を定める。

ア 教科・種目に共通な観点

(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

- 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。
 - ・ 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮
 - ・ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮
 - ・ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

(4) かながわ教育ビジョンとの関連

- 教育目標（めざすべき人間力像）に掲げた、次の内容に沿っているか。
 - ・ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。
 - ・ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。
 - ・ [社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。

(7) 内容と構成

- 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮
 - ・ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮
- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。
 - ・ 言語能力の確実な育成
 - ・ 伝統や文化に関する教育の充実
 - ・ 体験活動の充実
 - ・ 学校段階間の円滑な接続

- ・情報活用能力の育成
- ・児童の学習上の困難さに応じた工夫

○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。

(I) 分量・装丁・表記等

- 各内容の分量とその配分は適切であるか。
- 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。
- 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。

イ 教科・種目別の観点

(ア) 国語

- 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。
- 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。
- 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。

※ 国語に関しては、書写を除くものとする。

(イ) 書写

- 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。
- 適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。
- 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。

(ウ) 社会

- 社会的事象に関する基礎的な知識や技能などを習得させるための工夫や配慮がなされているか。
- 社会的事象について児童が多面的・多角的に考えられるような工夫や配慮がなされているか。
- 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。

※ 社会に関しては、地図を除くものとする。

(I) 地 図

- 一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。
- 統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達の段階に即したものが適切に取り上げられているか。
- 児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。

(オ) 算 数

- 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。
- 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。
- 目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。

(カ) 理 科

- 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮がなされているか。
- 観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮がなされているか。
- 「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮がなされているか。

(キ) 生 活

- 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。
- 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。
- 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。

(ク) 音 楽

- 「A表現」と「B鑑賞」の教材は、多様な音楽の中から、児童の発達の段階に応じて適切に選択されているか。
- 我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材に工夫や配慮がなされているか。
- 表現（歌唱、器楽、音楽づくり）及び鑑賞、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。

(ケ) 図画工作

- 児童が造形的な見方・考え方を働かせながらつくりだす喜びを味わえるように、表現及び鑑賞の内容や題材は適切に取り上げられているか。
- 児童が経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができるよう、表現及び鑑賞の題材に、工夫や配慮がなされているか。
- 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。

(コ) 家 庭

- 生活の営みに係る見方・考え方を働かせた学習となるよう、題材に工夫や配慮がなされているか。
- 日常生活に必要となる基礎的な知識及び技能の習得を図るために、実践的・体験的な活動を題材として取り上げるなど工夫や配慮がなされているか。
- 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決していく題材として工夫や配慮がなされているか。

(カ) 保 健

- 児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。
- 児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮がなされているか。
- 児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮がなされているか。

(シ) 外国語

- 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
- 小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
- 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。

※ 外国語に関しては、学習者用デジタル教科書（見本版）も調査の対象とする。

(ス) 特別の教科 道徳

- 道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる工夫や配慮がなされているか。
- 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。
- 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がなされているか。

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪国語(国語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(国語-4～国語-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、話したり書いたりするときや、他教科の学習で使える言葉が『言葉の広場』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が『「わたし」の説明文を書こう』など、各単元に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『本は友達』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 『思いやる力』の「生命の尊厳」について、命の尊さや互いに助け合うことを扱った『サーカスのライオン』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 『たくましく生きる力』の「情報化」について、情報を把握する方法について扱った『インターネットの投稿を読み比べよう』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 『社会とかかわる力』の「環境教育」について、自然と人間との関係を扱った『「永遠のごみ」プラスチック』などが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『見通す』『取り組む』『ふり返る』という流れで単元の見通しを示した『学習の流れ』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や社会科などに関連した『発信しよう、私たちのSDGs』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言葉を選び、適切な言語表現について考えるなどの学習活動が『言葉』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『伝えたい言葉』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことを目的や相手を意識して書く学習活動が、『お願いやお礼の手紙を書こう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験をイラストに表した『きこえるよ』や、中学校の学習に繋がる『「言葉の力」をふり返ろう そしてつなごう、中学校へ』などが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報の「収集」「整理」「比較」「発信」などについての学習活動が『未来への情報活用』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、単元の始めに、学習活動を進めるための見通しやヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『メモを取りながら話を聞こう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、伝えたいことを選んで自分の宝物を紹介する学習活動が『たからものをしょうかいしよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、話したり書いたりする時に使う言葉や使い方の例文を示した『言葉の広場』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や内容の本などを紹介した『こんな本もいっしょに』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭詩、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『情報のとびら』『言葉相談室』『言葉』などと、『付録』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 国語 (国語) ≫

※詳細については、資料 II (国語-4～国語-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	ひろがる言葉
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習で使う言葉や関連する言葉などを学習する『言葉の木』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が『クラスの「生き物ブック」』など、各単元に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『〇年生で読みたい本』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「生命の尊厳」について、命の尊さや思いやりについて扱った『わすれられないおくりもの』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報と情報との関係を読み取ることを扱った『アイス暑いほどおいしい?—グラフの読み取り』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「環境教育」について、自然保護を扱った『世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『たしかめよう』『くわしくよう』『まとめよう』『つたえあおう』という単元の流れを示した『見通しをもとう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や社会科などに関連した『パネルディスカッション—地域の防災』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、読点の適切な使い方について考えるなどの学習活動が『言葉の広場』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『言葉の文化』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、見学等の体験を通して収集した情報を文章に書く学習活動が『リーフレットでほうこく』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の経験と小学校入学期をイラストに表した『なかよしのみち』、中学校の学習に繋がる『出会った言葉をふり返ろう』などが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、集めた情報をどのように活用するかについて考える学習活動が『十二歳の主張』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習活動を進めるための要点やヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『じこしょうかいビンゴゲーム』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、みんなでやりたい遊びについて話し合う学習活動が『「クラスお楽しみ会」をひらこう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、単元で学んだ言葉と関連のある言葉を示した『言葉を増やそう』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する本やそのあらすじなどを紹介した『本を読もう』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭文、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『言葉の文化』『漢字の広場』『読書の広場』などと、『付録』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したオリジナルフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪国語(国語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(国語-4～国語-10)を参照。

発行者の略称	光村	書名	国語 創造
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習の中で話したり書いたりするときに役立つ言葉を扱った『言葉の宝箱』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が『たから島のぼうけん』など、各単元に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『本の世界を広げよう』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、命の尊さや平和への思いについて扱った『ちいちゃんのかげおくり』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、身の回りにある情報の読み方を扱った『インターネットでニュースを読もう』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然の仕組みを扱った『自然環境を守るために』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『とらえよう』『ふかめよう』『まとめよう』『ひろげよう』という単元の流れを示した『見通しをもとう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や社会科などに関連した『未来につなぐ工芸品』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言葉と言葉の繋がりについて考えるなどの学習活動が『言葉』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『古典の世界』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験を通して、お世話になった人へお礼の手紙を書く学習活動が『お礼の気持ちを伝えよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験をイラストに表した『はるがきた』、中学校の学習に繋がる『卒業するみなさんへ』などが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、「話す・聞く」「書く」「読む」と関連した情報を活用する学習活動が『情報と情報をつなげて伝えるとき』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習活動を進める中で、参考となる考えの例やヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『おすすめの一さつを決めよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、友だちの相談を聞いて話し合う学習活動が『そうだんにのってください』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、話したり書いたりする時に使う言葉や関連のある言葉をまとめた『言葉の宝箱』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、教材を書いた作者の他の作品や関連のある本などを紹介した『この本、読もう』が掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭詩、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『言葉』『情報』『本は友達』などと、『付録』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名≪国語(国語)≫

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、話したり書いたりするときや、他教科の学習で使える言葉が『言葉の広場』に掲載されている。第2学年では『学校にあるものの名前』、第4学年では『引用するとき使う言葉』、第6学年では『原因と結果を表す言葉』などが掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習で使う言葉や関連する言葉などを学習する『言葉の木』が掲載されている。第2学年では『ほんたいのいみの言葉』、第4学年では『気持ちの木』、第6学年では『慣用句の木』などが掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、学習の中で話したり書いたりするときに役立つ言葉を扱った『言葉の宝箱』が掲載されている。第2学年では『ものようすをあらわすことば』、第4学年では『気持ちを表す言葉』、第6学年では『事物を表す言葉』などが掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が各単元に設定されている。第1学年では、「話すこと・聞くこと」の『小学校のことをしょうかいしよう』に「出来事の順に話す」、第3学年では、「書くこと」の『「わたし」の説明文を書こう』に「中心を決めて、文章の組み立てを考える」、第5学年では「読むこと」の『インターネットは冒険だ』に「要旨をまとめる」などの学習活動が設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が各単元に設定されている。第1学年では、「話すこと・聞くこと」の『はじめてした学校のこと』に「話を聞きに行く」、第3学年では、「書くこと」の『クラスの「生き物ブック」』に「組み立て表を作る」、第5学年では「読むこと」の『いつか、大切なところ』に「登場人物の心情をまとめる」などの学習活動が設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の資質・能力を育成するための学習活動が各単元に設定されている。第1学年では、「話すこと・聞くこと」の『これは、なんでしょう』に「ふたりで考える」、第3学年では、「書くこと」の『たから島のぼうけん』に「書き方を工夫する」、第5学年では「読むこと」の『やなせたかしーアンパンマンの勇氣』に「生き方を考える」などの学習活動が掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『本は友達』に掲載されている。第2学年では『スーホの白い馬』、第4学年では『エンザロ村のかまど』、第6学年では『六千人の命を救え！外交官・杉原千畝』などが掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『〇年生で読みたい本』に掲載されている。第2学年では『へいわって すてきだね』、第4学年では『災害救助犬レイラ』、第6学年では『汽笛』などが掲載されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や社会について書かれた複数の分野の図書が『本の世界を広げよう』に掲載されている。第2学年では『犬のハナコのおいしゃさん』、第4学年では『手話でつながる世界2 くらべよう！世界の手話』、第6学年では『希望、きこえる？ルワンダのラジオに子どもの歌が流れた日』などが掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、命の尊さや互いに助け合うことを扱った教材が掲載されている。第1学年では『子どもを まもる どうぶつたち』、第3学年では『サーカスのライオン』、第5学年では『大造じいさんとガン』などの教材が掲載されている。
教出	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、命の尊さや思いやりについて扱った教材が掲載されている。第1学年では『お手がみ』、第3学年では『わすれられないおくりもの』、第5学年では『大造じいさんとガン』などの教材が掲載されている。
光村	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、命の尊さや平和への思いについて扱った教材が掲載されている。第1学年では『どうぶつの 赤ちゃん』、第3学年では『ちいちゃんのかげおくり』、第5学年では『たずねびと』などの教材が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報をどのように把握するかについて扱った教材が掲載されている。第2学年では『本でしらべる』、第4学年では『広告を読みくらべよう』、第6学年では『インターネットの投稿を読み比べよう』などが掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報と情報との関係を読み取ることを扱った教材が掲載されている。第2学年では『この間に何があった?』、第4学年では『ウミガメの命をつなぐ』、第6学年では『アイスは暑いほどおいしい?—グラフの読み取り』などが掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「情報化」について、身の回りにある情報の読み方を扱った教材が掲載されている。第2学年では『みの回りのものをよもう』、第4学年では『パンフレットを読もう』、第6学年では『インターネットでニュースを読もう』などが掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然と人間との関係を扱った教材が掲載されている。第1学年では『子どもを まもる どうぶつたち』、第3学年では『カミツキガメは悪者か』、第6学年では『「永遠のごみ」プラスチック』などが掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然保護を扱った教材が掲載されている。第1学年では『うみへの ながい たび』、第3学年では『めだか』、第5学年では『世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう』などが掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然の仕組みを扱った教材が掲載されている。第1学年では『どうぶつの 赤ちゃん』、第3学年では『ありの行列』、第5学年では『自然環境を守るために』などが掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、『見通す』『取り組む』『振り返る』という流れで単元の見通しを示した『学習の流れ』が掲載されている。第4学年『走れ』の単元では、『取り組む』に「たしかめる」「考える」「話し合う」学習活動が設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、『たしかめよう』『くわしくよもう』『まとめよう』『つたえあおう』という単元の流れを示した『見通しをもとう』が掲載されている。第4学年『一つの花』では、『くわしくよもう』に「考える」「話し合う」学習活動が設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、『とらえよう』『ふかめよう』『まとめよう』『ひろげよう』という単元の流れを示した『見通しをもとう』が掲載されている。第4学年『スワンレイクのほとり』では、「考える」「伝え合う」学習活動が設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や理科、社会科など他教科等と関連した教材や日常生活に関連した教材が掲載されている。第2学年では、生活科に関連した『かんさつしたことを書こう』、第4学年では、理科や総合的な学習の時間に関連した『ヤドカリとイソギンチャク』、第6学年では、社会科や総合的な学習の時間に関連した『発信しよう、私たちのSDGs』などが掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や理科、社会科など他教科等と関連した教材や日常生活に関連した教材が掲載されている。第2学年では、生活科に関連した『おもしろいもの、見つけたよ』、第4学年では、総合的な学習の時間や理科に関連した『ぞうの重さを量る』、第6学年では、総合的な学習の時間や社会科に関連した『パネルディスカッション—地域の防災』などが掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、総合的な学習の時間や理科、社会科など他教科等と関連した教材や日常生活に関連した教材が掲載されている。第2学年では、生活科に関連した『かんさつ名人になろう』、第4学年では、総合的な学習の時間や社会科に関連した『未来につなぐ工芸品』、第6学年では、社会科や理科に関連した『公共図書館を活用しよう』などが掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、言葉を選び、適切な言語表現について考えるなどの学習活動が『言葉』に設定されている。第2学年では『ことばあそびを 楽しもう』、第4学年では『言葉の意味と使い方』、第6学年では『表現をくふうする』などに設定されている。
教出	言語能力の育成について、読点の適切な使い方について考えるなどの学習活動が『言葉の広場』に設定されている。第2学年では『主語とじゅつ語』、第4学年では『点()を打つところ』、第6学年では『なぜ、わかり合えなかったのかな?』などに設定されている。
光村	言語能力の育成について、言葉と言葉の繋がりについて考えるなどの学習活動が『言葉』に設定されている。第2学年では『主語と述語に気をつけよう』、第4学年では『つながりに気をつけよう』、第6学年では『使える言葉にするために』などに設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『伝えたい言葉』が掲載されている。第3学年では、松尾芭蕉などの句を扱った『俳句に親しもう』、第5学年では古典『竹取物語』などを扱った『いにしへの言葉に親しもう』などが掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『言葉の文化』が掲載されている。第3学年では松尾芭蕉などの句を扱った『俳句に親しむ』、第5学年では古典『竹取物語』などを扱った『「古典」を楽しむ』などが掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、昔話、古典、俳句、短歌などを扱った『古典の世界』などが掲載されている。第3学年では松尾芭蕉などの句を扱った『俳句を楽しもう』、第5学年では古典『竹取物語』などを扱った『古典の世界』などが掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、体験したことを目的や相手を意識して書く学習活動が、第4学年『お願いやお礼の手紙を書こう』に設定されている。また、町で見つけたことについて、組み立てを考えて話す学習活動が、第2学年『町で見つけたことを話そう』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、見学等の体験を通して収集した情報を文章に書く学習活動が、第4学年『リーフレットでほうこく』に設定されている。また、町探検してわかったことについて、組み立てを考えて話す学習活動が、第2学年『町の「すてき」をつたえます』に設定されている。
光村	体験活動の充実について、体験を通して、お世話になった人へお礼の手紙を書く学習活動が、第4学年『お礼の気持ちを伝えよう』に設定されている。また、行事等で体験したことについて、組み立てを考えて話す学習活動が、第2学年『楽しかったよ、二年生』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期での体験的な遊びをイラストに表した『きこえるよ』が掲載されている。また、第6学年では、小学校での学習の成果を振り返り、中学校の学習に繋がる『「言葉の力」をふり返ろう そしてつなごう、中学校へ』などが掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期での体験や小学校の入学期をイラストに表した『なかよしの みち』が掲載されている。また、第6学年では、小学校の学習事項をまとめ、中学校の学習に繋がる『出会った言葉をふり返ろう』などが掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期での体験的な遊びや遊びの経験をイラストに表した『はるが きた』が掲載されている。また、第6学年では、小学校での学習を振り返り、まとめ、中学校の学習に繋がる『卒業するみなさんへ』などが掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報の「収集」「整理」「比較」「発信」などについての学習活動が『情報のとびら』に設定されている。第2学年では『じゅんじょ』、第4学年では『観点を立ててくらべる』、第6学年では『未来への情報活用』などに設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、集めた情報をどのように活用するかについて考える学習活動が設定されている。第2学年では『町の「すてき」をつたえます』、第4学年では『クラスの「不思議ずかん」を作ろう』、第6学年では『十二歳の主張』などに設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、「話す・聞く」「書く」「読む」と関連した情報を活用する学習活動が『情報』に設定されている。第2学年では『メモをとる とき』、第4学年では『要約するとき』、第6学年では『情報と情報をつなげて伝えるとき』などに設定されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、単元の始めに、学習活動を進めるための見通しやヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。第3学年『クラスの思い出作りのために』では、単元の始めに単元全体を見通し、学習の始めで困らないヒントがイラストの吹き出しに掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、学習活動を進めるための要点やヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。第3学年『強く心にのこっていることを』では、分かりやすい作文にするための推敲の学習で、修正する要点や修正点のヒントがイラストの吹き出しに掲載されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、学習活動を進める中で、参考となる考えの例やヒントなどが、イラストの吹き出しに掲載されている。第3学年『気持ちをこめて、「来てください」』では、手紙を書く相手を決めて、伝える内容を考える時のヒントとなる具体例がイラストの吹き出しに掲載されている。

⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第3学年『メモを取りながら話を聞こう』や第6学年『三字以上の熟語の構成』などに示され、動画、言葉に関する練習問題などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第3学年『じこしょうかいビンゴゲーム』や第6学年『あなたは作家』などに示され、学習の手順などを示した動画、文章を書くためのモデル文などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第3学年『おすすめの一さつを決めよう』や第6学年『課題の見つけ方、調べ方』などに示され、話し合いの動画、自分が知りたいことを調べる方法などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	各領域の資質・能力を育成することについて、「話すこと・聞くこと」では、伝えたいことを選んで自分の宝物を紹介する学習活動が、第2学年『たからものをしょうかいしよう』、「書くこと」では、相手や目的を考えて手紙を書く学習活動が、第4学年『お願いやお礼の手紙を書こう』、「読むこと」では、インターネットの投稿を読み比べて説得の工夫を考える学習活動が、第6学年『インターネットの投稿を読み比べよう』に設定されている。
教出	各領域の資質・能力を育成することについて、「話すこと・聞くこと」では、みんなでやりたい遊びについて話し合う学習活動が第2学年『「クラスお楽しみ会」をひらこう』、「書くこと」では、不思議に思ったことを調べてまとめる学習活動が、第4学年『クラスの「不思議ずかん」を作ろう』、「読むこと」では、文章と資料を関連付けて読む学習活動が、第6学年『雪は新しいエネルギー—未来へつなぐエネルギー社会』に設定されている。
光村	各領域の資質・能力を育成することについて、「話すこと・聞くこと」では、友だちの相談を聞いて話し合う学習活動が第2学年『そうだんにのってください』、「書くこと」では、お礼の気持ちが伝わる手紙を書く学習活動が、第4学年『お礼の気持ちを伝えよう』、「読むこと」では、インターネットのニュースサイトを読む方法を知る学習活動が、第6学年『インターネットでニュースを読もう』に設定されている。
⑰ 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	語彙を豊かにすることについて、話したり書いたりする時に使う言葉や使い方の例文を示した『言葉の広場』が掲載されている。第1学年では『学校』、第3学年では『思いや考えを表す言葉』、第5学年では『例を示すときに使う言葉』などが掲載されている。
教出	語彙を豊かにすることについて、単元で学んだ言葉と関連のある言葉を示した『言葉を増やそう』が掲載されている。第1学年では『お手がみ』、第3学年では『わすれられないおくりもの』、第5学年では『まんがの方法』などに関連のある言葉が掲載されている。
光村	語彙を豊かにすることについて、話したり書いたりする時に使う言葉や関連のある言葉をまとめた『言葉の宝箱』が掲載されている。第1学年では『気持ちをあらわす言葉』、第3学年では『人物を表す言葉』、第5学年では『事物を表す言葉』などが掲載されている。
⑱ 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や内容の本などを紹介した『こんな本もいっしょに』が掲載されている。第3学年『モチモチの木』では、同じ作者が書いた他の作品や、関連のある本が掲載されている。
教出	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する本やそのあらすじなどを紹介した『本を読もう』が掲載されている。第3学年『白い花びら』では、同じ作者が書いた他の作品や、関連のある本が掲載されている。
光村	読書活動の充実を図ることについて、教材を書いた作者の他の作品や関連のある本などを紹介した『この本、読もう』が掲載されている。第3学年『三年とうげ』では、語り伝えられてきた世界の民話や昔話が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	巻頭詩、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『情報のとびら』『言葉相談室』『言葉』などと、『付録』で構成されている。
教出	巻頭文、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『言葉の文化』『漢字の広場』『読書の広場』などと、『付録』で構成されている。
光村	巻頭詩、『目次』、『話す・聞く』『書く』『読む』『言葉』『情報』『本は友達』などと、『付録』で構成されている。
⑲ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB5判が採用されている。
教出	判型はB5判が採用されている。
光村	判型はB5判が採用されている。
⑳ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したオリジナルフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン（後略）』『児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第5学年 68ページ 107ページ 第6学年 105ページ	『いにしえの言葉に親しもう』『平家物語』 『本は友達 五年生の本だな』『タマゾン川』（多摩川） 『本は友達 六年生の本だな』『葛飾北斎』
教出	第5学年 下24ページ 第6学年 下128ページ 下143ページ	『「古典」を楽しむ』『平家物語』 『薫風』 湯河原 『6年生で読みたい本④』『葛飾北斎』
光村	第4学年 下47ページ 第5学年 73ページ	『未来につなぐ工芸品』「箱根寄木細工（神奈川県）」 『古典の世界（一）』『平家物語』

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)

発行者名	総冊数	1年上	1年下	2年上	2年下	3年上	3年下	4年上	4年下	5年上	5年下	6年上	6年下
東書	10	267	304	279	294	293	302	293	281	494		498	
教出	12	268	323	301	308	300	294	322	314	294	335	293	307
光村	10	237	242	283	289	284	289	277	305	493		520	

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-4～書写-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい 書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされている。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元に、身につける知識・技能のポイントを示した『書写のかぎ』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、見出しと記事の内容を考えて新聞を書くなどの学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、課題の設定から生活に広げるまでの学習活動が『書写の学び方』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、他者との関わりを取り入れたお礼の手紙を書くなどの学習活動が『学びをいかそう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書く活動など学校内外の人々との交流を図る学習活動が『学びを生かそう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、地域行事に関する日記や、工場見学などについて新聞を書く学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げよう』という流れで学習の見通しを示した『書写の学び方』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、生活科の観察カードを書くなど、他教科等と関連する学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、手紙を書くなど、学習した『書写のかぎ』に示された書き方をする学習活動が『学びを生かそう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや書き初めの歴史などについて取り上げた『文字といっしょに』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生活に生かして書く学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、あいさつや花の名前などの身の回りの文字が示された『がっこうにはどんなもじがあるかな』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、リーフレットを書くなど、書写で学習したことを自分の生活と結び付ける学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、折れや払いなどを点や点線などで示した文字や、写真、イラストが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『漢字同士の大きさ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、硬筆で課題を見つけ、毛筆で課題の解決に取り組み、硬筆で振り返る学習活動の流れが『書写の学び方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、毛筆では筆使いを朱墨の濃淡や赤い点線などで示した『毛筆で書いてみよう』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立つ観点について、実験記録を書くなど、学習したことを他教科での学習や生活に広げていく学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとに1冊で構成されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判変型が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-4～書写-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	小学 書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされている。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元に、身につける知識・技能のポイントを示した『めあて』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、読み手を意識してポスターを書くなどの学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、書写で学習したことを学校生活や日常生活で実際に活用するまでの学習活動が『学習の進め方』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、感謝の気持ちを手紙に書いたり、お世話になった方への招待状を書いたりする学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、毛筆を用いて年賀状を書くなどの学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、町探検でお世話になった方へのパーティーの招待状や、見学先へのお礼状を書く学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げよう』という流れで学習の見通しを示した『書写の学び方』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科の実験記録を書くなど、他教科等と関連する学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、新聞の作成など、学習したことを生活や授業で生かす学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字や平仮名の成り立ちや、様々な郷土かるたなどについて取り上げた『文字の世界』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験をもとに観察カードや新聞やポスターなどを書く学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、ポスターや教室表示など、身の回りの文字が『みつけてみようかいてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、総合的な学習の時間にポスターを書くなど、書写で学習したことを他の教科等や日常生活に生かす学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨や朱墨で示された文字に点や矢印などを示した文字や、写真やイラストが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『文字の大きさ(漢字と平仮名)』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、学習の始めに硬筆や毛筆で試し書きをし、学習後にまとめ書きをする学習の流れが『学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡や矢印、点などで筆使いを示した『点画の種類』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立てる観点について、手紙を書くなど、書写で学んだことを他教科等での学習や生活の場面で用いる学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとに1冊で構成されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-4～書写-10)を参照。

発行者の略称	光村	書名	書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○『教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された『資質・能力』の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされている。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元の冒頭に、身につける知識・技能のポイントを示した『ねらい』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、文字の大きさや配列に注意してリーフレットを作るなどの学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、気づいたことを話し合い、できたところを確かめあう学習活動が『学習の進め方』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、相手に気持ちが伝わるように手紙を書くなどの学習活動が『書写ひろげたい』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、他者と交流を図るために手紙を書くなどの学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、お世話になった方へのお礼状や手紙を書く、新聞を読み取る学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『考えよう、確かめよう、生かそう』という流れで学習の見通しを示した『学習の進め方』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科などで新聞やポスターを書くなど、他教科等と関連する学習活動が『書写ブック』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、リーフレットの作成など、情報を整理したりまとめたりして書く学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、書き初めの意味や歴史などについて取り上げた『書きぞめ』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことを理科など他教科と関連させて書く学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、教室表示などの身の回りの文字や、字を書く姿勢などが『しよしやすたーとぶっく』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、手紙を書くなど、書写で学習したことを生活科など他教科と関連させて生かす学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、筆の流れを赤い点線で示した文字や、写真やイラストなどが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『用紙に合った文字の大きさ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で学習した内容を生かして硬筆で書く学習活動の流れが『学習の進め方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 正しい運筆の能力の育成について、毛筆では朱墨の濃淡やキャラクターの顔の向きなどで筆使いを示した『点画の種類』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活に役立つ観点について、お礼状を書くなど、書写で学んだことを他教科等での学習や生活につなげる学習活動が『書写広げたい』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学年ごとに1冊で構成されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判変型が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『タイトルや「たいせつ」には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《国語(書写)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く『知識・技能』を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、各単元に、身につける知識・技能のポイントを示した『書写のかぎ』が掲載されている。第6学年では、道具の準備の仕方や書きやすい姿勢、これまでに学習した点画の種類と毛筆での書き方の留意点などが示された『学習の準備をしよう』が掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各単元に、身につける知識・技能のポイントを示した『めあて』が掲載されている。第6学年では、書写の学習の進め方やこれまでに学習した点画の種類と毛筆で書く際の留意点、正しい姿勢と道具の扱い方などについて示した『はじめの学習』が掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各単元の冒頭に、身につける知識・技能のポイントを示した『ねらい』が掲載されている。第6学年では、これまでに学習した点画の種類や毛筆で書く際の点画のつながり、部分の組み立て方の留意点などが示された『書写ブック』が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力等』の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、見出しと記事の内容を考えて新聞を書くなどの学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。書写の学習の流れが『書写の学び方』に掲載されている。巻頭では、『書写のかぎ』の考え方が理解しやすいよう『おかしな○○』が漫画形式で掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、読み手を意識してポスターを書くなどの学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。めあてに沿って考える学習活動を位置付けた『学習の進め方』が掲載されている。単元ごとに「ためし書き」と「まとめ書き」を行い、児童同士でふり返ったり友達と伝え合ったりするように設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、文字の大きさと配列に注意してリーフレットを作るなどの学習活動が『書写広げたい』に設定されている。書写の学習の進め方が『学習の進め方』に掲載されている。第6学年では、文字は書く人によって味わいが異なることを示す資料が掲載され、自身の文字を振り返る学習の流れが示された『私の文字』が掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、課題の設定から生活に広げるまでの学習活動が『書写の学び方』に設定されている。第6学年では、学習してきたことをどのように生かしたか、また、これからどのように生かすかを話し合う学習活動が『書写展覧会を開こう』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、書写で学習したことを学校生活や日常生活で実際に活用するまでの学習活動が『学習の進め方』に設定されている。第6学年では、書写で学習したことを卒業制作として書く学習活動が『書いて、伝え合おう』に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、気づいたことを話し合い、できたところを確かめあう学習活動が『学習の進め方』に設定されている。第6学年では、小学校6年間で身に付けたことを生かして作品を制作する学習活動が『今の思いを書き残そう』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、他者との関わりを取り入れたお礼の手紙を書くなどの学習活動が『学びをいかそう』に設定されている。第4学年では、学習したことを生かして礼状を書く学習活動が『お礼の気持ちを手紙で伝えよう』に設定されている。第5学年では、カードや寄せ書きを書く学習内容が『六年生における言葉を書こう』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、感謝の気持ちを手紙に書いたり、お世話になった方への招待状を書いたりする学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。第4学年では、役割を分担して新聞を作成する学習活動が『学級新聞を作ろう』に設定されている。第5学年では、様々な国の「こんにちは」を紹介した『せかいの「こんにちは」』が掲載されている。
光村	[思いやる力]の「共生」について、相手に気持ちが伝わるように手紙を書くなどの学習活動が『書写ひろげたい』に設定されている。第4学年では、「未来を作るアイデア」を示した『みんなで考えようSDGsブック』が掲載されている。第5学年では、英語で書いた自己紹介カードの例が『英語で書いてみよう』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書く活動など学校内外の人々との交流を図る学習活動が『学びを生かそう』に設定されている。第2学年では、感謝の気持ちを手紙に書く学習活動が『「ありがとう」をつたえよう』に設定されている。第6学年では、展覧会を開いて友達と感想を伝え合う学習活動が『書写展覧会を開こう』に設定されている。
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、毛筆を用いて年賀状を書くなどの学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。第2学年では、お薦めの本のカードを友達と見合い感想を伝え合う学習活動が『しょうたいじょう、本のしょうかいカードを書こう』に設定されている。第6学年では、友達同士で確かめながら作品や寄せ書きを制作する学習活動が『思い出に残る言葉を書こう』に設定されている。
光村	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、他者と交流を図るために手紙を書くなどの学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第2学年では、お世話になった方へのお礼状を書く学習活動が『よこ書きの書き方』に設定されている。第6学年では、構成や割付を考えてパンフレットを書く学習活動が『パンフレットの書き方』に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、地域行事に関する日記や、工場見学などについて新聞を書く学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第1学年では、お祭りに行った日記の例示が『にっきをかこう』に掲載されている。第5学年では、委員会の仕事について活動報告のリーフレットを作成する学習活動が『委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、町探検でお世話になった方へのパーティーの招待状や、工場の見学先へのお礼状を書く学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第2学年では、お世話になった方へ招待状を書く学習活動が『しょうたいじょう、本のしょうかいカードを書こう』に設定されている。第5学年では、書く相手や目的に応じた言葉遣いで手紙を書く学習活動が『工場見学のお礼の手紙』に設定されている。
光村	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、お世話になった方へのお礼状や手紙を書く、新聞を読み取る学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第2学年では、お世話になった方へのお礼状が『よこ書きの書き方』に掲載されている。第5学年では、東日本大震災の際に手書きで発行された新聞からどのような印象を受けるか考える学習活動が『手書きの力』に設定されている。

3 内容と構成

○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、『見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げよう』という流れで学習の見通しを示した『書写の学び方』が掲載されている。第6学年では、展覧会を開いて友達と感想を伝えあう学習活動が『書写展覧会を開こう』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、『見つけよう、確かめよう、生かそう、振り返ろう、生活に広げよう』という流れで学習の見通しを示した『書写の学び方』が掲載されている。第6学年では、友達の選んだ言葉や、文字のよいところを見つけて話し合う学習活動が『好きな言葉を書く』に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、『考えよう、確かめよう、生かそう』という流れで学習の見通しを示した『学習の進め方』が掲載されている。第6学年では、ポスターの書き方によって情報の伝わり方がどう違うのかを話し合う学習活動が『伝えるって、どういうこと?』に設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	カリキュラム・マネジメントについて、生活科の観察カードを書くなど、他教科等と関連する学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第2学年では、生活科と関連しての観察カードを書く学習活動が『かんさつカードを書こう』に設定されている。第4学年では、社会科と関連して調べたことを新聞に書く学習活動が『調べたことを伝える新聞を作ろう』に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、理科の実験記録を書くなど、他教科等と関連する学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第2学年では、国語科と関連してお薦めの本をカードに書いて紹介する学習活動が『かいてみよう!』に設定されている。第4学年では、理科と関連して実験記録をノートに書く学習活動が『理科のノート』に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、社会科などで新聞やポスターを書くなど、他教科等と関連する学習活動が『書写ブック』に設定されている。第2学年では、国語科と関連して朝顔の観察カードを書く学習活動が『げんこう用紙に書くとき』に設定されている。第4学年では理科のノートを書く学習活動が、『横書きの書き方』に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、手紙を書くなど、学習した『書写のかぎ』に示された書き方をする学習活動が『学びを生かそう』に設定されている。第2学年では、相手のことを考えて丁寧に手紙を書く学習活動が『ありがとう』を伝えよう』に設定されている。第6学年では、分かりやすく伝える書き表し方を考える学習活動が『分かりやすく伝える書き方』に設定されている。
教出	言語能力の育成について、新聞の作成など、学習したことを生活や授業で生かす学習活動が『書いて伝え合おう』に設定されている。第1学年では、友達への感謝の気持ちを手紙に書く学習活動が『ありがとうカードをかこう』に設定されている。第6学年では、好きな言葉を選んで字を書き、選んだ理由やめあてについて伝え合う学習活動が『好きな言葉を書く』に設定されている。
光村	言語能力の育成について、リーフレットの作成など、情報を整理したりまとめたりして書く学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第4学年では、文字の大きさや配列に留意して読みやすいリーフレットを作る学習活動が『リーフレットの書き方』に設定されている。第6学年では、ポスターを見比べて情報を伝わりやすくする工夫について考える学習活動が『伝えるって、どういうこと?』に設定されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや書き初めの歴史などについて取り上げた『文字といっしょに』が掲載されている。第4学年では、百人一首をなぞる学習活動が『書いて味わおう』に設定されている。第5学年では、外国語の文字であいさつなどの言葉が『世界の文字いろいろ』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字や平仮名の成り立ちや、様々な郷土かるたなどについて取り上げた『文字の世界』が掲載されている。第3学年では、筆の材料や作り方について『筆について知ろう』に掲載されている。第5学年では、相手に気持ちが伝わるような書き方を考える年賀状や寒中見舞いを書く学習活動が『年賀状、絵はがきを書こう』に設定されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、書き初めの意味や歴史などについて取り上げた『書きぞめ』が掲載されている。第1学年では、漢字の成り立ちについて考える学習活動が『かん字しらべたい』に設定されている。第5学年では、アイヌ民族の暮らしについて書かれた新聞が『めざせ！新聞記者』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生活に生かして書く学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第4学年では、清掃工場を見学した様子を新聞にまとめる学習活動が『調べたことを伝える新聞を作ろう』に設定されている。第6学年では、実際の生活場面に応じた書く速さについて話し合う学習活動が『書く速さ』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、体験をもとに観察カードや新聞、ポスターなどを書く学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第3学年では、大事なことを聞き逃さないようにメモを取り、模造紙にまとめる学習活動が『書いて伝えよう』に設定されている。第6学年では、場面や目的に合った書く速さについて話し合う学習活動が『話し合いメモ』に設定されている。
光村	体験活動の充実について、体験したことを理科など他教科と関連させて書く学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第2学年では、生活科でトマトの育て方を教えてくださった方へのお礼状を書く学習活動が『〈せいかつ〉よこ書きの書き方』に設定されている。第6学年では、職場体験の質問についての電子メールの書き方を考える学習活動が『通信文を見てみよう』で設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、あいさつや花の名前などの身の回りの文字が示された『がっこうにはどんなもじがあるかな』が掲載されている。第6学年では、学習した『書写のかぎ』を生かして作品を作り、中学校に向けてどのように使っていくかを話し合う学習内容が『書写展覧会を開こう』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、ポスターや教室表示など、身の回りの文字が『みつけてみようかいてみよう』に掲載されている。第6学年では巻末に、中学校で学習する行書の紹介や楷書と行書を書き比べる学習内容が『はってん』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、教室表示などの身の回りの文字や、字を書く姿勢などが『しゅしゃすたーとぶっく』に掲載されている。第6学年の巻末では、中学校の学習内容である行書について、教材文字と説明が『発展』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、リーフレットを書くなど、書写で学習したことを自分の生活と結び付ける学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第1学年では、絵日記の書き方が『につきをかこう』に掲載されている。第5学年では、構成や必要な資料を考えてリーフレットを書く学習内容が『委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう』に掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、総合的な学習の時間にポスターを書くなど、書写で学習したことを他の教科等や日常生活に生かす学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第1学年では、観察カードや絵日記の書き方が『かいてみよう』に掲載されている。第5学年では、読む人のことを意識してポスターを書く学習内容が『読み手を意識して書こう』に掲載されている。
光村	情報活用能力の育成について、手紙を書くなど、書写で学習したことを生活科など他教科と関連させて生かす学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第1学年では、生活の観察カードが『よこがきのかきかた』に掲載されている。第5学年では、アイヌ民族の暮らしについて書かれた新聞が『めざせ！新聞記者』に掲載されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、折れや払いなどを点や点線などで示した文字や、写真、イラストが掲載されている。第1学年では、基本の点画の書き方を『びたっ』『すうっ』『びょん』などのオノマトペを使った表現が『かきはじめとかきおわり』に掲載されている。第3学年では、毛筆学習の導入を写真で示した『毛筆を使って学習しよう』が掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨や朱墨で示された文字に点や矢印などを示した文字や、写真やイラストが掲載されている。第1学年では、基本の点画の仕方を『びたっ』『すうっ』などのオノマトペで表現した『せんのおわりのかきかた』が掲載されている。第3学年では、毛筆学習の導入を写真やイラストで例示した『はじめの学習』が掲載されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、筆の流れを赤い点線で示した文字や、写真やイラストなどが掲載されている。第1学年では、折れや曲がりなどの点画について、点や破線を教材文字の中に示した『「とめ」と「はらい」』が掲載されている。第3学年では、毛筆学習の進め方について、写真やイラストを用いて紹介した『毛筆スタートブック』が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『漢字同士の大きさ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。第4学年『筆順と字形』では、筆順によってはらいの長さが変わることについて考える学習活動を設定し、毛筆で書く動画が確認できるよう二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『文字の大きさ（漢字と平仮名）』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。第4学年『点画のせし方と間かく』では、点画の接し方と間隔に気をつけて書く学習活動を設定し、毛筆の動画で確認できるよう二次元コードが掲載されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『用紙に合った文字の大きさ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。第4学年『部分の組み立て方（上下）』では、上下の組み立て方に気をつけて書く学習活動を設定し、毛筆の動画で確認できるよう二次元コードが掲載されている。

⑩ 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	毛筆と硬筆との関連について、第3学年以上では、硬筆で課題を見つけ、毛筆で課題の解決に取り組み、硬筆で振り返る学習活動の流れが『書写の学び方』に掲載されている。第1・2学年では、水をつけた筆や絵筆などを用いた書き方を示した『水書用紙』が掲載されている。また、巻末には『水書用紙』が掲載されている。
教出	毛筆と硬筆との関連について、第3学年以上では、学習の始めに硬筆や毛筆で試し書きをし、学習後にまとめ書きをする学習の流れが『学習の進め方』に掲載されている。第2学年では、水筆を用いて文字を書く学習活動が『画の方向』に設定されている。また、第1・2学年の巻末に『水書用紙』が掲載されている。
光村	毛筆と硬筆との関連について、第3学年以上では、毛筆で学習した内容を生かして硬筆で書く学習活動の流れが『学習の進め方』に掲載されている。第1・2学年では、水筆を用いて字や線を書く学習活動が『水ふでを書いてみよう』に設定されている。また、第1・2学年の巻末に、『水書用紙』が掲載されている。
⑪ 適切に運筆する能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	正しい運筆の能力の育成について、毛筆では筆使いを朱墨の濃淡や赤い点線などで示した『毛筆で書いてみよう』が掲載されている。第6学年では、文字と文字のつながりを考えて書く学習活動が『文字と文字のつながり』に設定されている。
教出	正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡や矢印、点などで筆使いを示した『点画の種類』が掲載されている。第6学年では、点画のつながりに気を付けて毛筆で書く学習活動が『文字の大きさと配列、点画のつながり』に設定されている。
光村	正しい運筆の能力の育成について、毛筆では朱墨の濃淡やキャラクターの顔の向きなどで筆使いを示した『点画の種類』が掲載されている。第6学年では、つなげるように書く際の筆の動きを意識して毛筆で書く学習活動が『書き初め』に設定されている。
⑫ 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生活に役立てる観点について、実験記録を書くなど、学習したことを他教科での学習や生活に広げていく学習活動が『生活に広げよう』に設定されている。第3学年では、学習したことを生かして実験記録を書く学習活動が『実験したことを記録しよう』に設定されている。第5学年では、伝える相手と内容を考えて書く学習活動が『委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう』に設定されている。
教出	生活に役立てる観点について、手紙を書くなど、書写で学んだことを他教科等での学習や生活の場面で用いる学習活動が『レッツ・トライ』に設定されている。第1学年では、友達のよいところやありがとうの気持ちを書いて伝える学習活動が『ありがとうカードを書こう』に設定されている。第4学年では、文字の大きさと配列に気を付けて短歌を書く学習活動が『短歌』に設定されている。
光村	生活に役立てる観点について、お礼状を書くなど、書写で学んだことを他教科等での学習や生活につなげる学習活動が『書写広げたい』に設定されている。第2学年では、生活科の学習と関連した横書きのお礼状が『よこ書きの書き方』に掲載されている。第5学年では、英語でカードを書く学習活動が『英語で書いてみよう』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学年ごとに1冊にまとめられている。学年ごとのまとめや、はがきや手紙、メッセージカードの書き方などが『学びを生かそう』に掲載されている。巻末では『書写のかぎ』がまとめて掲載されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。
教出	学年ごとに1冊にまとめられている。カードや招待状の書き方、メモ・発表資料の作り方、新聞の書き方、年賀状・はがきの書き方などが『書いて伝え合おう』に掲載されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。
光村	学年ごとに1冊にまとめられている。『たいせつ』の内容が『〇年生のまとめ』にまとめられている。インタビューメモやパンフレットの書き方などが『書写広げたい』に掲載されている。既習の漢字や平仮名、片仮名、ローマ字の表が掲載されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB5判変型が採用されている。
教出	判型はB5判が採用されている。
光村	判型はB5判変型が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン（後略）』『タイトルや「たいせつ」には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	なし
教出	第4学年 31ページ 『都道府県名を書いてみよう』 神奈川
光村	第4学年 22ページ 『リサイクルした書道用紙を使った書写のじゅ業の様子』（大井町） 第5学年 13ページ 『濱明朝』（横浜市） 37ページ 『都道府県漢字』 神奈川

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)							
発行者名	総冊数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
東書	6	119	111	125	118	118	118
教出	6	114	97	124	124	111	111
光村	6	119	105	135	117	107	123

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《社会(社会)》

※詳細については、資料Ⅱ(社会-4～社会-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい社会
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句を説明する『用語かいせつ』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、働く人の工夫について、調べたことをもとに話し合い新聞にまとめるなどの学習活動が『まとめる』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した内容を生かして、地域や社会の課題について考え話し合うなどの学習活動が『いかす』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害から暮らしを守る』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報との関わり方や、情報を活用する産業について扱った『情報化した社会と産業の発展』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の人たちが消防団として消火訓練や防火に取り組むようすを扱った『地いきの消防団の取り組み』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習問題をつくる場面において、気付いたことや疑問に思ったことなどを話し合うなどの学習活動が『つかむ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、外国語科と関連する世界のさまざまな国と国旗が示された『世界の中の国土』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、キャッチコピーをつくる活動をとおして、一番伝えたいことを短いことばで表現し紹介し合うなどの学習活動例を示した『まなび方コーナー』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、古くから残されている建物や祭りなどに関わる地域の人々の願いについて扱った『きょう土の伝統・文化と先人たち』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、身近な地域の農家や店舗を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『はたらく人とわたしたちの暮らし』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容の概要を示した『中学校に向けて』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報活用のルールやマナー、インターネットの活用方法について考え話し合うなどの学習活動が『情報を生かすわたしたち』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、見る範囲を拡大して示した地図の例として、市に古くから残る建物の位置を示した『福岡市の古くからのこるたて物』などが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『暮らしを守る』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、学習する單元ごとのキーワードとなる語句を示した『ことば』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が多面的・多角的に考えられることについて、防災や報道など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『○○さんの話』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる『見方・考え方』を示した『広がり注目』などが掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、3～5章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適切するようにデザインしています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《社会(社会)》

※詳細については、資料Ⅱ(社会-4～社会-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	小学社会
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、調べたことをまとめる場面に『キーワードをふり返ろう』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分たちの住む市の様子について調べたことをポスターにまとめ話し合うなどの学習活動が『まとめる』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した内容を生かして、地域や社会の課題について考え話し合う学習活動が『つなげる』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害にそなえるまちづくり』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の活用の仕方や、情報通信技術を生かした産業の様子について扱った『未来とつながる情報』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、火事に備え地域の人たちが消防団として訓練などに取り組むようすを扱った『地いきの人々の協力』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、疑問に思ったことや知りたいことから学習問題をつくるなどの学習活動が『つかむ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科と関連する円グラフが示された『自然条件と人々の暮らし』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、標語にまとめる活動をとおして、学んだことを短い文で表現するなどの学習活動例を示した『学びのてびき』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔から受けつがれる祭りや伝統芸能などに関わる地域の人々の願いについて扱った『地域で受けつがれてきたもの』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、身近な地域の店舗や工場を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『はたらく人とわたしたちの暮らし』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容の概要を示した『6年生の学習をふり返ろう』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報通信技術を扱ううえで心掛けることを考え話し合うなどの学習活動が『くらしと産業を変える情報通信技術』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、見る範囲を拡大して示した地図の例として、見学する工場の位置を示した『しゅうまい工場の場所』などが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『わたしたちのまちと市』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、学習内容に関連する語句を示した『キーワード』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が多面的・多角的に考えられることについて、製造業や農業など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『場所や広がり』などが掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、3～6章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《社会(社会)》

※詳細については、資料Ⅱ(社会-4～社会-10)を参照。

発行者の略称	日文	書名	小学社会
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、『直売所』など、学習内容に関連する語句を解説するコーナーが掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、市の安全を守る取組について調べたことをもとに話し合うなどの学習活動が『問題を追究・かいけつする力を身につけよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した内容を生かして地域や社会の課題について考え話し合うなどの学習活動が『問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害から人々を守る活動』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、メディアの特徴やその影響、情報を生かして発展する産業について扱った『情報社会に生きるわたしたち』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の安全を守る消防団の活動について扱った『地いきの消ぼうだん』などが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、気付いたことなどをもとに学習問題をつくるなどの学習活動が『問題を発見する力を身につけよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連する火山の噴火や台風の進路などが示された『日本の地形や気候』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、カードにまとめ話し合う活動をとおして、考えを深め合うなどの学習活動例を示した『学び方・調べ方コーナー』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、古くから伝わる行事や祭り、それを支える地域の人々の思いについて扱った『わたしたちのまちに伝わるもの』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、身近な地域の工場や店舗を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『わたしたちのくらしとまちではたらく人びと』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容の概要を示した『中学校へ向かって』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、マスメディアによる情報の伝え方や関わり方とその影響などについて考え話し合うなどの学習活動が『情報社会に生きるわたしたち』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、見る範囲を拡大して示した地図の例として、市などの位置や範囲を示した『わたしたちが住んでいる市のように』などが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『わたしたちのくらしとまちではたらく人びと』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、学習内容に関連する語句を解説する『キーワード』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が多面的・多角的に考えられることについて、接客業や観光業など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『空間』などが掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、3～5章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(社会)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、第3学年では、農家の仕事に関連した『特産品』、第4学年では、身近な川の環境に関連した『ビオトープ』など、学習内容に関連する語句を説明する『用語かいせつ』が掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、第3学年では、身近な地域の学習に関連した『方位』、第4学年では、都道府県の学習に関連した『地形』など、調べたことをまとめる場面に『キーワードをふり返ろう』が掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、第3学年では、れんこん農家の仕事に関連した『直売所』、第4学年では、ごみの処理と活用に関連した『t(トン)』など、学習内容に関連する語句を解説するコーナーが掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、スーパーマーケットで働く人の工夫について、調べたことをもとに話し合い新聞にまとめる学習活動が『まとめる』に設定されている。第5学年では、水産業に携わる人たちの工夫や努力について調べたことなどをプレゼンテーションソフトを使ってまとめる学習活動が『まとめる』に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、自分たちの住む市の様子について調べたことを白地図を使ったポスターにまとめ話し合う学習活動が『まとめる』に設定されている。第5学年では、森林と自分たちのくらしとの関わりについて関係図に整理して考え話し合う学習活動が『まとめる』に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、市の安全を守る取組について調べたことをもとに話し合う学習活動が『問題を追究・かいつくする力を身につけよう』に設定されている。第5学年では、グラフや資料をもとに、自然災害から命やくらしを守るためにどのようなことが大切か考え話し合う学習活動が『問題を追究・解決する力を身につけよう』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、ごみを減らすために自分たちができることを考え話し合う学習活動が、第5学年では、新しい食料生産の工夫や取組について紹介し合うなど、学習した内容を生かして、地域や社会の課題について考え話し合う学習活動が『いかす』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、ごみを減らすために自分たちができることを考え話し合うなどの学習活動が、第5学年では、国内の食料生産について考えたことを書き表すなど、学習した内容を生かして、地域や社会の課題について考え話し合うなどの学習活動が『つなげる』に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、ごみを減らすために自分たちができることを考え話し合うなどの学習活動が、第5学年では、これからの食料生産のあり方など、学習した内容を生かして地域や社会の課題について考え話し合うなどの学習活動が『問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、第4学年では、風水害から人々の命を守るために、市や地域で行う取組や自助の取組など、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害からくらしを守る』が掲載されている。第6学年では、東日本大震災の被害からの復旧・復興に向けた取組や人々の願いについて扱った『震災復興の願いを実現する政治』が掲載されている。
教出	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、第4学年では、風水害から命を守るための家庭や学校、地域の備えや市役所の取組など、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害にそなえるまちづくり』が掲載されている。第6学年では、東日本大震災によって被害を受けた人々の願いを実現するための取組について扱った『災害からわたしたちを守る政治』が掲載されている。
日文	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、第4学年では、風水害や地震などに備えて地域で行う対策や復旧・復興に向けた取組など、災害から暮らしを守るための取組を扱った『自然災害から人々を守る活動』が掲載されている。第6学年では、豪雨災害による被害からの復興を目指した行政や地域の人々の取組について扱った『自然災害からの復旧や復興の取り組み』が掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、コンピュータでの商品管理やスマートフォンアプリのポイントサービスなど情報を活用したスーパーマーケットの取組について扱った『店ではたらく人』が掲載されている。第5学年では、情報との関わり方や、コンビニエンスストアや運輸業、観光業など、情報を活用する産業について扱った『情報化した社会と産業の発展』が掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、コンピュータで商品管理を行うスーパーマーケットや、インターネットでの買い物など、くらしの中の情報化について扱った『店ではたらく人と仕事』が掲載されている。第5学年では、情報の活用の仕方や、スーパーマーケットや観光業、医療など、情報通信技術を生かした産業の様子について扱った『未来とつながる情報』が掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、第3学年では、市役所からの防犯メールや市民通報アプリなど、情報を活用してくらしの安全を守る取組について扱った『安全なくらしを守る』が掲載されている。第5学年では、メディアの特徴やその影響、アイスクリーム会社や観光業、医療などを例に、情報を生かして発展する産業について扱った『情報社会に生きるわたしたち』が掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第3学年では、地域の人たちが消防団として消火訓練や防火に取り組むようすを扱った『地いきの消防団の取り組み』が掲載されている。第4学年では、地域の人々が協力して景観を守り、観光によるまちづくりに取り組む姿を扱った『美しい景観を生かすまち・松島町』が掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第3学年では、火事に備え地域の人たちが消防団として訓練などに取り組むようすを扱った『地いきの人々の協力』などが掲載されている。第4学年では、資源ごみの回収箱を置くスーパーマーケットや地域で資源ごみの回収を行う自治会の取組などを扱った『地域の人々の取り組み』が掲載されている。
日文	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第3学年では、地域の安全を守る消防団の活動について扱った『地いきの消ぼうだん』などが掲載されている。第4学年では、地域の人がボランティアガイドとして観光案内を行うなど地域の文化財を活用したまちづくりの取組を扱った『土地の文化財を生かした地いき』などが掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、第3学年の『市の様子』では、学習問題をつくる場面において、空から撮った写真や地図帳を見て気付いたことや疑問に思ったことなどを話し合う学習活動が、第6学年の『わたしたちのくらしと日本国憲法』では、イラストなどから日本国憲法とくらしのつながりについて考え、学習問題を設定するなどの学習活動が、それぞれ『つかむ』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、第3学年の『工場ではたらく人と仕事』では、スーパーマーケットを調べる中で疑問に思ったことや知りたいことから学習問題をつくる学習活動が、第6学年の『わたしたちの暮らしを支える政治』では、写真やグラフから社会の課題について考え学習問題をつくる学習活動が、それぞれ『つかむ』に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、第3学年の『市のようすとくらしのうつりかわり』では、昔と今の写真を見比べて気付いたことなどを話し合い、学習問題をつくる学習活動が、第6学年の『わたしたちの願いと政治のはたらき』では、待機児童に関するグラフや主題図を見て気付いたことなどをもとに学習問題をつくる学習活動が、それぞれ『問題を発見する力を身につけよう』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすい工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、外国語科と関連する世界のさまざまな国と国旗が示された『世界の中の国土』が掲載されている。また、他教科等と関連する内容がある箇所に『教科関連マーク』が掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、算数科と関連する円グラフが示された『自然条件と人々のくらし』が掲載されている。また、『他の教科などとの関わり』が掲載されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、理科と関連する火山の噴火や台風の進路などが示された『日本の地形や気候』が掲載されている。また、総合的な学習の時間への関連付けとして『未来につなげる～わたしたちのSDGs～』が掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、第3学年では、キャッチコピーをつくる活動をとおして、農家の人の工夫など一番伝えたいことを短いことばで表現し紹介し合う学習活動例を示した『まなび方コーナー』が掲載されている。第4学年では、伝統工芸品のこけしの魅力を4コマCMで伝える学習活動例を示した『まなび方コーナー』が掲載されている。
教出	言語能力の育成について、第3学年では、消防の取組の中から自分が大切だと思うことを標語にまとめる活動をとおして、学んだことを短い文で表現する学習活動例を示した『学びのてびき』が掲載されている。第4学年では、学んだことをもとに地域のよさについて理由や自分の思いも踏まえて紹介する学習活動の例を示した『学びのてびき』が掲載されている。
日文	言語能力の育成について、第3学年では、火事から安全な暮らしを守るために自分たちにできることをカードにまとめ話し合う活動をとおして、考えを深め合う学習活動例を示した『学び方・調べ方コーナー』が掲載されている。第4学年では、水がどのように送られてくるかなど、学習問題について自分の考えをまとめる学習活動例を示した『学び方・調べ方コーナー』が掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では、古くから残されている建物や祭りなどに関わる地域の人々の願いについて扱った『きょう土の伝統・文化と先人たち』が掲載されている。第6学年では、室町文化と現在とのつながりなどについて扱った『今に伝わる室町文化』が掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では、昔から受けつがれる祭りや伝統芸能などに関わる地域の人々の願いについて扱った『地域で受けつがれてきたもの』が掲載されている。第6学年では、現在も残る室町時代の文化について扱った『室町文化と力をつける人々』が掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では、古くから伝わる行事や祭り、それを支える地域の人々の思いについて扱った『わたしたちのまちに伝わるもの』などが掲載されている。第6学年では、今に残る建築物や伝統芸能などについて扱った『今に伝わる室町の文化と人々の暮らし』などが掲載されている。

⑪ 体験活動の充実

東書	体験活動の充実について、第3学年では、いちご農家やスーパーマーケットを例に、身近な地域の農家や店舗を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『はたらく人とわたしたちの暮らし』に設定されている。第5学年では、自動車工場の見学や工場で見学する学習活動が『自動車をつくる工業』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第3学年では、スーパーマーケットやしゅうまい工場を例に、身近な地域の店舗や工場などを見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『はたらく人とわたしたちの暮らし』に設定されている。第5学年では、自動車工場の見学や工場で見学する学習活動が『未来をつくり出す工業生産』に設定されている。
日文	体験活動の充実について、第3学年では、かまぼこ工場やスーパーマーケットを例に、身近な地域の工場や店舗を見学し、そこで働く人へインタビューする学習活動が『わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと』に設定されている。第5学年では、自動車工場の見学や工場で見学する学習活動が『自動車工業のさかんな地域』に設定されている。

⑫ 学校段階間の円滑な接続

東書	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、地理・歴史・公民の3つの分野に分かれることなど、中学校の学習内容の概要を示した『中学校に向けて』が掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、中学校の学習内容を地理・歴史・公民の分野ごとに示した『6年生の学習をふり返ろう』が掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、中学校の学習内容や関連する写真などを地理・歴史・公民の分野ごとに示した『中学校へ向かって』が掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成

東書	情報活用能力の育成について、第4学年では、調べたことをもとに県の特徴を紹介するパンフレットを作成するなどの学習活動が『県の広がり』に設定されている。第5学年では、情報活用のルールやマナー、インターネットの活用方法について考え話し合うなどの学習活動が『情報を生かすわたしたち』に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、第4学年では、土地利用図と地形図を並べて見ることで、土地利用と地形との関係を考えるなどの学習活動が『学びのてびき』に設定されている。第5学年では、スマートフォンやキャッシュレスの支払い、情報通信技術を扱ううえで心掛けることを考え話し合うなどの学習活動が『暮らしと産業を変える情報通信技術』に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、第4学年では、2つのグラフを読み取り気付いたことについて話し合うなどの学習活動が『暮らしをささえる水』に設定されている。第5学年では、マスメディアによる情報の伝え方や関わり方とその影響、情報社会のあり方について考え話し合うなどの学習活動が『情報社会に生きるわたしたち』に設定されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、第3～6学年で、見る範囲を拡大して示した地図の例として、市に古くから残る建物の位置を示した『福岡市の古くからのこるたて物』などが掲載されている。また、第3学年では、地図記号と関連する写真を並べて示した『いろいろな地図記号』などが掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、第3～6学年で、見る範囲を拡大して示した地図の例として、見学する工場の位置を示した『しゅうまい工場の場所』などが掲載されている。また、第3・4学年では、学習の見通しの例として、小單元ごとに具体的な学習活動の順序を示した『活動』が掲載されている。
日文	児童の学習上の困難さへの対応について、第3～6学年で、見る範囲を拡大して示した地図の例として、市などの位置や範囲を示した『わたしたちが住んでいる市のようす』などが掲載されている。また、第3学年では、見学メモの書き方を示した『店ではたらく人びとの仕事』などが掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、第3学年では消防士の仕事などについて、第6学年では各時代の特色などについて、それぞれ映像をとおして理解を深めるなど、1人1台端末を活用できる学習活動が、『くらしを守る』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、第3学年では方位磁針の使い方などについて、第6学年では能の舞台などについて、それぞれ映像をとおして理解を深めるなど、1人1台端末を活用できる学習活動が、『わたしたちのまちと市』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	児童の理解が深まる構成について、第3学年ではれんこん農家の仕事などについて、第6学年では日本と国際社会の関わりなどについて、それぞれ映像をとおして理解を深めるなど、1人1台端末を活用できる学習活動が、『わたしたちのくらしとまちではたらく人びと』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 社会的事象に関する基礎的な知識や技能などを習得させるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、第3学年では『交通』、第4学年では『リサイクル』など、学習する単元ごとのキーワードとなる語句を示した『ことば』が掲載されている。また、その一覧が掲載されている。
教出	基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、第3学年では『公共しせつ』、第4学年では『3R』など、学習内容に関連する語句を示した『キーワード』が掲載されている。また、その一覧が掲載されている。
日文	基礎的な知識や技能などを習得するための工夫や配慮について、第3学年では『地図記号』、第4学年では『ハザードマップ』など、学習内容に関連する語句を解説する『キーワード』が掲載されている。また、その一覧が掲載されている。
⑰ 社会的事象について児童が多面的・多角的に考えられるような工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童が多面的・多角的に考えられることについて、第3学年では『消防しょの山田さんの話』、第5学年では『記者の揖斐さんの話』など、防災や報道など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。
教出	児童が多面的・多角的に考えられることについて、第3学年では『しゅうまいをつくる水野さんの話』、第5学年では『農家の三輪さんの話』など、製造業や農業など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。
日文	児童が多面的・多角的に考えられることについて、第3学年では『店長の大東さんの話』、第5学年では『浅間山北麓ジオパークガイドの宮崎さんの話』など、接客業や観光業など社会で働く人の思いや考え方を取り上げた『〇〇さんの話』が掲載されている。
⑱ 学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『広がり注目』『時間に注目』『関係するところに注目』などが掲載されている。
教出	学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『場所や広がり』『時期やうつりかわり』『くふうやかかわり』などが掲載されている。
日文	学習の問題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮について、学習問題を追究する際に働かせる「見方・考え方」を示した『空間』『時間』『かんけい』が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、『つかむ』などの学習段階順に構成されている。各学年3～5章で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、『つかむ』などの学習段階順に構成されている。各学年3～6章で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページ程度でまとめられ、『問題を発見する力を身につけよう』などの学習段階順に構成されている。各学年3～5章で構成されている。
⑭ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
⑮ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
日文	『この教科書は、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	<p>【第3学年】</p> <p>92ページ 地図に神奈川県の表示</p> <p>136ページ 地図に神奈川県の表示</p> <p>【第4学年】</p> <p>13ページ 『日本地図を広げて』神奈川県の特産品としてしゅうまいのイラスト</p> <p>15ページ 『空から日本を見てみると』都道府県の形と説明から都道府県名を書き込む課題</p> <p>【第5学年・下】</p> <p>6ページ 図『工業がさかんな地域の生産額と分布』</p> <p>11ページ グラフ『都道府県別の輸送用機械の生産額のわりあい』第3位</p> <p>31ページ 写真『横浜港（神奈川県横浜市）』</p> <p>32ページ 地図『京浜トラックターミナルのまわり』</p> <p>【第6学年・歴史編】</p> <p>48ページ 地図『源氏の軍の進路』鎌倉の表示</p> <p>49ページ 本文『鎌倉（神奈川県）』『鎌倉幕府』の表記</p> <p>49ページ 地図『関東地方の武士団』鎌倉、相模の表示</p> <p>50ページ 本文『鎌倉』の表記、写真『今も残る切通しの跡』、図『鎌倉と幕府の位置』</p> <p>51ページ 地図『鎌倉への道と有力御家人の領地』</p> <p>80ページ コラム『入り鉄砲と出女』、写真『復元された箱根関所』</p> <p>91ページ 図『葛飾北斎の浮世絵』（「富岳三十六景・神奈川沖浪裏」）</p> <p>104ページ 図『ペリーの上陸（横浜）』</p> <p>109ページ 図『鉄道の開通』</p> <p>【第6学年・政治・国際編】</p> <p>90ページ 写真『フランスの文化を学ぶ小学生（神奈川県鎌倉市、2021年）』</p> <p>94ページ 『ひろげる 韓国の文化』、写真『川崎市のコリアタウンで行われた農楽』</p>

<p>教出</p>	<p>【第3学年】 ※『1 わたしたちのまちと市』（10-43ページ）が横浜市を題材に構成されている。 11ページ 写真『寺の門と「仁王さま』（萬蔵寺）、『店がならぶ駅のまわり』（中山商店街）、『線路を走る電車』（JR横浜線） 12-13ページ 写真『自分の家やよく行く場所をさがそう』 14ページ 地図『たんけんする二つのコース』 16-17ページ 地図『わかったことをまとめた絵地図』地区センターの写真など 18-19ページ 本文『鶴見川の方は、…』、写真『鶴見川とマンション、電車をかんさつする』など 20-21ページ 地図『つなげた絵地図』、写真『空からながめたまちの様子』 22-23ページ 本文『どこまでが横浜市なのかな。』、写真『空からながめた横浜港のまわり』 24-25ページ 地図『わたしたちの県の市町村』、本文『横浜市』『鎌倉市』『川崎市』など 26-27ページ 写真『横浜駅のまわり』、セリフ『横浜駅』『港北ニュータウン』など 28-29ページ 『市役所の大杉さんの話』、地図『市役所の人に見せてもらった土地の使われ方の地図』など 30-31ページ 写真『空からながめた市役所のまわり』（横浜スタジアム周辺）、地図『市役所のまわりの地図』など 32-33ページ 写真『空からながめた横浜駅のまわり』（横浜駅周辺）、地図『横浜市の主な鉄道と道路』など 34-35ページ 写真『空からながめた鶴見川の河口と、うめ立て地の様子』など 36-37ページ 写真『空からながめた「金沢市民の森」の様子』、写真『舞岡公園』など 38-39ページ 写真『空からながめた港北ニュータウンの様子』など 40-41ページ 写真『古いたてもの（横浜開港記念会館）を見学する』『赤レンガそうこ』『弘明寺』『関家住たく』など 42-43ページ 写真『横浜駅のまわり』、地図『みんなでまとめた市の土地の様子』など 50ページ 地図『みんなでまとめた買い物地図』 68ページ 写真『駅の中にある店でしゅうまいを買う』（崎陽軒）など 71ページ 地図『しゅうまい工場の場所』『横浜市の主な工場』、写真『見学する工場』（崎陽軒横浜工場）など 77ページ 図『はたらく人はどこから』 78-79ページ 地図『しゅうまいの店がある場所』など、本文『横浜駅』『新横浜駅』 80ページ 写真『横浜駅で列車の客にしゅうまいを売る（1950年ごろ）』、『工場見学係の桑田さんの話』（横浜市、中華街） 85ページ 地図『横浜市内でつくられる主な作物』、写真『キャベツ畑』（ランドマークタワー、日産スタジアム） 87ページ 地図『加藤さんの畑のある場所』 91ページ 地図『こまつなの行き先』 97ページ 地図『横浜市の消防しょ・消防しゅつちよう所のある場所』 108ページ 写真『まちの消防せつびを調べる』（初期消火箱に「中山町」の表示） 142-143ページ 写真『昔の新横浜駅とまわりの様子（1968年）』『今の新横浜駅とまわりの様子（2018年）』など 145ページ 地図『横浜市の広がり』 146-147ページ 写真『駅ではたらく人にインタビューする』、『駅ではたらく原さんの話』（『新横浜駅』）など 149ページ 地図『昔と今の緑の広がり』 150-151ページ 写真『自治会の人にインタビューする』、グラフ『横浜市の人口のうつきわり』など 152-153ページ 写真『地いきケアプラザではたらく人にインタビューする』、地図『昔と今の地いきケアプラザの場所』など 154-155ページ 年表『みんなで書き足した年表』 157ページ 『市役所の大杉さんの話』など 162-163ページ 写真『舞岡公園』『市役所のまわり』 165ページ 『手紙の送り方』 167ページ 『インターネットの調べ方』（「横浜市 こまつな」） 172ページ 『地図の見方』 174ページ 『地図にまとめる』『年表にまとめる』 175ページ 『この教科書に出てくる主な都道府県』</p> <p>【第4学年】 ※『水はどこから』（50-71ページ）が相模原市を題材に構成されている。 50-51ページ 地図『神奈川県相模原市』、『学校で2か月の間に使われた水の量がしめされた検針票』 54-55ページ 地図『県内の主な水道しせつ』『谷ヶ原浄水場の位置』、写真『相模ダム・相模湖』など 56-57ページ 写真『空から見た谷ヶ原浄水場』『さくらさんが書いたカード』 60-61ページ 写真『相模湖と相模ダム』、コラム『ダムと地域の人々の生活』など 63ページ 『県の係の人の話』、写真『相模川上流の森林の中にある水源』 64ページ 写真『相模川の河口』など 65ページ 『下水処理しせつできれいにした水を、すいせんトイレで使っている競技場（神奈川県横浜市）』 79ページ 『つむぎさんたちが使っているガスを送りとどける主なガス管の広がり』 152-153ページ 『せんたく 地域に学校をひらく』（藤沢市の位置など） 172-173ページ 『箱根寄木細工のぎじゅつを受けつぐ人々』 216ページ 『この教科書に出てくる主な都道府県』</p> <p>【第5学年】 144ページ 写真『石油タンクと製油所（神奈川県横浜市）』 158-159ページ グラフ・地図『工業のさかんな地域や都市』、写真『海ぞいに大工場や石油タンクがならぶ京浜工業地帯（神奈川県横浜市、川崎市）』 256-257ページ 『日本の工業生産をふり返ろう』（「神奈川県」「横浜市」「横須賀市」） 258-259ページ 『環境にやさしい取り組みをふり返ろう』（「かながわトラストみどり財団」「横浜市」）</p> <p>【第6学年】 44ページ 写真『移住を体験できる施設（神奈川県秦野市）』 64ページ 『政治のはたらきをまちの中から探して考えよう 踏切に代わる地下通路の整備—川崎市』写真『かつての踏切（左）と、整備された地下通路（右）』、地図『川崎市、いわき市、葛飾区の位置』 114-115ページ 写真『鎌倉の様子（復元模型）』『朝比奈の切通し』、地図『鎌倉街道』など 161ページ 写真『箱根の関所（復元）』 172ページ 本文『横浜や長崎などでの…』、地図『条約によって開かれた港』 183ページ コラム『日本で初めて遺跡を発掘したモース』（「横浜駅から新橋駅へ…」） 214ページ 写真『焼けあとのまちを歩く子どもたち（神奈川県横浜市）』 269ページ 『多文化共生社会をともに生きる』（「川崎市多文化共生社会推進指針」など）</p>
-----------	--

日文	【第3学年】
	126-127ページ 『未来へつなげる「まちをみんなで安全にしていくために」』（相模原市、『市民つうほうアプリ「パッ！撮るん。」』など）
	166ページ 『教科書に出てきたおもな地名』（「神奈川県相模原市」）
	【第4学年】
	10-13ページ 『れんさんたちが調べた都道府県の特徴』
	152-153ページ 『村の立て直しにつくす』（「小田原市」「二宮金次郎（尊徳）」など）、地図『神奈川県』『小田原市』など
	154-155ページ 写真『報徳堀の碑』『報徳堀の跡』など
	212ページ 『教科書に出てきたおもな地名』（「神奈川県小田原市」）
	【第5学年】
	134-135ページ 『未来につなげる 限りある食料資源をたいせつにするために～横浜市の取り組み～』
	140ページ グラフ『工業のさかんなところと各工業地帯・工業地域の工業生産額』（「神奈川県」）
	288ページ 『教科書に出てきたおもな地名』（「神奈川県横浜市」）
【第6学年】	
110ページ 図『鎌倉のようす』、写真『名越の切通』など	
114ページ 図『竹崎季長の恩賞を得るための戦い』	
124ページ 『未来へつなげる「歴史と文化がおりなすまち 古都鎌倉」』（「流鏑馬」など）	
168-169ページ 図『ペリーが浦賀から江戸湾にあらわれたときのようす』『横浜（神奈川県）に上陸したペリー一行（1854年）』など	
176ページ 図『新橋・横浜間に開通した鉄道』	
222ページ 写真『日本と韓国で共催されたサッカーワールドカップ（2002年、横浜市）』	
255ページ 写真『ラグビーワールドカップ（2019年、神奈川県横浜市）』	
258-259ページ コラム『エルトゥール号の遭難と救助活動～トルコと日本の命のかけ橋』（「横浜港」「横須賀港」など）	
282ページ 『教科書に出てきたおもな地名』（「神奈川県」）	

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)

発行者名	冊数	1年	2年	3年	4年	5年		6年	
						5年上	5年下	政治・国際	歴史
東書	6			271	331	248	263	222	317
教出	4			345	438	501		581	
日文	4			350	416	546		563	

【資料Ⅰ】

教科種目名《社会(地図)》

※詳細については、資料Ⅱ(地図-3～地図-6)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい地図帳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、地図の使い方のポイントを示した『地図のきまり』『地図帳の使い方』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて考える学習活動が『ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsと関連させ、課題を解決するためにできることを考える学習活動が『だれひとり取り残さない世界をめざして』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害の際に避難する場所を示したハザードマップが『日本の自然災害』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「食育」について、世界の料理を写真とともに紹介する『ヨーロッパのいろいろな料理』『世界のいろいろな料理』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、地域のどこで、どのような災害が起こりやすいかを考える学習活動が『自然災害にそなえて』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、地図帳を活用した問いを示した学習活動が『ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、外国語活動などに関連して、いろいろな国の言葉の挨拶が『世界みんなにありがとう!』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、資料を見ながら地域の特色を捉え、その理由を考える学習活動が『ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な祭りや郷土料理、世界文化遺産などが『日本の伝統文化』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、地球儀を使って『方位』『きより』『大きさ』『形』を調べる学習活動が『地球儀を使って調べる』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習につながる、地図についての説明『地図のきまり』『地図帳の使い方』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、全市町村、都道府県、主な名所、史跡、施設などが示された『さくいん日本』、国と首都、主な都市などが示された『さくいん世界』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、『地図学習』『日本列島』『各地方』『世界』『資料地図・統計表』『さくいん』などのインデックスが付けられている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『地図を学ぼう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 一般図・拡大図・主題図・索引などの配列について、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、資料図が掲載されており、巻末に『さくいん』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、『資料地図・統計表』では、データの調査実施年や出典が示された資料や統計が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮について、地図帳の活用方法が『地図帳の使い方』『「さくいん」の見方』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 日本の各地方の地図や世界の州を示す地図が掲載されている。また、日本や世界の自然や自然災害、産業、貿易、歴史などに関する資料・統計が取り上げられている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

教科種目名 ≪ 社会(地図) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(地図-3～地図-6)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、地図の使い方のポイントを示した『地図のやくそく』地図帳の使い方が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料から調べて考える学習活動が『地図マスターへの道』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、世界の課題を解決するためにわたしたちにできることを考える学習活動が『持続可能な開発目標(SDGs)』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、防災への取組を示した『自然災害とその備え』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「食育」について、日本や世界の食料問題を資料とともに紹介する『日本の食料問題』『世界の食料問題』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、防災マップづくりを通して安全な避難方法を考える学習活動が『日本の自然災害と防災』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、地図帳を活用して問いを解決する学習活動が『地図マスターへの道』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、外国語活動などに関連して、いろいろな国の言葉の挨拶が『世界の国からこんにちは!』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、地図を見ながら地域の特色を考える学習活動が『地図マスターへの道』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の世界遺産の写真とその場所が記された地図が『日本の世界遺産』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、地球儀を使って『方位』『きょり』『面積』『形』を調べる学習活動が『地球儀を使おう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習につながる、地図についての説明『地図のやくそく』『地図帳の使い方』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、全市町村、都道府県、旧市町村名、世界遺産などが示された『さくいん日本』、国や首都、地名が示された『さくいん世界』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、『地図のやくそく』『地図帳の使い方』『広く見わたす地図』『各地方』『世界』『資料図』『統計』などのインデックスが付けられている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『地図クイズ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 一般図・拡大図・主題図・索引などの配列について、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、資料図が掲載されており、巻末に『さくいん』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、『資料図』『統計』では、データの調査実施年や出典が示された資料や統計が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮について、地図帳の活用方法が『地図帳の使い方』『さくいんの見かた』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 日本の各地方の地図や世界の州を示す地図が掲載されている。また、日本や世界の自然や自然災害、産業、貿易、歴史などに関する資料・統計が取り上げられている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(地図)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、『地図のきまり』が掲載されている。地図の使い方のポイントを示した『この地図帳の地図記号(凡例)』『どこにある?(さくいん)』『目的に合った地図を使おう(縮尺)』で構成された『地図帳の使い方』が掲載されている。
帝国	「知識・技能」の習得について、『地図のやくそく』が掲載されている。地図の使い方のポイントを示した『記号に注目しよう』『色に注目しよう』『さくいんを使おう』『縮尺のしくみときよりの求め方を知ろう』で構成された『地図帳の使い方』が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図の見方を示唆したり活用したり問いかけたりするキャラクターが掲載されている。地図や資料を用いて考える学習活動が『ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑』に設定されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料から情報を探したり、資料をもとに考えたりする学習活動が学年別に『地図マスターへの道』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsと関連させ、自分たちにできることは何かを考えるなど、よりよい社会の実現にむけ、課題を解決するためにできることを考える学習活動が『だれひとり取り残さない世界をめざして』に設定されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、どのような課題があるか、その解決の取組として何が行われているかを調べるなど、世界の課題を解決するためにわたしたちにできることを考える学習活動が『持続可能な開発目標(SDGs)』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害の際に避難する場所を示したハザードマップが『日本の自然災害』に掲載されている。また、被害の様子を伝える写真やその解説、自然災害伝承碑などが掲載されている。
帝国	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、防災への取組を示した『自然災害とその備え』が掲載されている。また、被害の様子を伝える写真やその解説、先人が残した教訓や防災マップ作りが掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「食育」について、日本の特色ある郷土料理を紹介する『日本の食文化』が掲載されている。また、世界の料理を写真とともに紹介する『ヨーロッパのいろいろな料理』『世界のいろいろな料理』が掲載されている。
帝国	[たくましく生きる力]の「食育」について、日本の地図に日本各地の郷土料理のイラストが掲載されている。また、日本や世界の食料問題を資料とともに紹介する『日本の食料問題』『世界の食料問題』が掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「生きること」について、地域のどこで、どのような災害が起こりやすいかを考える学習活動が『自然災害にそなえて』に設定されている。また、SDGsについて紹介する『だれひとり取り残さない世界をめざして』が掲載されている。
帝国	[社会とかかわる力]の「生きること」について、防災マップづくりを通して安全な避難方法を考える学習活動が『日本の自然災害と防災』に設定されている。また、SDGsに関連する取組を紹介する『持続可能な開発目標(SDGs)』が掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、地図の見方や問題発見につながる問いなどを示した吹き出しが掲載されている。地図の見方や問題発見につながる問いと地図帳を活用した学習活動が『ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑』に設定されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、地図の見方や問題発見につながる問いなどを示した吹き出しが掲載されている。また、地図帳を活用して問いを解決する学習活動が『地図マスターへの道』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、外国語活動などに関連して、いろいろな国の言葉の挨拶が『世界みんなにありがとう!』に掲載されている。また、気候の特徴や棒グラフと折れ線グラフなど、理科や算数で学ぶ内容が掲載されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、外国語活動などに関連して、いろいろな国の言葉の挨拶が『世界の国からこんにちは!』に掲載されている。また、気候の特徴や棒グラフと折れ線グラフなど、理科や算数で学ぶ内容が掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、資料を見ながら地域の特色を捉え、その理由を考える学習活動が『ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑』の『じゃがいもの記号が多い平野はどこかな。また、じゃがいもさいばいがさかんな理由を答えよう。』に設定されている。
帝国	言語能力の育成について、地図を見ながら地域の特色を考える学習活動が『地図マスターへの道』の『野辺山原で高原野菜づくりがさかんな理由を説明してみよう。』に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な祭りや郷土料理、世界文化遺産などが『日本の伝統文化』に掲載されている。また、世界各国・地域の伝統・文化や歴史的な建造物などの絵記号が地図上に掲載されている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の世界遺産の写真とその場所が記された地図が『日本の世界遺産』に掲載されている。また、世界各国・地域の伝統・文化や歴史的な建造物などの絵記号が地図上に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、地球儀を使って『方位』『きょり』『大きさ』『形』を調べる学習活動が『地球儀を使って調べる』に設定されている。また、地図を作る学習活動が『まちを地図にしよう』に設定されている。
帝国	体験活動の充実について、地球儀を使って『方位』『きょり』『面積』『形』を調べる学習活動が『地球儀を使おう』に設定されている。また、身体を使って方位を表す学習活動が『方位で正しい方向を表そう』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習につながる、地図学習として『方位』や『地図記号』などを説明した『地図のきまり』や、『さくいん』や『縮尺』などを説明した『地図帳の使い方』が掲載されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習につながる、地図学習として『方位』や『地図記号』などを説明した『地図のやくそく』や、『さくいん』や『縮尺』などを説明した『地図帳の使い方』が掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、全市町村、都道府県、主な名所、史跡、施設などが示された『さくいん日本』、国と首都、主な都市などが示された『さくいん世界』が掲載され、『さくいん』の見方が掲載されている。
帝国	情報活用能力の育成について、全市町村、都道府県、旧市町村名、世界遺産などが示された『さくいん日本』、国と首都、地名が示された『さくいん世界』が掲載され、『さくいんの見かた』が掲載されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、『資料地図・統計表』のページでは地形、気候、産業、貿易などの主題図が付けられている。また、『地図学習』『日本列島』『各地方』『世界』『資料地図・統計表』『さくいん』など色分けされたインデックスが付けられている。
帝国	児童の学習上の困難さへの対応について、『資料図』のページでは地形、気候、農水産業などのタイトルが付けられている。また、『地図のやくそく』『地図帳の使い方』『広く見わたす地図』『世界』『統計』『さくいん』など色分けされたインデックスが付けられている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『地図を学ぼう』『地図のぼうげんに出発! / 日本の47都道府県』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
帝国	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『地図クイズ』『いろいろな日本地図』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。

⑯ 一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。	
東書	一般図・拡大図・主題図・索引などの配列について、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、資料図が掲載されており、巻末に赤字、黒字で色分けされ、チェック欄が設けられた『さくいん』が掲載されている。
帝国	一般図・拡大図・主題図・索引などの配列について、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、資料図が掲載されており、巻末に太さの異なる赤字、青字、緑字、黒字で色分けされた『さくいん』が掲載されている。
⑰ 統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達の段階に即したものが適切に取り上げられているか。	
東書	最新のデータを扱うことについて、『資料地図・統計表』では、データの調査実施年や出典が示された資料や統計が掲載されている。（『令和4年理科年表』、『総務省資料』、『外務省資料』など）
帝国	最新のデータを扱うことについて、『資料図』『統計』では、データの調査実施年や出典が示された資料や統計が掲載されている。（『理科年表 2022年』、『農林水産統計』、『財務省貿易統計』など）
⑱ 児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮について、地図帳の活用方法が『地図帳の使い方』『さくいん』の見方』に掲載されている。また、先生や児童を表すキャラクターによる課題や地図帳を使って行う学習活動が設定されている。
帝国	児童が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮について、地図帳の活用方法が『地図帳の使い方』『さくいんの見かた』に掲載されている。また、動物や児童を表すキャラクターによる課題や地図帳を使って行う学習活動が設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑲ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	日本の各地方の地図や世界の州を示す地図が掲載されている。また、日本や世界の自然や自然災害、産業、貿易、歴史などに関する資料・統計が取り上げられている。
帝国	日本の各地方の地図や世界の州を示す地図が掲載されている。また、日本や世界の自然や自然災害、産業、貿易、歴史などに関する資料・統計が取り上げられている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。
帝国	判型はA4判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適切するようにデザインしています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』『見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	4 ページ 『日本の47都道府県』（鶴岡八幡宮【神奈川県】） 5、6、17、18、41、42、43ページ 『都道府県の区分』など（地図上に神奈川県と県内の地名） 73ページ 『日本の産業』（地図上に神奈川県と京浜工業地帯） 74ページ 『日本の交通、都市』（地図上に神奈川県内の地名など） 77、78、79ページ 『日本の歴史』（年表、地図に「鎌倉幕府」「鎌倉」「浦賀」） 81ページ 『日本の伝統文化』（地図上に神奈川県と「ささらおどり」） 83、84ページ 『日本の都道府県の統計』
帝国	5、6、18、26、56、58、64、65、71、72、129ページ 『地図で日本発見！』など（地図上に神奈川県と県内の地名） 105、106ページ 『日本の産業のようす（2）』（地図上に神奈川県と京浜工業地帯） 109、110ページ 『日本の歴史』（「鎌倉のようす」「鎌倉幕府」「ペリーが浦賀に来航」など） 111、112ページ 『日本の統計』

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量（g）

発行者名	重量
東書	347
帝国	373

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『たしかめよう』『〇年の復習』『ほじゅうのもんだい』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『考える力をのばそう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『いかしてみよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『平均値とちらばり』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『小数、分数、整数のまじったかけ算やわり算』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、二酸化炭素のデータをもとに考える学習活動が『算数で読みとこう』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『学びのとびら』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が『野菜の価格が高い!』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『今日の深い学び』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本で独自に発達した和算が『算数卒業旅行』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、10mや1kmを実際に歩く学習活動が『長いものの長さのはかり方』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『くらべたことがあるかな』や、中学校の学習につながる『中学校体験入学コース』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、四捨五入する手順を考える学習活動が『プログラミングを体験しよう!』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめよう』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ものの形に注目すると?』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、数学的な見方・考え方を働かせる学習活動が『つないでいこう算数の目』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、比例の学習で考えたことを反比例でも考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『それなら次は』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論を出すなどの学習活動が『データを使って生活を見なおそう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『たしかめよう』、巻末に『ほじゅうのもんだい』が掲載され、13～18章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『視認性をいっそう高めたユニバーサルデザイン教科書体を採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	たのしい算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『たしかめ問題』『〇年の復習』『プラス・ワン』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学んだことを生かそう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『算数たまたばこ』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『データの特ちょうを表す値とグラフ』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『組み合わせ方』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、SDGsと算数との関連を調べる学習活動が『なるほど算数教室』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『じっくり深く学び合おう!』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が『伊能忠敬の地図作り』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『話し方』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の歴史的建造物で見られる白銀比が『なるほど算数教室』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、1mのテープを使って、分数のものさしを作る学習活動が『分数』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『たのしいさんすうはじまるよ』や、中学校の学習につながる『数学の世界へ』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、アルゴリズムを整理する学習活動が『プログラミングにちょうせん!』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめ問題』に設定されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『対称の中心で回転』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した内容を振り返り、見直しをもつ学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、分数どうしのわり算の方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『じっくり深く学び合おう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が『表やグラフを生かそう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『たしかめ問題』、巻末に『プラス・ワン』が掲載され、13～20章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全面的なユニバーサルデザインフォントの使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	学図	書名	みんなと学ぶ 小学校 算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『できるようになったこと』『〇年のまとめ』『もっと算数』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『まなびをいかそう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『はてなを発見』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『代表値』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『点対称な図形をかく』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、外来生物を題材として割合を用いて考える学習活動が『算数をつかって』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『みんなと学ぼう！算数の学び方』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、家庭科と関連した学習活動が『バランスのよい食事を考えよう』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『ことば』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、縦横の縮尺をかえた竪穴式住居が『はてなを発見』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、目を閉じて、片足で立っていられる時間を計る学習活動が『時こくと時間』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『どんなあそびをしてきたかな？』や、中学校の学習につながる別冊『中学校へのかけ橋』が設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、重さのちがうものをさがす方法を考える学習活動が『プログラミングのプ』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『できるようになったこと』に設定されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ぴったり重なる図形』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した内容を振り返り、考え方を整理する学習活動が『ふりかえろう！』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、円の面積を求める公式はあるのか考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『はてな』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論を出すなどの学習活動が『いろいろな問題を解決しよう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『できるようになったこと』、巻末に『もっと算数』が掲載され、15～22章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、AB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	教出	書名	小学算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『たしかめよう』『〇年のまとめ』『ステップアップ算数』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学んだことを使おう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『算数ワールド』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『いろいろなグラフ』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『代表値と散らばり』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、食品ロスに関する割合のグラフをもとに分析する学習活動が『考えようSDGs』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『みんなで算数をはじめよう!』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、音楽科と関連した学習活動が『メロディーは何種類?』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『算数が好きになるはじめの一歩』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、江戸時代の塵劫記に書かれていた俵杉算が『歴史のとびら』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、かかる時間や歩数を調べながら、100mや1kmを歩く学習活動が『長さ』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『いろいろなことがさんすうとつながるよ』や、中学校の学習につながる『数学へのとびら』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、車の進み方をカードを使って指示する学習活動が『プログラミングにちょうせん』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『ふり返ろう』に掲載されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『対称な図形の性質』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学んだ問題解決の方法を振り返る学習活動が『よくあるまちがい』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、分数を整数でわる方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『つながるミカタ』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論をまとめるなどの学習活動が『データを分析して、代表を決めよう!』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『ふり返ろう』、巻末に『ステップアップ算数』が掲載され、12～18章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、B5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	わくわく 算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『たしかめよう』『もうすぐ〇年生』『学びのサポート』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『平均値』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『図形の拡大と縮小』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、家庭の消費エネルギー量について調べる学習活動が『わくわくSDGs』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『算数のとびら』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、家庭科と関連した学習活動が『オーラソースをつくろう』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『算数で使うことば』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、線対称として平等院鳳凰堂が『どうしてきれいに見えるのかな?』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、長いものや丸いものの長さをまきじゃくを使って測る学習活動が『長さ』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『わくわくすたあと』や、中学校の学習につながる『数学へのとびら』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、忍者が呪文を唱えたときの人数を求める学習活動が『わくわくプログラミング』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめよう』に掲載されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『対称な図形』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、既習内容を活用し、条件等を変えて考える学習活動が『いろいろな条件を考えて』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、全部の場合を調べて条件にあう場合を考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『学びをふかめよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論をまとめるなどの学習活動が『データを使って問題を解決しよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『学びのまとめ』、巻末に『学びのサポート』が掲載され、13～23章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪算数(算数)≫

※詳細については、資料Ⅱ(算数-7～算数-17)を参照。

発行者の略称	日文	書名	小学算数
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が『学習をたしかに』〇年の復習』『しっかりチェック』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学習をたしかに』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『使ってみよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが『平均とちらばりのようす』などに掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が『反比例のグラフの特ちょう』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、海岸のごみの調査結果をグラフに表して調べる学習活動が『算数ジャンプ』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『学び方の4ステップ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、家庭科と関連した学習活動が『「一汁三菜」の献立を考えよう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『次の学習のために』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、江戸時代の庶民の暮らしで使われた和算が『マテマランドを探検しよう!』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、1秒ごとに手をたたく学習活動が『時間の計算と短い時間』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『かずやかたちでたのしく』や、中学校の学習につながる『もうすぐ中学生』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、すごろくのルールを図に表す学習活動が『レッツプログラミング』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『わかっているかな』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『点対称な図形をかこう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した数学的な見方・考え方を異なる場面で働かせる学習活動が『学習をたしかに』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考え、表現し、さらに伝え合うことについて、比例を利用して画用紙の枚数を求める方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えを説明する学習活動が『自分でみんなで』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、結論を出すなどの学習活動が『データを集めて調べて問題を解決しよう!』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『学習をたしかに』、巻末に『算数マイトライ』が掲載され、14～20章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は、B5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《算数(算数)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『たしかめよう』、巻末では『〇年の復習』『ほじゅうのもんだい』に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『たしかめ問題』、巻末では『〇年の復習』『プラス・ワン』に設定されている。
学図	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『できるようになったこと』、巻末では『〇年のまとめ』『もっと算数』に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『たしかめよう』、巻末では『〇年のまとめ』『ステップアップ算数』に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『たしかめよう』、巻末では『もうすぐ〇年生』『学びのサポート』に設定されている。
日文	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を定着する学習活動が、単元の最後では『学習をたしかに』、巻末では『〇年の復習』『しっかりチェック』に設定されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『考える力をのばそう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『算数マイノートをつくらう』に掲載されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学んだことを生かそう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『ノートの書き方の例』に掲載されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『まなびをいかそう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『ノート名人になろう』に掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学んだことを使おう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『友だちのノートを見てみよう』に掲載されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『やってみよう』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『算数ノートをつくらう』に掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決する学習活動が『学習をたしかに』に設定されている。また、問題解決の過程を振り返るノートの作り方の例が『算数ノートをつくらう』に掲載されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、すべり台の角度での活用を示した『角の大きさ』、第6学年では、ピザの面積での活用を示した『円の面積』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『いかしてみよう』に設定されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、おつりの計算での活用を示した『そろばん』、第6学年では、顕微鏡での活用を示した『拡大図と縮図』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『算数たまてばこ』に設定されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、花だんづくりでの活用を示した『面積』、第6学年では、折り紙での活用を示した『対称』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『はてなを発見』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、電卓を使った計算での活用を示した『がい数』、第6学年では、地上絵での活用を示した『拡大図と縮図』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『算数ワールド』に設定されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、リサイクルでの活用を示した『調べ方と整理のしかた』、第6学年では、商品販売での活用を示した『データの整理と活用』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『やってみよう』に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第4学年では、代金の見積もりでの活用を示した『計算の見積もり』、第6学年では、地図記号での活用を示した『対称な図形』など、日常生活で算数が活用された事例を取り上げた学習活動が『使ってみよう』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『平均値とちらばり』などに掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『データの特ちょうを表す値とグラフ』などに掲載されている。
学図	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『代表値』などに掲載されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『いろいろなグラフ』などに掲載されている。
啓林館	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『平均値』などに掲載されている。
日文	[思いやる力]の「共生」について、学習に取り組む際に登場し、複数の考え方を例示するキャラクターが第6学年では『平均値とちらばりのようす』などに掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『通分』、第6学年では『小数、分数、整数のまじったかけ算やわり算』などに設定されている。
大日本	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『割引前のねだんの求め方』、第6学年では『組み合わせ方』などに設定されている。
学図	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『平行四辺形の高さ』、第6学年では『点対称な図形をかく』などに設定されている。
教出	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『百分率を使って』、第6学年では『代表値と散らばり』などに設定されている。
啓林館	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『部屋のみぐあいのくらべ方』、第6学年では『図形の拡大と縮小』などに設定されている。
日文	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明し、伝え合う学習活動が、第5学年では『平均の求め方』、第6学年では『反比例のグラフの特ちょう』などに設定されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、人工林が吸う二酸化炭素の量などのデータをもとに議論し、排出量を減らすために自分でできそうなことを考える学習活動が『算数で読みとこう』に設定されている。
大日本	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、SDGsのロゴをデザインしたデザイナーへのインタビューを通して、SDGsと算数との関連を調べる学習活動が『ふくろう先生のなるほど算数教室』に設定されている。
学図	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、外来生物を題材として、割合を用いて話し合い、対策を調べて何ができるかを考える学習活動が『算数をつかって』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、食品ロスの削減や地球にやさしい再生可能エネルギーに関して、割合のグラフをもとに分析する学習活動が『考えようSDGs』に設定されている。
啓林館	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、エネルギーに関して折れ線グラフを活用して家庭の消費エネルギー量の変わり方について調べる学習活動が『わくわくSDGs』に設定されている。
日文	[社会とかかわる力] の「環境教育」について、第5学年では、海岸のごみについての調査結果を題材に、人工ごみの割合の変化についてグラフに表して調べる学習活動が『算数ジャンプ』に設定されている。

3 内容と構成

○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『問題をつかもう』『自分の考えをかき表そう』『友だちと学ぼう』『ふり返ってまとめよう』として『学びのとびら』に設定されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『問題をつかもう』『自分で考えよう』『学び合おう』『まとめて使ってみよう』『ふりかえろう』として『じっくり深く学び合おう!』に設定されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『学びのはじめ』『今日の学び』『学びのまとめとふりかえり』として『みんなと学ぼう!算数の学び方』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『問題をつかむ 自分の考えをもつ』『話し合って深める』『ふり返ってまとめる 比べてつなげる』『広げて考える』として『みんなで算数をはじめよう!』に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『どんな問題かな』『自分で考えよう』『みんなで話しあおう』『たしかめようふりかえろう』として『算数のとびら』に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決の過程が示された学習活動が『どんな問題かな』『考えよう』『学び合おう』『ふり返ろう』として『学び方の4ステップ』に設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、理科と関連した学習活動が『地球温暖化について考えよう』に設定されている。第6学年では、社会科と関連した学習活動が『野菜の価格が高い!』に設定されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、理科と関連した学習活動が『実験教室の準備』に設定されている。第6学年では、社会科と関連した学習活動が『伊能忠敬の地図作り』に設定されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、理科と関連した学習活動が『タイヤの材料について考えよう』に設定されている。第6学年では、家庭科と関連した学習活動が『バランスのよい食事を考えよう』に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、社会科と関連した学習活動が『グラフで「いちばん」を伝えよう!』に設定されている。第6学年では、音楽科と関連した学習活動が『メロディーは何種類?』に設定されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、社会科と関連した学習活動が『割合をグラフに表そう』に設定されている。第6学年では、家庭科と関連した学習活動が『オーロラソースをつくろう』に設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、他教科等との教科横断的な学習の課題として、第5学年では、社会科と関連した学習活動が『米の生産地と品種』に設定されている。第6学年では、家庭科と関連した学習活動が『「一汁三菜」の献立を考えよう』に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『今日の深い学び』に設定されている。
大日本	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『話し方』に設定されている。
学図	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『ことば』に設定されている。
教出	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『算数が好きになるはじめの一步』に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『算数で使うことば』に設定されている。
日文	言語能力の育成について、自分の考えを順序立てて説明する手立てが例示された学習活動が『次の学習のために』に設定されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、円周率をくわしく求めることに、日本の関孝和が挑戦していたことが『ますりん通信』に掲載されている。第6学年では、日本で独自に発達した和算が『算数卒業旅行』に掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、日本の関孝和や吉田光由が円周率の計算に挑戦したことが『なるほど算数教室』に掲載されている。第6学年では、日本の歴史的建造物で見られる白銀比が『ふくろう先生のなるほど算数教室』に掲載されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、円周率がある値よりも小さいことを日本の関孝和が求めたことが『なるほど算数』に掲載されている。第6学年では、縦横の縮尺をかえた堅穴式住居が『はてなを発見』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、300年前の日本で円周率を正確に求めることに挑戦した関孝和が『広がる算数』に掲載されている。第6学年では、江戸時代の塵劫記に書かれていた俵杉算が『歴史のとびら』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、鹿苑寺の金閣にはられている金箔が『どんな計算になるのかな』に掲載されている。また、第6学年では、線対称として平等院鳳凰堂が『どうしてきれいに見えるのかな?』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、日本の村松茂清や関孝和が円周率の正確な計算に挑戦した記録が『なるほど算数』に掲載されている。また、第6学年では、江戸時代の庶民の暮らしで使われた和算が『マテマランドを探検しよう!』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第3学年では、10mや1kmを実際に歩く学習活動が『長いものの長さのはかり方』に設定されている。第6学年では、直接測ることのできない長さを縮図を活用して求める学習活動が『拡大図と縮図』に設定されている。
大日本	体験活動の充実について、第3学年では、1mのテープを使って、分数のものさしを作る学習活動が『分数』に設定されている。第6学年では、紙の枚数を求めることで、比例を日常に生かす学習活動が『比例と反比例』に設定されている。
学図	体験活動の充実について、第3学年では、目を閉じて片足で立っていられる時間を計る学習活動が『時こくと時間』に設定されている。第6学年では、ひもを使って円の面積を確かめる学習活動が『円の面積』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第3学年では、かかる時間や歩数を調べながら、100mや1kmを歩く学習活動が『長さ』に設定されている。第6学年では、縮図を使って木の高さを求める学習活動が『拡大図と縮図』に設定されている。
啓林館	体験活動の充実について、第3学年では、長いものや丸いものの長さをまきじゃくを使って測る学習活動が『長さ』に設定されている。第6学年では、折り重ねた色紙を切って模様をつくる学習活動が『対称な図形』に設定されている。
日文	体験活動の充実について、第3学年では、1秒ごとに手をたたく学習活動が『時間の計算と短い時間』に設定されている。第6学年では、いろいろな道のりを調べるために自分の歩幅を使う学習活動が『データの調べ方』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『くらべたことがあるかな』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『中学校体験入学コース』が掲載されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『たのしいさんすうはじまるよ』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『数学の世界へ』が掲載されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『どんなあそびをしてきたかな?』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる別冊『中学校へのかけ橋』が掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『いろいろなことがさんすうとつながるよ』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『数学へのとびら』が掲載されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『わくわくすたあと』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『数学へのとびら』が掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、幼児期の体験を振り返り算数の学習につながる『かずやかたちでたのしく』に掲載されている。第6学年では、中学校の学習につながる『もうすぐ中学生』が掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、第4学年では、四捨五入する手順を考える学習活動、第5学年では、正多角形を作図するプログラムを考える学習活動が『プログラミングを体験しよう!』に設定されている。
大日本	情報活用能力の育成について、第4学年では、アルゴリズムを整理する学習活動、第5学年では、正多角形を作図するプログラムを考える学習活動が『プログラミングにちょうせん!』に設定されている。
学図	情報活用能力の育成について、第4学年では、重さのちがうものをさがす方法を考える学習活動、第5学年では、正多角形を作図するプログラムを考える学習活動が『プログラミングのプ』に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、第4学年では、車の進み方をカードを使って指示する学習活動、第5学年では、正三角形や正六角形を作図するプログラムを考える学習活動が『プログラミングにちょうせん』に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、第4学年では、忍者が呪文を唱えたときの人数を求める学習活動、第5学年では、正多角形を作図するプログラムを考える学習活動が『わくわくプログラミング』に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、第4学年では、すごろくのルールを図に表す学習活動、第5学年では、今日のラッキーカラーを決めるプログラムを考える学習活動が『レッツプログラミング』に設定されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『前の学習』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめよう』に設定されている。
大日本	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『前の学習』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめ問題』に設定されている。
学図	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『もくじ』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『できるようになったこと』に設定されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『もくじ』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『ふり返ろう』に設定されている。
啓林館	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『これまでに学んだこと』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『たしかめよう』に設定されている。
日文	児童の学習上の困難さへの対応について、前学年までの既習内容が『これまでの学習』に掲載されている。また、振り返り問題に関連する既習内容を示した学習活動が『わかっているかな』に設定されている。

⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『ひっ算のしかた』など、第6学年では『ものの形に注目すると?』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大日本	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『2けたのたし算』など、第6学年では『対称の中心で回転』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学図	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『たし算のひっ算』など、第6学年では『ぴったり重なる図形』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『長さのはかり方』など、第6学年では『対称な図形の性質』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
啓林館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『たし算』など、第6学年では『対称な図形』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第2学年では『筆算のしかた』など、第6学年では『点対称な図形をかこう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、既習内容を整理し、数学的な見方・考え方を働かせる学習活動が『つないでいこう算数の目』に設定されている。
大日本	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した内容を振り返り、これからの学習の見通しをもつ学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。
学図	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、単元を通して学習した内容を振り返り、考え方を整理する学習活動が『ふりかえろう!』に設定されている。
教出	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、単元を通して学んだ問題解決の方法を振り返る学習活動が『よくあるまちがい』に設定されている。
啓林館	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、既習内容を身の回りで活用し、条件等を変えて考える学習活動が『いろいろな条件を考えて』に設定されている。
日文	数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けることについて、学習した数学的な見方・考え方を異なる場面で働かせる学習活動が『学習をたしかに』に設定されている。

⑩ 具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて考え、表現し、さらに伝え合うような題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、台形の面積の求め方を考える、第6学年では、比例の学習で考えたことを反比例でも考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『それなら次は』に設定されている。
大日本	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、四角形の内角の和を考える、第6学年では、分数どうしのわり算の方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『じっくり深く学び合おう』に設定されている。
学図	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、ひし形の面積を求める方法を考える、第6学年では、円の面積を求める公式があるか考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『はてな』に設定されている。
教出	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、分母の異なる分数をたしたりひいたりできるか考える、第6学年では、分数を整数でわる方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『つながるミカタ』に設定されている。
啓林館	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、3割引きはもとの値段の何倍かを考える、第6学年では、全部の場合を調べて条件にあう場合を考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『学びをふかめよう』に設定されている。
日文	考え、表現し、さらに伝え合うことについて、第5学年では、四角形の内角の和の求め方を考える、第6学年では、比例を利用して画用紙の枚数を求める方法を考えるなど、式や図、表を用いて考えの相違点や共通点について説明する学習活動が『自分でみんなで』に設定されている。
⑪ 目的に応じてデータを収集、分類整理し、結果を適切に表現する題材や、統計データの特徴を読み取り判断する題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『問題を設定する』『計画を立てる』『データを集めて整理する』『分せきする』『結論を出す』という過程に沿って、自分の家庭学習時間の長さについて考える学習活動が『データを使って生活を見なおそう』に設定されている。
大日本	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『調べることを決めよう』『計画を立てよう』『データを集めよう』『分せきしよう』『わかったことをまとめよう』という過程に沿って、クラスの人が本をどのくらい借りているか考える学習活動が『表やグラフを生かそう』に設定されている。
学図	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『問題を見つける』『計画を立てる』『データを集める』『分析をする』『結論を出す』という過程に沿って、地球は温暖化しているかどうかを考える学習活動が『いろいろな問題を解決しよう』に設定されている。
教出	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『テーマを見つける』『計画を立てる』『データを集めて整理する』『分せきをする』『結論をまとめる』という過程に沿って、8の字とびの学年代表を決める方法について考える学習活動が『データを分析して、代表を決めよう！』に設定されている。
啓林館	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『問題を設定する』『調べ方を計画する』『データを集める』『データを分せきする』『結論をまとめる』という過程に沿って、大縄とびのクラスの代表チームを決める方法について考える学習活動が『データを使って問題を解決しよう』に設定されている。
日文	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、第6学年では、『問題を見つけよう！』『調べ方を計画しよう！』『データを集めよう！』『データをくわしく分析しよう！』『結論を考えよう！』という過程に沿って、図書館を利用する人を増やす方法について考える学習活動が『データを集めて調べて問題を解決しよう！』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	補充や発展問題として、単元末に『たしかめよう』、巻末に『ほじゅうのもんだい』が掲載され、第1学年は18章、第2学年は17章、第3学年は18章、第4学年は14章、第5学年は18章、第6学年は13章で構成されている。
大日本	補充や発展問題として、単元末に『たしかめ問題』、巻末に『プラス・ワン』が掲載され、第1学年は20章、第2学年は17章、第3学年は18章、第4学年は15章、第5学年は18章、第6学年は13章で構成されている。
学図	補充や発展問題として、単元末に『できるようになったこと』、巻末に『もっと算数』が掲載され、第1学年は19章、第2学年は22章、第3学年は20章、第4学年は21章、第5学年は21章、第6学年は15章で構成されている。
教出	補充や発展問題として、単元末に『ふり返ろう』、巻末に『ステップアップ算数』が掲載され、第1学年は18章、第2学年は17章、第3学年は18章、第4学年は17章、第5学年は16章、第6学年は12章で構成されている。
啓林館	補充や発展問題として、単元末に『学びのまとめ』、巻末に『学びのサポート』が掲載され、第1学年は23章、第2学年は17章、第3学年は20章、第4学年は16章、第5学年は18章、第6学年は13章で構成されている。
日文	補充や発展問題として、単元末に『学習をたしかに』、巻末に『算数マイトライ』が掲載され、第1学年は20章、第2学年は17章、第3学年は18章、第4学年は17章、第5学年は17章、第6学年は14章で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。
大日本	判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。
学図	判型は、A4判が採用されている。
教出	判型は、B5判が採用されている。
啓林館	判型は、第1学年上巻はA4判、その他はB5判が採用されている。
日文	判型は、B5判が採用されている。

⑦文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『視認性をいっそう高めたユニバーサルデザイン教科書体を採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようデザインしていません。』と表記されている。
大日本	『全面的なユニバーサルデザインフォントの使用、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。』と表記されている。
学図	『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第2学年上 110ページ 道路標識（相模原市） 第3学年上 62ページ 品濃一里塚（横浜市） 第5学年下 115ページ 新横浜プリンスホテル（横浜市）
大日本	第3学年 175ページ スクールゾーン電柱（横浜市） 第5学年 148ページ 神奈川県人口と面積、242ページ 『神奈川県建設予定地周辺』（相模原市）、 246ページ 『横浜ランドマークタワー』（横浜市）、249ページ 『横浜市のビル』（横浜市） 第6学年 173ページ 住宅（平塚市）、209ページ 『横浜スタジアム』（横浜市）、270ページ 面積（鎌倉市）
学図	第4学年上 15ページ 横浜港（横浜市）、下 9ページ ブーラシア（横浜市） 第6学年 23ページ 『⑩神奈川県』、216ページ 『ぎょうざに使う金額』（横浜市、川崎市、相模原市）
教出	第2学年下 裏表紙 『ひなまつり』（南足柄市）、『寄木細工』（箱根町） 第3学年上 表紙 『観覧車』（相模原市）、111ページ 『サッカー場』（川崎市）、 裏表紙 『くりはま花の国』（横須賀市）、『大山こま』（伊勢原市）、 下 54ページ びわ青少年の家（平塚市）、 77ページ 紅谷町標識（平塚市）、気温（横浜市） 第4学年上 11ページ 神奈川県いろいろな数、12ページ 『日本の人口ランキングベスト5』 第5学年 148ページ 神奈川県人口と面積 第6学年 187、188ページ 横浜市の縮図（横浜市）、189ページ 新横浜プリンスホテル（横浜市）、 202ページ サッカー（川崎市）、 267ページ 『二ヶ領用水久地田筒分水』（川崎市）
啓林館	第2学年上 33ページ 『大かんらんしゃ』（横浜市） 第4学年上 73ページ 『大山ケーブルカー』（伊勢原市）、下 15ページ 『よこはま動物園ブーラシア』（横浜市）
日文	第5学年 136ページ 神奈川県人口と面積、写真（横浜市）、 254、255ページ 『海岸ごみの内訳 過去と直近の比較』（かながわ美化財団） 第6学年 24ページ 『神奈川県』

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量（g）													
	冊数	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		1年上	1年下	2年上	2年下	3年上	3年下	4年上	4年下	5年上	5年下	6年上	6年下
東書	11	140	227	229	209	259	223	259	259	250	241	428	
大日本	7	126	243	430		456		490		482		445	
学図	12	229	240	335	299	308	364	330	365	358	383	516	110
教出	9	306		258	223	263	246	295	287	501		462	
啓林館	10	160	243	239	246	259	225	271	225	452		437	
日文	10	96	254	288	239	298	253	290	288	538		483	

※東書の「1①」を「1年上」、「1②」を「1年下」として表記しています。
 ※大日本の「1ねん①」を「1年上」、「1ねん②」を「1年下」として表記しています。
 ※学図の「6年」を「6年上」、「6年 中学校へのかけ橋」を「6年下」として表記しています。
 ※啓林館の「すたあと ぶっく」を「1年上」、「さんすう1」を「1年下」として表記しています。
 ※日文の「1①」を「1年上」、「1②」を「1年下」として表記しています。

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に学習問題を確かめる方法や考える学習活動が『予想しよう』『計画しよう』『考察しよう』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、火を消すために必要なことについて考える学習活動が『こんなところにも!』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 『思いやる力』の「いのちの大切さ」について、人の誕生に関連して、産婦人科医へのインタビューを扱った『元気なうぶ声を聞くと安心します』などが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 『たくましく生きる力』の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『話し合いのしかた』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 『社会とかかわる力』の「地域貢献活動」について、人と環境のかかわりとして、人のくらしが環境におよぼす影響などについて考える学習活動が『人と環境とのかかわり』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『レッツトライ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『算数科で学んだことを活用しよう』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『考えよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、天気に関することわざが『天気のことわざを調べてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、電気の効率的な使い方について、実際に電力量を調べて考えるなどの学習活動が『電気を効率的に使うためのくふう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である食物連鎖が『はってん』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、野菜の水やりを自動で制御するプログラミングを考える学習活動が『理科とプログラミング』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『予想しよう』『計画しよう』などに設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『理科の調べ方を身につけよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『理科の調べ方を身につけよう』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、集気びんの中でろうそくを燃やし続けるために必要なことを考える学習活動などが『のぼそう! 理科の力』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、酸素の中と空気の中のろうそくの燃え方の違いを考える学習活動などが『広げよう! 理科の発想』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『ふりかえろう』『たしかめよう』が、巻末に『1年間をふりかえろう』などが掲載され、10～12章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	大日本	書名	新版 たのしい理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『確かめよう』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題について確かめる方法や考える学習活動が『予想』『計画』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、私たちが利用できる水はどれくらいあるのかを考える学習活動が『りかのたまてばこ』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、人の誕生に関連して、出産の前後で母親の生活および心を支えている産婦人科医を取り上げた『命のたんじょうに寄りそう産婦人科医の仕事』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『考察』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、人と環境のかかわりについて考える学習活動が『多摩川のとり組み』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『問題をみつける』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方や計算などを示した『算数科とつなげよう』が掲載されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『深めよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、天気に関する言い習わしが『天気の良い習わし』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、水よう液に溶けているものをとり出すなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『大きなミョウバンをつくってみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である燃える金属が『中学校で学ぶこと』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、身の回りの電気製品のプログラミングを考える学習活動が『プログラミングを体験してみよう!』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の学び方』に設定されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『タブレットを使ってみよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『使い方をおぼえよう』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、打ち水や緑のカーテンは、水や植物の性質をどのように生かしているのか考える学習活動が『Science World』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、葉に日光が当たると植物が成長することについて考える学習活動などが『ココに注目』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『確かめよう』『学んだことを生かそう』などが、巻末に『チャレンジ問題』などが掲載され、10～11章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	学 園	書 名	みんなと学ぶ 小学校 理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『わかったこと』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題について確かめる方法や考える学習活動が『問題をみつけよう』『計画』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、持続可能な漁業について考える学習活動が『もっとしりたい』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、胎児の成長を表やグラフで表し、身近なものの重さに例える『たい児の大きさや重さ』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることが『伝える・聞く』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、国の天然記念物であるイタセンバラの生息地を守る活動について考える学習活動が『イタセンバラを守る(富山県氷見市)』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、平均の出し方を示した『平均』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『「使い方説明書」を作ろう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、天気予想に利用された日和山が『約190年前の日和山のようす』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、風のはたらきなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『風車の作り方』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である心臓のはく動と脈はくが『もっとしりたい』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、身の回りの電気製品に利用されているプログラミングについて考える学習活動が『プログラミングを作る』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『科学の芽を育てよう』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『調べる②-ICTを使う-』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『理科室の使い方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、生物の体の中に含まれる水分やそのはたらきについて考える学習活動などが『もっとしりたい』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、空気のないところで植物を燃やすと炭になることについて考える学習活動などが『植物の炭を作ろう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や学習の振り返りとして、単元末に『ふりかえろう』『できるようになった』などが、巻末に『理科の世界をふりかえろう』などが掲載され、10～12章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《理科(理科)》

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	教出	書名	未来をひらく 小学理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふり返ろう』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『予想しよう 計画しよう』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、てこのはたらきが利用されている道具について考える学習活動が『学びを広げよう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、新しい命の誕生についての母親の思いを扱った『新しい生命が生まれる喜び』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『自分たちの考えを伝え合い、学び合おう』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、小学生による川掃除活動や川をきれいにするための取組について考える学習活動が『近木川クリーンキャンペーン』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『学習の進め方』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『算数とのつながり』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『結果から考えよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、月に関する俳句が『月の見え方と太陽』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、生き物ブックを作るなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『チャレンジ』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である生物の観察と分類が『学習のつながり』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、明かりをつけたり消したりするプログラミングを考える学習活動が『プログラムの利用』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『学習の進め方』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『使い方・調べ方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『使い方・調べ方』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、地球温暖化の原因や影響、また、その対策について考える学習活動などが『しりょう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、だ液を混ぜたものと混ぜていないもので起こる変化の違いについて考える学習活動などが『考え方のカギ』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『問題』『確かめよう』などが、巻末に『6年で学んだこと』などが掲載され、9～11章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4変形判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪理科(理科)≫

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	信教	書名	楽しい理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう(なるほど)』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『問題』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、葉にできたでんぷんのゆくえについて考える学習活動が『しりょう』などに設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 『思いやる力』の「いのちの大切さ」について、命の学習を振り返りながら生命のつながりについて扱った『受けつがれる生命』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 『たくましく生きる力』の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『結果から考えてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 『社会とかかわる力』の「地域貢献活動」について、水害などを減らす取組として山や田んぼを守ることについて考える学習活動が『植林する子どもたち』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『理科の学習の進め方』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『やってみよう』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『しらべてみよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔から世界中で使われてきた日時計が『太陽と影を調べよう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、磁石の性質を利用して魚つりゲーム作るなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『ものづくり』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である力のはたらきが『中学校の理科』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、人がいるときだけ明かりがつく装置のプログラミングを考える学習活動が『方法を考えてみよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の学習の進め方』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『たしかめよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『実験』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、学んだことについて主体的に新たなテーマを設定する学習活動が『やってみよう自由研究』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、葉に日光が当たるとでんぷんができることを確かめる方法を考える学習活動などが『方法を考えてみよう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『ふりかえろう』『やってみよう自由研究』などが掲載され、10～16章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 <<理科(理科)>>

※詳細については、資料Ⅱ(理科-7～理科-14)を参照

発行者の略称	啓林館	書名	わくわく理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふり返ろう まとめノート』などに設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『予想』『計画』などに設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、海洋酸性化が与える環境への影響などについて考える学習活動が『くらしとリンク』などに設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、母親を社会全体で支えるために取り組んでいる『お母さんを支えるマタニティマーク?』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『伝える』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、水害などを減らすことにもつながる環境保全の取組について考える学習活動が『植林活動』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p><<教科・種目共通の観点>></p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『理科の楽しみ方』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『理科につながる算数のまど』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『ノートのまとめ方』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、月に関する俳句が『活用しよう』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、糸電話をつくろうなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『理科の広場』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である細胞が『中学校へ向けて』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、電気の利用とむだなく使う工夫を考えるプログラミングの学習活動などが『電気をむだなく使うプログラミングをつかってみよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の楽しみ方』に設定されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『学びの中でICTを活用してみよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><<各教科・種目別の観点>>(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『けんび鏡』に掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、ものを燃やすための条件について考える学習活動などが『くらしとリンク』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「理科の見方・考え方」を働かせて、科学的に解決することについて、太陽光パネルが同じ向きであることについて考える学習活動などが『理科の見方・考え方』が役に立ったよ!』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 補充や発展問題として、単元末に『たしかめよう』『活用しよう』などが、巻末に『理科につながる算数のまど』などが掲載され、9～11章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディアユニバーサルデザイン協会の認定を申請中です。(後略)』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名≪理科(理科)≫

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう』などに設定されている。また、第5学年では、実験・観察について、変化の過程を示す視覚資料や器具の安全な使用方法、専門用語などが『たまごの中の変化』に掲載されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『確かめよう』などに設定されている。また、実験方法や自然現象についての比較や観察ができるよう、各単元に複数の視覚教材が掲載されている。
学図	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『わかったこと』などに設定されている。また、観察実験結果が見開き写真やイラストで掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふり返ろう』などに設定されている。また、学習したことと用語を確認し、ワークシート形式で実験、観察、結論を整理する学習活動が『確かめよう』に設定されている。
信教	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動が『ふりかえろう(なるほど)』などに設定されている。イラストを用いて学習した内容を複数回確認し、整理する資料が『わかったこと』に掲載されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、単元の学習内容をまとめる学習活動などが『ふり返ろう まとめノート』などに設定されている。また、学習内容のまとめや実験の仕方について、イラストと文章で整理して掲載している。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に学習問題を確かめる方法や考える学習活動が『予想しよう』『計画しよう』『考察しよう』などに設定されている。また、第6学年では、課題をもち、つかんだ課題を予想し、それを確かめる方法を計画し、課題を解決するための観察・実験などが『レッツトライ』に掲載されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題について確かめる方法や考える学習活動が『予想』『計画』などに設定されている。また、経験をもとに予想し、調べ方についての計画を考え、それを解決するための実験・観察が掲載されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題について確かめる方法や考える学習活動が『問題をつまみつけよう』『計画』などに設定されている。また、児童が実験結果を記録するための表などが掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『予想しよう 計画しよう』などに設定されている。また、学習の前後でどのような力が身についたかを振り返る学習活動が『確かめよう』に設定されている。
信教	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『問題』などに設定されている。また、問題、観察または実験、結果について学習の定着を図る学習活動が『ふり返ろう まとめノート』に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元に問題に対する答えを予想し、それを確かめる調べ方を考える学習活動が『予想』『計画』などに設定されている。また、『?問題』では予想と計画をすることで、児童が見通しを持てるよう設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、火を消すために必要なことについて考える学習活動が『こんなところにも!』に設定されている。また、巻頭に理科で重視される問題解決の力を育むための学習過程が『理科の学び方』に掲載されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、私たちが利用できる水はどれくらいあるのかを考える学習活動が『りかのたまたまばこ』に設定されている。また、日常生活から問題を見いだす学習活動が『問題を見つける』に掲載されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、持続可能な漁業について考える学習活動が『もっとしりたい』に設定されている。また、巻頭に理科で重視される問題解決の力を育むための学習活動が『科学の芽を育てよう』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第3学年では、てこのはたらきが利用されている道具について考える学習活動が『学びを広げよう』に設定されている。また、各単元における学習の構成として、単元末に自分の成長を意識する場面が『学習後の〇〇さん』に掲載されている。
信教	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、葉にできたでんぷんのゆくえについて考える学習活動が『しりょう』に設定されている。また、各単元の学習で日常生活に応用できる資料が『しらべてみよう』に掲載されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関して、第6学年では、海洋酸性化が与える環境への影響などについて考える学習活動が『くらしとリンク』に設定されている。また、学習内容を発展させるための資料が『活用しよう』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、人の誕生に関連して、産婦人科の医師にインタビューしている『元気なうぶ声を聞くと安心します』などが掲載されている。また、第6学年では、生命の尊厳や人と自然環境との関わりを題材とした資料などが『生き物がすむ環境を守る』に掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、人の誕生に関連して、出産の前後で母親の生活および心を支えているサンフジ簡易を取り上げた『命のたんじょうに寄りそう産婦人科医の仕事』が掲載されている。また、SDGsの視点で人と自然環境との関わりについて紹介する資料が掲載されている。
学図	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、胎児の成長を表やグラフで表し、身近なものの重さに例える『たい児の大きさや重さ』が掲載されている。また、体験を通して生命の大切さについて考え、活動や人と自然環境との関わりからSDGsにつながる資料が掲載されている。
教出	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、新しい命の誕生についての母親の思いを扱った『新しい生命が生まれる喜び』が掲載されている。また、人と自然が共生するための取組や生命の誕生、自然現象との関わりに関する資料が掲載されている。
信教	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、命の学習を振り返りながら生命のつながりについて扱った『受けつがれる生命』が掲載されている。また、人と自然環境との関わりとそれに対する工夫や努力、生命の営みなどについての資料が掲載されている。
啓林館	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、母親を社会全体で支えるために取り組んでいる『お母さんを支えるマタニティマーク?』が掲載されている。また、私達のくらしと自然環境との関わりや動物や植物の生命を題材とした資料が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『話し合いのしかた』に掲載されている。また、第6学年では、発表や話し合いの仕方、学びを広げる工夫などが『地球にいきる』に掲載されている。
大日本	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『考察』に掲載されている。また、観察・実験の方法と記録を題材とした資料が『深めよう』に掲載されている。
学図	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることが『伝える・聞く』に掲載されている。また、観察・実験の方法と記録についての資料が掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『自分たちの考えを伝え合い、学び合おう』に掲載されている。また、SDGsを実現するために、私たちにできることについて扱った資料が掲載されている。
信教	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『結果から考えてみよう』に掲載されている。また、情報化に関する学習の参考となる資料が『天気情報の例』に掲載されている。
啓林館	[たくましく生きる力]の「共生」について、友達の考えや意見を聞いて、新たに考えたことを伝えることなどが『伝える』に掲載されている。また、『ノートのまとめ方』などを示した資料が掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、人と環境のかかわりとして、人のくらしが環境におよぼす影響などについて考える学習活動が『人と環境とかかわり』に設定されている。また、第6学年では、ロボット研究者や宇宙飛行士、消防隊員などが理科で学んだことをどう職業に活かしているか紹介する資料などが『地球に生きるみなさんへ』に掲載されている。
大日本	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、人と環境のかかわりについて考える学習活動が『多摩川のとり組み』に設定されている。また、理科に関係する職業として、研究者等が掲載されている。
学図	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、国の天然記念物であるイタセンバラの生息地を守る活動について考える学習活動が『イタセンバラを守る(富山県氷見市)』に設定されている。また、理科に関わる職業の紹介する資料として『科学者を知ろう』が掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、小学生による川掃除活動や川をきれいにするための取組について考える学習活動が『近木川クリーンキャンペーン』に設定されている。また、理科で学んだことを仕事に生かしている様子が掲載されている。
信教	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、水害などを減らす取組として山や田んぼを守ることについて考える学習活動が『植林する子どもたち』に設定されている。また、理科に関わる職業の紹介する資料として『リンゴの人工授粉』が掲載されている。
啓林館	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、水害などを減らすことにもつながる環境保全の取組について考える学習活動が『植林活動』に設定されている。また、自然とのふれあい体験について、身近な動植物の様子や日本各地の自然等が掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『レッツトライ』に設定されている。また、問題解決の過程では、想定される対話の様子をイラストで示したり、まとめたことを一般化するための『問題』が掲載されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『問題をみつける』に設定されている。また、各単元に問題を見出す場面や学習内容を発展的に取り上げる場面が掲載されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『やってみよう』に設定されている。また、問題解決のプロセスの中で、キャラクターによる対話の例が掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『学習の進め方』に設定されている。また、問題解決のプロセスにおいて、想定される対話の様子や結論の一般化を図る問い等が掲載されている。
信教	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『理科の学習の進め方』に設定されている。また、問題を見つけるため、対話を通して気付きや感想、実験の計画の意見を出し合うなどの場面が掲載されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、単元で扱う問題に関連した学習活動が『理科の楽しみ方』に設定されている。また、予想・計画や考察で気付きや感想を出し合う学習場面には、話したり聞いたりする時の要点が掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『算数科で学んだことを活用しよう』が掲載されている。また、巻末には、小学校で学んだことを発展させ、中学で学習することが『中学校1年で学習すること』に掲載されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方や計算などを示した『算数科とつなげよう』が掲載されている。また、巻末に算数や他の教科への学びとこれまでの理科の学びをつなげる内容が掲載されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、平均の出し方を示した『平均』が掲載されている。また、教科書の裏表紙に学習内容からSDGsにつなげるための目標が掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『算数とのつながり』が掲載されている。また、巻末に理科と算数のつながりや今後の学習の見通しや、育成すべき問題解決の力などについて領域ごとに色分けして掲載されている。
信教	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『やってみよう』が掲載されている。また、発展として中学校で扱う学年と内容が『やってみよう』に掲載されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、算数科との関連として、表やグラフの書き方などを示した『理科につながる算数のまど』が掲載されている。また、単元に他教科との関連を示した他教科関連マークが掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『考えよう』に設定されている。また、単元では児童の考えを吹き出しのイラストで示したり、巻末には理科を学ぶときに役立つ資料として『かく・話す』が掲載されている。
大日本	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『深めよう』に設定されている。また、考察の場面で児童の言葉で話し合っている様子が掲載されている。
学図	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『「使い方説明書」を作ろう』に設定されている。また、話し合いの仕方やノートの書き方等についても掲載されている。
教出	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『結果から考えよう』に設定されている。また、各単元で話し合いの仕方について掲載されている。
信教	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『しらべてみよう』に設定されている。また、各単元で話し合いの場面を分かり易く示し、具体的な話し合いの仕方についても掲載されている。
啓林館	言語能力の育成について、実験や観察の結果について考え、まとめる学習活動が『ノートのまとめ方』に設定されている。また、問題をつかむ場面から考察をする場面までの話し合いの例などが掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、天気に関することわざが『天気のことわざを調べてみよう』に掲載されている。また、伝統や文化に関する資料として、昔から海水を原料に行われてきた『海水から食塩をつくる！』や、巻末に日本の博物館や科学館に関する紹介が掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、天気に関する言い習わしが『天気のいい習わし』に掲載されている。また、単元末には日本の自然や文化などが掲載されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、天気の予想に利用された日和山が『約190年前の日和山のようす』に掲載されている。また、伝統や文化に関する教育の充実などについて『もっと知りたい』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、月に関する俳句が『月の見え方と太陽』に掲載されている。また、日本の伝統の食料保存について『天日干し』が掲載されている。
信教	伝統や文化に関する教育の充実について、昔から世界中で使われてきた日時計が『太陽と影を調べよう』に掲載されている。また、日本の歴代科学者の功績などが『ふしぎな追いを求めた科学者』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、月に関する俳句が『活用しよう』に掲載されている。また、生活の中に根付く工芸品などの例が『黄どう』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、電気の効率的な使い方について、実際に電力量を調べて考えるなどの学習活動が『電気を効率的に使うためのくふう』に設定されている。また、第6学年では、『電気と私たちの暮らし』の単元末には、実際に電気がつくられている場所を探すなどの活動例が『レッツトライ』に掲載されている。
大日本	体験活動の充実について、水よう液に溶けているものをとり出すなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『大きなミョウバンをつくってみよう』に設定されている。また、日本の科学館や博物館の利用に関する紹介として『科学館・博物館に行ってみよう』が掲載されている。
学図	体験活動の充実について、風のはたらきなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『風車の作り方』に設定されている。また、日本の科学館や博物館を紹介する『わたしの自由研究』などが掲載されている。
教出	体験活動の充実について、生き物ブックを作るなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『チャレンジ』に設定されている。また、日本の科学館や博物館、科学者を紹介する『科学館や博物館の利用』などが掲載されている。
信教	体験活動の充実について、磁石の性質を利用して魚つりゲーム作るなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『ものづくり』に設定されている。また、道具の作り方や実験を紹介する『やってみよう』などが掲載されている。
啓林館	体験活動の充実について、糸電話をつくらうなど、学んだことを生かしてできる学習活動が『理科の広場』に設定されている。また、動物園や水族館が『くらしとリンク』などに掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である食物連鎖や地震などについて『はってん』が掲載されている。また、巻末には既習内容と中学校の学習のつながりを示した『中学校1年で学習すること』が掲載されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である燃える金属が『中学校で学ぶこと』に掲載されている。また、巻末には中学校の学習内容について『中学生になったら…』が掲載されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である心臓のはく動と脈はくが『もっと知りたい』に掲載されている。また、中学校の学習内容に触れた『もうすぐ中学生』が掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である生物の観察と分類が『学習のつながり』に掲載されている。また、学校段階間の円滑な接続について、単元の導入ページにおいて、他学年の学習とのつながりがわかるように『学習のつながり』に掲載されている。
信教	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である力のはたらきが『中学校の理科』に掲載されている。また、学習を発展させた内容などについて『ふりかえろう』が掲載されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、中学校の学習内容である細胞が『中学校へ向けて』に掲載されている。また、単元末には、小学校での学習を発展した内容が『理科の広場』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、野菜の水やりを自動で制御するプログラミングを考える学習活動が『理科とプログラミング』に設定されている。また、各単元の実験や観察の結果に関する記録やまとめの方法が掲載されている。
大日本	情報活用能力の育成について、身の回りの電気製品のプログラミングを考える学習活動が『プログラミングを体験してみよう!』に設定されている。また、学習内容に関するデータの取り方や表のまとめ方が『理科のノートの書き方』に掲載されている。
学図	情報活用能力の育成について、身の回りの電気製品に利用されているプログラミングについて考える学習活動が『プログラミングを作る』に設定されている。また、各単元の『実験』や『観察』に記録や観察方法、記録の描き方が掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、明かりをつけたり消したりするプログラミングを考える学習活動が『プログラムの利用』に設定されている。また、巻末には機器を用いた実験や観察方法に関する資料が掲載されている。
信教	情報活用能力の育成について、人がいるときだけ明かりがつく装置のプログラミングを考える学習活動が『方法を考えてみよう』に設定されている。また、各単元の『実験』や『観察』について、記録の取り方など、学習の参考になる資料が掲載されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、電気の利用とむだなく使う工夫を考えるプログラミングの学習活動などが『電気をむだなく使うプログラミングをつかってみよう』に設定されている。また、各単元の実験や観察に関する情報の集め方や結果の整理の仕方などが掲載されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『予想しよう』『計画しよう』などに設定されている。また、問題解決の過程として『理科の学び方』が掲載されている。
大日本	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の学び方』に設定されている。また、問題解決の過程として『予想』『計画』などが掲載されている。
学図	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『科学の芽を育てよう』に設定されている。また、写真と文を対応させた器具の使い方などが掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『学習の進め方』に設定されている。また、各単元の重要な語句等に「見方・考え方」などを示すマークが掲載されている。
信教	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の学習の進め方』に設定されている。また、学習の振り返りとして『思い出そう』が掲載されている。
啓林館	児童の学習上の困難さへの対応として、学習の見通しや問題解決の過程などを示した学習活動が『理科の楽しみ方』に設定されている。また、問題解決の過程として『考察しよう』が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『理科の調べ方を身につけよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元に学習を広げるための二次元コードが掲載されている。
大日本	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『タブレットを使ってみよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元の実験器具の使い方等に関する二次元コードが掲載されている。
学図	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『調べる②-ICTを使う-』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元に学習の振り返りのための二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『使い方・調べ方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、単元のはじめに学習を振り返るための二次元コードが掲載されている。
信教	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『たしかめよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元の実験器具の使い方等にリンクする二次元コードが掲載されている。
啓林館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『学びの中でICTを活用してみよう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、各単元に学習内容を振り返る補充問題などにリンクする二次元コードが掲載されている。
⑯ 観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにするために、児童の発達の段階に即した工夫や配慮はなされているか。	
東書	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『理科の調べ方を身につけよう』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『きけん』に掲載されている。
大日本	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『使い方をおぼえよう』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』に掲載されている。
学図	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『理科室の使い方』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』『やくそく』に掲載されている。
教出	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『使い方・調べ方』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』『危険』に掲載されている。
信教	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『実験』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』に掲載されている。
啓林館	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることについて、観察方法や実験器具の使い方などが『けんび鏡』に掲載されている。また、実験器具や薬品の使用、観察・実験を安全に行うための注意点などが『注意』に掲載されている。

① 観察、実験などは、学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うよう、配列や内容の工夫や配慮がなされているか。	
東書	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、集気びんの中でろうそくを燃やし続けるために必要なことを考える学習活動などが『のぼそう！理科の力』に設定されている。また、各学年で問題解決の力を養うため、実験・観察から得られた結果を深めるための問題提起が『考察しよう』に掲載されている。
大日本	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、暑い日に行う打ち水や緑のカーテンによる効果が、水や植物のどのような性質を生かしているのかを考える学習活動が『Science World』に設定されている。また、巻頭に各単元の学習活動について、自分の考えを持っている実験・観察が『理科の学び方』に掲載されている。
学図	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、生物の体の中に含まれる水分やそのはたらきについて考える学習活動などが『もっと知りたい』に設定されている。また、巻頭に理科の「見方・考え方」を働かせた実験・観察が『科学の芽を育てよう』に掲載されている。
教出	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、地球温暖化の原因や影響、また、その対策について考える学習活動などが『しりょう』に設定されている。また、巻頭に実験・観察を通して確かな考えをつくり出す力を育み、見通しをもって学習する構成が『学習の進め方』に掲載されている。
信教	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、学んだことについて主体的に新たなテーマを設定する学習活動が『やってみよう自由研究』に設定されている。また、巻頭に実験・観察を通して、問題解決の力を育む学習の進め方が『理科の学習の進め方』に掲載されている。
啓林館	学年を通して育成を目指す問題解決の力を養うことについて、第6学年では、ものを燃やすための条件について考える学習活動などが『くらしとリンク』に設定されている。また、実験・観察を通して問題解決の力を育む学習活動の進め方が『理科の楽しみ方』に掲載されている。
② 「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するよう、観察、実験などに工夫や配慮がなされているか。	
東書	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、酸素の中と空気の中のもの燃やす方の違いを考える学習活動などが『上げよう！理科の発想』に設定されている。また、章のはじめにこれまでの経験から問題を想起し、実験・観察を通してその問題を解決していく学習活動が『レッツトライ』に設定されている。
大日本	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、葉に日光が当たると植物が成長することについて考える学習活動などが『ココに注目』に設定されている。また、章末に実験・観察を通して得られた結果をもとに、共通点や相違点について調べ、深めていく学習活動が『深めよう』に設定されている。
学図	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、空気のないところで植物でできているものを燃やし続けると炭になることについて考える学習活動などが『できるようになった』に設定されている。また、章末に実験・観察を通して得られた結果をもとに、さらに問題、予想、実験を行い問題解決の力を育む学習活動が『やってみよう』に設定されている。
教出	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、だ液を混ぜたものと混ぜていないもので起こる変化の違いについて考える学習活動などが『考え方のカギ』に設定されている。また、章末に実験・観察を通して得られた結果をもとに、さらに詳しく調べるための実験や観察を行う学習活動が『チャレンジ』に設定されている。
信教	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、葉に日光が当たるとでんぷんができることを確かめる方法を考える学習活動などが『方法を考えてみよう』に設定されている。また、これまでの実験・観察を通して得られた結果から関連させ、発展させる実験や観察を行う学習活動が『やってみよう自由研究』に設定されている。
啓林館	「理科の見方・考え方」を働かせて、自然の事物、現象の問題を科学的に解決することについて、第6学年では、太陽光パネルがどの家も同じ向きに取り付けられていることについて考える学習活動などが『「理科の見方・考え方」が役に立ったよ！』に設定されている。また、章末に実験・観察を通して得られた結果を発展させて、考え答えを導き出す学習活動が『活用しよう』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	補充や発展問題として、単元末に『ふりかえろう』『たしかめよう』が掲載されている。また、『1年間をふりかえろう』などが掲載されている。第3・6学年は11章、第4学年は12章、第5学年は10章で構成されている。
大日本	補充や発展問題として、単元末に『確かめよう』『学んだことを生かそう』などが掲載されている。巻末に『チャレンジ問題』などが掲載されている。第3・6学年は11章、第4・5学年は10章で構成されている。
学図	補充や学習の振り返りとして、単元末に『ふりかえろう』『できるようになった』などが記載されている。巻末に『理科の世界をふりかえろう』などが掲載されている。第3学年は12章、第4学年は11章、第5学年は9章、第6学年は10章で構成されている。
教出	補充や発展問題として、単元末に『問題』『確かめよう』などが掲載されている。また、巻末に『6年で学んだこと』などが掲載されている。第3・4学年は11章、第5・6学年は9章で構成されている。
信教	補充や発展問題として、単元末に『ふりかえろう』『やってみよう自由研究』などが掲載されている。第3学年は14章、第4学年は16章、第5学年は11章、第6学年は10章で構成されている。
啓林館	補充や発展問題として、単元末に『たしかめよう』『活用しよう』などが掲載されている。巻末に『理科につながる算数のまど』などが掲載されている。第3・4学年は11章、第5学年は9章、第6学年は10章で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。
大日本	判型はA4判が採用されている。
学図	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA4変形判が採用されている。
信教	判型はA B判が採用されている。
啓林館	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学図	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に使いやすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に使いやすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
信教	『この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディアユニバーサルデザイン協会の認定を申請中です。(後略)』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第3学年 P130 (横浜市) 『身のまわりの明かり』 第4学年 P15 (川崎市) 『春のおとずれ』 P55 (横浜市) 『雨水によるさい害をふせぐ』 P77 (横浜市) 『みなとみらい技術館』 第5学年 P86 (川崎市) 『わたしたちのくらしと災害』 第6学年 P59 (逗子市) 『植物があるくらし』 P94 (小田原市) P109 (三浦市) 『現在の馬の背洞門のようす』
大日本	第3学年 P55 (秦野市) 『じょうぶなやさいを育てるために』 P86-87 (横浜市) 『植物の育ち方』 P91 (藤沢市) 『湘南台文化センターこども館』 第4学年 P4-5 (茅ヶ崎市) 『季節と生物』 P65 (横浜市) 『はまぎんこども宇宙科学館』 P92 (秦野市) 『水無川』 第5学年 P9 (相模原市) 『いろいろな雲を調べてみよう!』 P62 (横須賀市) 『夕方のにじは、晴れ』 P96 (横浜市) 『鶴見川多目的遊水地』 第6学年 P127 (横須賀市) P129 (小田原市) 『丸みをもつたれきがふくまれるしま模様』 P137 (小田原市) 『神奈川県立生命の星・地球博物館』
学図	第3学年 P69 (小田原市) 『神奈川県立生命の星・地球博物館』 第4学年 P23 (横浜市) 『百葉箱』 第5学年 P52 (横浜市) 『野生のメダカを守る』 P61 (相模原市) 『大雨による土しゃくずれ』 第6学年 P27 (横浜市) 『横浜市消防局』 P80 (横浜市) 『海の中の森を取りもどす』 P83 (横浜市) 『横浜市消防局横浜市市民防災センター』
教出	第3学年 P106 (横浜市) 『光のまと当て』 P192 (箱根町) 『養老孟子』 第4学年 P55 (川崎市) 『燃料電池で走る未来の車』 第5学年 P9 (藤沢市) 『天気の変化』 P106 (平塚市) 『地理院地図で調べた相模川の下流の様子』 P107 (川崎市) 『多摩川』 第6学年 P113 (小田原市) 『れき、砂、どろでできた地層』 P128 (三浦市) 『関東地震』 P129 (三浦市) 『断層が見られる土地』
信教	なし
啓林館	第3学年 P51 (相模原市) 『たこ』 第4学年 P128 (三浦市) 『城ヶ島』 第5学年 P67 (相模原市) 『大雨によるがけくずれ』 P117 (横浜市) 『川ぞいにある遊水地』 P161 (川崎市) 『カワスイ川崎水族館』 第6学年 P85 (横浜市) 『よこはま動物園ズーラシア』 P142 (藤沢市) 『地震による大地の変化』 P176 (藤沢市) 『いろいろなところで光電池を利用して発電している町』

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)

発行者名	総冊数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
東書	4			394	438	374	440
大日本	4			474	525	454	531
学図	4			426	473	445	533
教出	4			416	496	448	479
信教	4			391	455	375	446
啓林館	4			396	401	383	430

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	東書	書名	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、自分たちで作ったおもちゃで遊んでみて思ったことを友達と話す活動が『もっとよくごくおもちゃにしよう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、水をどうしたら遠くに飛ばせるかを考える活動が『みずであそぼう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、友達と一緒にできるようになったことを振り返って絵本などにまとめる活動が『自分のことをまとめよう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、児童がうさぎなど動物の世話の中で動物の温かさを感じる活動が『どうぶつのせわをしよう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、図書館を色々な人が利用できるようにするための工夫を見つける活動が『図書館のことを聞いてみよう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、和菓子屋など地域で働く方に仕事のやりがいをインタビューする活動が『まちの人に聞きに行こう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、友達と対話をしながらアサガオの種を数え、取った種をどうするかを考える活動が『たねをとろう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『あきのおもちゃをつくらう』に設定されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、観察カードに記入する際の視点や必要な事柄、自分の気持ちを書く、話す活動が『はなのようすをつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、地域の方と一緒にかるたやお手玉などで遊ぶ活動が『むかしからつたわるあそびをたのしもう』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、紙コップやストローなどの身近な材料を使っておもちゃを作る活動が『いろいろなおもちゃであそんでみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『がっこうのいちにち』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、和菓子屋の商品をICT機器で撮影してデジタルアルバムにする活動が『まとめようつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際に気を付けることが『ともだちとがっこうをたんけんしよう』に掲載されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『まちのしせつ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、自分ができるようになったことを身近な人にインタビューする活動が『自分のことをまとめよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、自分が住んでいる町について調べ、友達と共有する活動が『まちのすてきを話し合おう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、植物の成長過程や野菜への思いを記録する活動が『ぐんぐんそだてわたしの野さい』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『がっこうだいすき』など9単元、下巻には身近な地域に関する『どきどきわくわくまちたんけん』など9単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	大日本	書名	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき 新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、ことごと車などのおもちゃを作って、面白さを友達と共有する活動が『くふうしたら楽しいよ』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、しゃぼん玉を大きくするための工夫を考える活動が『なつはおもしろいことがいっぱい』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、育てた野菜を使って家族のために料理を作る活動が『みんなで食べるとおいしいね』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、虫が自分と同じように生き物を食べて生きていることを観察する活動が『生きているってすごい』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、歩道を歩く、車に気をつけるなどの交通マナーを守って町探検を行う活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、郵便局で働く方などに仕事のやりがいをインタビューする活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、おもちゃ作りで友達の工夫を聞いて、おもちゃを改良する活動が『くふうしたら楽しいよ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連して、先生や友達に感謝の気持ちを手紙で伝える活動が『ありがとうをとどけよう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、生活科で学んだことをパンフレットにまとめる活動や画像を使って発表する活動が『ようこそ自分のはっぴょう会へ』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の祭りや外国の祭り、盆踊りの様子を絵日記に描く活動が『夏休みにやりたいことはね』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、見る、聞く、触るなどの諸感覚を働かせて観察する活動が『まなびかためいじんかんさつめいじん』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『できるよやってみよう』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、タブレット端末を活用して写真に撮った虫を観察し、友達と交流する活動が『なかよくなったらわかったよ』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習の振り返りを表すマークが『たのしいよ1ねんせい』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『インタビューのやり方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、幼児期からの自分の成長をまとめる活動が『小さかったころの自分に会いに行こう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、町探検で出会った人を通して自分のよさを見つめる活動が『わたしもキラリさんになれるかな』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、秋の自然物を使った遊びや幼児と交流する活動が『ようこそあきのテーマパークへ』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『みんななかよし』など4単元、下巻には身近な地域に関する『わたしの町はっけん』など6単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫するなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	学図	書名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、ばたばたカーなどのおもちゃの遊び方を友達に紹介する活動が『作ったおもちゃであそぼう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、風を受けて走るおもちゃの車がどうすればはやく走るかを考える活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、幼児期から2年生までの自分の成長をまとめ、確かめる活動が『わかったことをまとめよう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、責任を持って生き物を飼い続けることの大切さを考える活動が『かいつづけることができるかな』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、登下校の際に安全に通学路を歩くことや危険な場所に気を付ける活動が『あんぜんないきかえり』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、パン屋で働く方や消防士に仕事のやりがいインタビューする活動が『まちの人の話を聞こう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、日当たりなどによってアサガオの種を植えたプランターをどこに置くか自分で考える活動が『たねをうえよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、1年生を振り返り、1年間で学んだことを作文にまとめる活動が『1年生をふりかえろう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、発表会で説明する際に、作文や絵を使うなど伝える工夫を考える活動が『わたしのこと、しらべてきたよ』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、こま回しやあやとり、けん玉などを地域の方に教えてもらう活動が『もっとあそびたいな』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、友達と野原へ行き、野草で草花遊びやタンポポの綿毛を吹いて遊ぶ活動が『みつけたはるであそぼう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、イラストや写真を見て、学校でやってみようことを考える活動が『どんなことをするのか』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、タブレット端末やデジタルカメラの使い方を知り、利用する活動が『せいかつか まなびかたずかん』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際のルールやマナーが書かれたイラストが『もっとくわしくしろ』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『道ぐのつかい方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、友達とよいところを伝え合う活動が『みんなのいいところを見つけよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、お店で働く方々の工夫を知り、わかったことを発表する活動が『しらべたことをつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、友達と関わりながら秋の自然物を使っておもちゃを作る活動が『見つけたあきであそぼう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『がっこうたんけん』など7単元、下巻には身近な地域に関する『まちたんけん』など5単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	教出	書名	せいかつ 上 みんな なかよし せいかつ 下 なかよし ひろがれ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、作ったおもちゃの特徴を学習カードにまとめる活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、和菓子屋で働く方の笑顔の秘密を見つける方法を考える活動が『もっと知りたいことを話そう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学校探検で学んだ気づきを家族に伝える活動が『もっともっとしりたいな』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、生き物を飼う際に生き物の気持ちになって接する活動が『生きものをさがそう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、道路の歩き方、横断歩道でのマナーを守って町探検を行う活動が『たんけんの計画を立てよう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、靴屋や図書館で働く方のやりがいをインタビューする活動が『えがおのひみつをさがろう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、自分が育てているアサガオの成長を絵や日記などで表す活動が『なにをかんじたかな』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、特別活動と関連して、災害時の約束などの安全について考える活動が『学びのポケット』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語活動の育成について、植物観察をする際のポイントになる触る、比べる、結びつけるなどの活動が『まいにちみよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、正月に行う凧揚げやかかるた、こま回しなどの伝承遊びを行う活動が『ふゆ休みをげん気にすごそう』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、聞く、嗅ぐ、触るなどの諸感覚を働かせて春を感じる方法や、野草での草花遊びの活動が『はるをみつけにいこう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『はじめのいっぽ』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分が植えた植物の成長記録を画像で残す活動が『なえをうえよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、植物を育てることや観察するためのヒントが『たねをまこう』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『まちの自まん』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気づき」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、以前と今の自分を比べて成長をまとめる活動が『まわりの人に聞いてみよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、町探検で地域で働く方にインタビューして体験を伝え合う活動が『体けんをつたえ合おう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、ドングリや落ち葉など秋の自然物でおもちゃを作る活動が『見つけたあきでつくろう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『わくわくどきどきしょうがっこう』など9単元、下巻には身近な地域に関する『まちが大すきたんけんたい』など7単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	信教	書名	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、友達と一緒に牛乳パックやペットボトルを重ねて水に浮かせる活動が『どんなふねにしようかな』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地域の方に聞いた民話を調べ、紙芝居で発表する活動が『ちいきのかたりべ』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、地域の方にお世話になり、豆腐が作れたことの感謝を伝える活動が『おもいでいっぱい生活科』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、ヤギの出産の様子や子育てを見守る活動が『いきものといっしょ③』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、バスや電車に乗った時にマナーを守って町探検を行う活動が『でんしゃののって』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、ケーキ屋で働く方にケーキの作り方をインタビューしている活動が『おみせやさん』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、牛乳パックを使い、友達と協力して子どもが乗れるほどの船を作る活動が『どんなふねにしようかな』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連して、一緒に過ごし世話をしてきたヤギの歌を作る活動が『いきものといっしょ④』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、春探しで児童が見つけた植物や生き物について友達と伝え合う活動が『はるのおくりもの』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、凧揚げや羽根つきなどの正月に行う伝承遊びが『たのしいおしょうがつ』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、これから育てるアサガオの鉢選びや土づくりを友達と協力して行う活動が『めをだしてね』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、イラストや写真を見て、学校でやってみようことを考える活動が『はじめましてせいかつか』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、1年生の思い出を振り返り、本やかかるた、まきものにまとめる活動が『もうすぐ二ねんせい』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、イラストや写真で学習の見通しを示し、活動中の安全への配慮が『あぶない!』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『あおぞら・そよかぜずかん』などに示され、画像などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、幼児期の洋服やおもちゃを友達と見せ合う活動が『小さいころのわたし』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、四季を通して、くり返し地域を訪れる活動が『いつものばしょへ』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、2年間、赤ちゃんからヤギを育て、関わりながら世話をする活動が『いきものといっしょ』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『うれしいないちねんせい』など17単元、下巻には身近な地域に関する『わたしがすむ町』など13単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	光村	書名	せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、友達と動きを確かめながら、おもちゃを作る活動が『じまんのおもちゃにしよう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、町探検で調べたことを新聞やポスターなどでまとめる活動が『しらべたことをまとめよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活科の学習を振り返り、支えてくれた人を思い出す活動が『こんなにせいちょうしたんだね』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、ダンゴムシの赤ちゃんが生まれたことを発見する活動が『生きものをくわしく見てみよう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、町を探検する時のルールやマナーを考える活動が『春のまちたんけんさくせんかいぎ』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、和菓子屋で働く方が行っている工夫をインタビューする活動が『まちの人の話を聞きに行こう』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、植物の世話をする中で、友達と対話をしながら困ったことを解決しようとする活動が『せわをつづけよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『おちばや木のみでつくろう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、アサガオの成長の様子を記録する際のポイントを知り、学習カードを書く活動が『せわをしよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、札幌の雪まつりなど地域ごとに季節の行事があることを知り、自分の地域の行事を調べる活動が『冬の生活』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、はじく、ころがす、つむなどの遊び方をもとにおもちゃを作っていく活動が『あつめたものであそんでみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、絵を見て話し合い、学校でやってみたいことを考える活動が『わたしできるよ』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、家族の様子を写真に撮り、友達と家族の仕事について交流する活動が『いえの人のようすを見てみよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学んだことを振り返り、確かめる活動が『こんなことはあつたかな』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『あんぜん』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、2年生までにできるようになったことをまとめる活動が『こんなにせいちょうしたんだね』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、町探検をして、町のよいところを伝える活動が『まちのすてきをつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、前回の町探検の経験をもとに計画を立てる活動が『もつともつとまちたんけん』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『なかよしいっぱいがっこうたんけん』など9単元、下巻には身近な地域に関する『まちをたんけん大はっけん』など9単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン』『見出しや本文等には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

教科種目名《生活(生活)》

※詳細については、資料Ⅱ(生活-8～生活-16)を参照

発行者の略称	啓林館	書名	わくわく せいかつ 上 いきいき せいかつ 下
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、友達と話し合いながら身近にある材料でおもちゃを作る活動が『自分でおもちゃを作ってみよう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、水遊びをする際に、遠くに水を飛ばすための工夫を考える活動が『なつのあそびをたのしもう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年生に本を読んであげたことなどを振り返り、まきものにまとめる活動が『自分のせい長をまとめよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、生き物を元いた場所に返すことがよいかを考える活動が『はっ見したことをつたえ合おう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「公共心」について、町探検をする際のルールやマナーを考える活動が『こんなときどうしよう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、駅員に仕事で大切にしていることをインタビューする活動が『町の人に聞いてみよう』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学校探検で友達と調べたことを共有して、さらに知りたいことをまとめる活動が『がっこうをたんけんしよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、パタパタカーの作り方の説明文を書く活動が『あそび方やルールをくふうしよう』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、虫の成長やおもちゃ作りなど伝える内容や伝える相手に合わせた伝え方を知る活動が『まとめようつたえよう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、おはじきなどの伝承遊びを地域の方に教えてもらい、一緒に遊ぶ活動が『むかしからのあそびをたのしもう』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、見る、聞く、嗅ぐなどの諸感覚を働かせて校庭で秋探しを行う活動が『あきの校庭いに出てみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『がっこうだいすきいちねんせい』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、植物の成長の様子を写真に撮り、成長過程を時系列に並べ、以前の様子と比較する活動が『せわをしよう』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際に人と接する時のマナーが『がっこうのひとはなしてみよう』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『めがでるようす』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、お世話になった方に自分のことをインタビューする活動が『自分についてしらべよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、町探検をして、町のよいところを発表する活動が『すてきをつたえるじゅんぴをしよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、自分が育てる植物を自分で選ぶ活動が『どんなはなをそだてたいかな』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 上巻には学校生活に関する『いくぞ！ がっこうたんけんたい』など9単元、下巻には身近な地域に関する『町のすてきつたえたい』など9単元で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《生活(生活)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、自分たちで作ったおもちゃで遊んでみて思ったことを友達と話す活動が『もっとよくうごくおもちゃにしよう』に設定され、春に行われる行事や生き物を見つける活動が『春の暮らし』に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、ことごと車やゴムロケットなどのおもちゃを作って、面白さを友達と共有する活動が『くふうしたら楽しいよ』に設定され、秋の虫を採集する活動が『むしとなかよくなろう』に設定されている。
学図	「知識・技能」の習得について、ばたばたカーやゴムロケットなどのおもちゃの遊び方を友達に紹介する活動が『作ったおもちゃであそぼう』に設定され、虫の特徴を観察する活動が『虫となかよくなろう』に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、関わり方により対象が変容していくことを観察する活動が『そだてたからわかったよ』に設定され、作ったおもちゃの特徴を学習カードにまとめる活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。
信教	「知識・技能」の習得について、飼っているヤギが妊娠していることに気づき、地域の方に尋ねる活動が『いきものといっしょ②』に設定され、友達と一緒に牛乳パックやペットボトルを重ねて水に浮かせる活動が『どんなふねにしようかな』に設定されている。
光村	「知識・技能」の習得について、友達と動きを確かめながら、おもちゃ作りで紙コップをより高く飛ばすために工夫する活動が『じまんのおもちゃにしよう』に設定され、日常生活に必要な習慣や技能を知る活動が『ひろがる せいかつてん』に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、友達と話し合いながら身近にある材料でおもちゃを作る活動が『自分でおもちゃを作ってみよう』に設定され、観察や記録の仕方などを知る活動が『がくしゅうずかん』に設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、水をどうしたら遠くに飛ばせるかを考える活動が『みずであそぼう』に設定され、学校や地域のことを発表して友だちと交流する活動が『みつけたことをつたえよう』に設定されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、しゃぼん玉を大きくするための工夫を考える活動が『なつはおもしろいことがいっぱい』に設定され、地域で働く方の工夫を考える活動が『町のキラリをひろげたい』に設定されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、雨の日の遊びの工夫を考える活動が『あめとあそぼう』に設定され、風を受けて走るおもちゃの車がどうすればはやく走るかを考える活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、和菓子屋で働く方の笑顔の秘密を見つける方法を考える活動が『もっと知りたいことを話そう』に設定され、春と夏の季節の遊びをまとめる活動が『たつぷりあそんできついたよ』に設定されている。
信教	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地域の商店で働く方に取材したことを発表する活動が『おみせやさん』に設定され、地域の方に聞いた民話を調べ、紙芝居で発表する活動が『ちいきのかたりべ』に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学校探検で発見したことを絵で発表する活動が『みつけたよ、わかったよ』に設定され、町探検で調べたことを新聞やポスターなどでまとめる活動が『しらべたことをまとめよう』に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学びのキーワードをもとに試行錯誤する活動が『あきのおもちゃをつくってあそぼう』に設定され、水遊びをする際に、遠くに水を飛ばすための工夫を考える活動が『なつのあそびをたのしもう』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、友達と一緒にできるようになったことを振り返って絵本などにまとめる活動が『自分のことをまとめよう』に設定され、生き物の世話の仕方を振り返る活動が『生きものをそだてよう』に設定されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、育てた野菜を使って家族のために料理を作る活動が『みんなで食べるとおいしいね』に設定され、アサガオの芽に名前をつける活動が『はじめまして□さん』に設定されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、幼児期から2年生までの自分を比べて成長をまとめる活動が『わかったことをまとめよう』で設定され、町にある工夫を見つける活動が『もっと見つけたいな』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学校探検で学んだ気づきを家族に伝える活動が『もっともっとしりたいな』に設定され、野菜を育てることで農家の方の気持ちを知る活動が『またそだてたいな』に設定されている。
信教	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、花の数の変化や様子から開花への期待を膨らませる活動が『わたしのあさがお』に設定され、地域の方にお世話になり、豆腐が作れたことの感謝を伝える活動が『おもいでいっぱい生活科』に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、植物の変化や育ち方の違いから開花への期待を膨らませる活動が『せわをしよう』に設定され、生活科の学習を振り返り、支えてくれた人を思い出す活動が『こんなにせいちょうしたんだね』に設定されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年生に本を読んであげたことなどを振り返り、まきものにまとめる活動が『自分のせい長をまとめよう』に設定され、1年生と一緒に遊ぶ計画を立て、実行する活動が『みんなであそぼう』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、児童がうさぎを抱き、うさぎの世話の中から温かさを感じる活動が『どうぶつのせわをしよう』に設定され、生き物の成長の様子をまとめる活動が『生きもののことをふりかえろう』に掲載されている。
大日本	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、生き物を扱う際の注意点や世話の仕方が『いきものとなかよくなるよう』に設定され、虫が自分と同じように生き物を食べて生きていることを観察する活動が『生きているってすごい』に設定されている。
学図	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、責任を持って生き物を飼いつづけることの大切さを考える活動が『かいつづけることができるかな』に設定され、ダンゴムシの脱皮や生命誕生を観察する活動が『生きもののふしぎを見つけよう』に設定されている。
教出	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、トンボの脱皮ややごを観察する活動が『いきものをかってみよう』に設定され、生き物を飼う際に生き物の気持ちになって接する活動が『生きものをさがそう』に設定されている。
信教	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、ヤギの出産の様子や子育てを見守る活動が『いきものといっしょ③』に設定され、ウサギなどの生き物を飼う際に生き物が住みやすい小屋を作る活動が『よるこんでくれるかな』に設定されている。
光村	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、ダンゴムシの赤ちゃんが生まれたことを発見する活動が『生きものをくわしく見てみよう』に設定され、生き物の世話の仕方を知る活動が『生きもののせわをしよう』に設定されている。
啓林館	[思いやる力] の「いのちの大切さ」について、動物の飼育方を知る活動が『生きものとなかよくなるよう』に設定され、生き物を元いた場所に返すことがよいかを考える活動が『はっ見たことをつたえ合おう』に設定されている。
⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力] の「公共心」について、通学路を歩く際のルールや公共施設にある設備の工夫を知る活動が『つうがくろのあんぜん』に設定され、図書館を色々な人が利用できるようにするための工夫を見つける活動が『図書かんのことを聞いてみよう』に設定されている。
大日本	[たくましく生きる力] の「公共心」について、歩道を歩く、車に気をつけるなどの交通マナーを守って町探検を行う活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定され、インタビューをする際のマナーを守って学校探検を行う活動が『みんなやさしいね』に設定されている。
学図	[たくましく生きる力] の「公共心」について、登下校の際に安全に通学路を歩くことや危険な場所に気を付ける活動が『あんぜんないきかえり』に設定され、まちの図書館と学校の図書室を比べる活動が『まちの図書かんに行こう』に設定されている。
教出	[たくましく生きる力] の「公共心」について、道路の歩き方、横断歩道でのマナーを守って町探検を行う活動が『たんけんの計画を立てよう』に設定され、図書館を使う人が楽しむための工夫を考える活動が『みんなで図書かんに行こう』に設定されている。
信教	[たくましく生きる力] の「公共心」について、登下校中に気を付けることや危険な場所を知る活動が『きをつけてかえるよ』に設定され、バスや電車に乗った時にマナーを守って町探検を行う活動が『でんしゃにのって』に設定されている。
光村	[たくましく生きる力] の「公共心」について、文字を大きくする機械や本を直す人がいるなどの工夫を知る活動が『図書かんの人と話をしよう』に設定され、町を探検する時のルールやマナーを考える活動が『春のまちたんけんさくせんかいぎ』に設定されている。
啓林館	[たくましく生きる力] の「公共心」について、利用する人が使いやすくなるための図書館や駅の工夫を知る活動が『みんなでつかう町のしせつに行こう』に設定され、町探検をする際のルールやマナーを考える活動が『こんなときどうしよう』に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、和菓子屋など地域で働く方に仕事のやりがいをインタビューする活動が『まちの人に聞きに行こう』に設定され、地域ボランティアの方に感謝を伝える活動が『みんなでつうがくろをあるこう』に設定されている。
大日本	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、郵便局で働く方などに仕事のやりがいをインタビューする活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定され、家族と野菜の収穫を喜び、料理をする活動が『みんなで食べるとおいしいね』に設定されている。
学図	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、パン屋で働く方や消防士に仕事のやりがいをインタビューする活動が『まちの人の話を聞こう』に設定され、農家の方への感謝の気持ちを新聞にまとめる活動が『野さいさんありがとう』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、自分が育てた野菜の収穫の喜びや農家の方へ感謝する活動が『たくさんみのったよ』に設定され、靴屋や図書館で働く方のやりがいをインタビューする活動が『えがおのひみつをさがろう』に設定されている。
信教	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、豆の収穫の喜びや店の人に相談して豆腐を作る活動が『しゅうかくいわい』に設定され、ケーキ屋で働く方にケーキの作り方をインタビューしている活動が『おみせやさん』に設定されている。
光村	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、和菓子屋で働く方が行っている工夫をインタビューする活動が『まちの人の話を聞きに行こう』に設定され、登下校を見守る方々にインタビューする活動が『つうがくろをたんけんしよう』に設定されている。
啓林館	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、駅員に仕事で大切にしていることをインタビューする活動が『町の人に聞いてみよう』に設定され、通学路で児童を見守っている人達がいることを知る活動が『がっこうのまわりをあるいてみよう』に設定されている。

3 内容と構成

○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、友達と対話をしながらアサガオの種を数え、取った種をどうするかを考える活動が『たねをとろう』に設定され、対話の中から自分が育てた野菜と他の野菜を比べる活動が『学びをふかめる』に設定されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、やりたいことを書く活動や問題を話し合う活動が『はなややさいおおきくなってね』に設定され、おもちゃ作りで友達の工夫を聞いて、おもちゃを改良する活動が『くふうしたら楽しいよ』に設定されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、日当たりなどによってアサガオの種を植えたプランターをどこに置くか自分で考える活動が『たねをうえよう』に設定され、友達のいいところを伝え合う活動が『みんなのいいところを見つけよう』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、調べ、教えることや思い出を伝える活動が『まいにちみよう』に設定され、自分が育てているアサガオの成長を絵や日記などで表す活動が『なにをかんじたかな』に設定されている。
信教	主体的・対話的で深い学びについて、友達との対話の中で気付きを広げる活動が『おおきくなってきたね』に設定され、牛乳パックを使い、友達と協力して子どもが乗れるほどの船を作る活動が『どんなふねにしようかな』に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、自分で選ぶ活動や対話の中で気付きを広げる活動が『さいてほしいなわたしのはな』に設定され、植物の世話をする中で、友達と対話をしながら困ったことを解決しようとする活動が『せわをつづけよう』に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、自分で選ぶ活動や問題に向き合う活動が『わたしのはなをそだてよう』に設定され、学校探検で友達と調べたことを共有して、さらに知りたいことを生み出す活動が『がっこうをたんけんしよう』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、算数科と関連して、アサガオの種を数える活動が『たねをとろう』に設定され、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『あきのおもちゃをつくろう』に設定されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、これから取り組みたいことを書く活動が『みらいにむかってしゅっぱつ』に設定され、道徳科と関連して、先生や友達に感謝の気持ちを手紙で伝える活動が『ありがとうをとどけよう』に設定されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『見つけたあきであそぼう』に設定され、国語科と関連して、1年生を振り返り、1年間で学んだことを作文や手紙などにまとめる活動が『1年生をふりかえろう』に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、特別活動と関連して、災害時の約束などの安全について考える活動が『学びのポケット』に設定され、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉でおもちゃを作る活動が『見つけたあきでつくろう』に設定されている。
信教	カリキュラム・マネジメントについて、図画工作科と関連して、ドングリでこまなどのおもちゃを作る活動が『あきとあそぼう』に設定され、音楽科と関連して、一緒に過ごし世話をしてきたヤギの歌を作る活動が『いきものといっしょ④』に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、町探検で学んだことをどのように伝えるかを考える活動が『つたえたいことをもっとしらべよう』に設定され、図画工作科と関連して、ドングリや落ち葉を使っておもちゃを作る活動が『おちばや木のみでつくろう』に設定されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、バタパタカーの作り方の説明文を書く活動が『あそび方やルールをくふうしよう』に設定され、算数科と関連して、育てた植物の種の数を数える活動が『たねをとろう』に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、観察カードに記入する際の視点や必要な事柄、自分の気持ちを書く、話す活動が『はなのようすをつたえよう』に設定され、必要な事柄を選び、わかりやすく表現する活動が『見つけたことをつたえよう』に設定されている。
大日本	言語能力の育成について、生活科で学んだことをパンフレットにまとめる活動や画像を使って発表する活動が『ようこそ自分のはつびょう会へ』に設定され、生活科の学習に関係する言語を使う活動が『せいかつことば』に設定されている。
学図	言語能力の育成について、発表会で説明する際に、作文や絵を使うなど伝える工夫を考える活動が『わたしのこと、しらべてきたよ』に設定され、見つけたことや調べたことを、手紙などに記録する活動が『学び方図かん書く』に設定されている。
教出	言語活動の育成について、自分の成長の記録をまとめ、友達と交流する活動が『何をかんだかな』に設定され、植物観察をする際のポイントになる触る、比べる、結びつけるなどの活動が『まいにちみよう』に設定されている。
信教	言語能力の育成について、自分の成長を文章で伝える活動が『ありがとう』に設定され、春探しで児童が見つけたツクシなどの植物やかえるなどの生き物について友達と伝え合う活動が『はるのおくりもの』に設定されている。
光村	言語能力の育成について、観察を記録する際のポイントや視点と言葉を知る活動が『ひろがるせいかつじてん』に設定され、アサガオの成長の様子を記録する際のポイントを知り、学習カードを書く活動が『せわをしよう』に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、虫の成長やおもちゃ作りなど伝える内容や伝える相手に合わせた伝え方を知る活動が『まとめようつたえよう』に設定され、植物の日記カードの視点と言葉を知り、活用する活動が『せわをしよう』に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、地域の方と一緒にかるたやお手玉などの遊びをする活動が『むかしからつたわるあそびをたのしもう』に設定され、地域の和菓子屋へ訪問するなどの活動が『まちのことを話そう』に設定されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の祭りや外国の祭り、盆踊りの様子を絵日記に描く活動が『夏休みにやりたいことはね』に設定され、世界のじゃんけんを行う活動が『@せかいのなにかま』に設定されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、こま回しやあやとり、けん玉などを地域の方に教えてもらう活動が『もっとあそびたいな』に設定され、伝統的な行事や地域の野菜を知る活動が『まちのきせつ春 かく地のようす』に設定されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の伝統的な祭りを知る活動が『なつやすみをげんきにすごそう』に設定され、正月に行う凧揚げやかると、こま回しなどの伝承遊びを行う活動が『ふゆ休みをげんきにすごそう』に設定されている。
信教	伝統や文化に関する教育の充実について、凧揚げや羽根つきなどの正月に行う伝承遊びが『たのしいおしょうがつ』に設定され、地域の行事を知る活動が『みつけてみよう』に設定されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の夏に行われる伝統的な祭りを知る活動が『いつてみたいなの、やってみたいなの』に設定され、札幌の雪まつりなど地域ごとに季節の行事があることを知り、自分の地域の行事を調べる活動が『冬の生活』に設定されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、けん玉やおはじきなどの伝承遊びを地域の方に教えてもらい、一緒に遊ぶ活動が『むかしからのあそびをたのしもう』に設定され、季節の行事や各地の伝統行事があることを知る活動が『春のまつり』に設定されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験学習の充実について、校庭で虫探しをする活動が『むしをさがそう』に設定され、紙コップやストローなどの身近な材料で作られたおもちゃを作る活動が『いろいろなおもちゃであそんでみよう』に設定されている。
大日本	体験学習の充実について、見る、聞く、触るなどの諸感覚を働かせて観察する活動が『まなびかためいじんかんさつめいじん』に設定され、地域の方と関わりあいながら町探検をする活動が『しゅっぱつ！町のキラリたんけんたい』に設定されている。
学図	体験学習の充実について、友達と野原へ行き、野草で草花遊びやタンポポの綿毛を吹いて遊ぶ活動が『みつけたはるであそぼう』に設定され、自分で作ったおもちゃを改良する活動が『うごくおもちゃを作ろう』に設定されている。
教出	体験学習の充実について、聞く、嗅ぐ、触るなどの諸感覚を働かせて春を感じる方法や、野草での草花遊びの活動が『はるをみつけにいこう』に設定され、地域の人と繰り返し関わる活動が『えがおのひみつをさがろう』に設定されている。
信教	体験学習の充実について、これから育てるアサガオの鉢選びや土づくりを友達と協力して行う活動が『めをだしてね』に設定され、他の単元との関連も図りながら進める活動が『だいでをそだてたいな』に設定されている。
光村	体験学習の充実について、身近な場所にいる生きものを見つける活動が『いきものを見つけよう』に設定され、はじく、ころがす、つむなどの遊び方をもとおもちゃを作っていく活動が『あつめたものであそんでみよう』に設定されている。
啓林館	体験学習の充実について、見る、聞く、嗅ぐなどの諸感覚を働かせて校庭で秋探しを行う活動が『あきの校庭に出てみよう』に設定され、野菜の様子を観察する活動が『せわをしよう』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『がっこうのいちにち』に設定され、学校を探検する活動が『はじめましてがっこう』に設定されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『できるよやってみよう』に設定され、幼児と交流する活動が『だいすきな学校にようこそ』に設定されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、イラストや写真を見て、学校でやってみたいことを考える活動が『どんなことをするのか』に設定され、幼稚園や保育園の先生と交流する活動が『だれにきこうかな』に設定されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『はじめのいっぽ』に設定され、幼児と交流する活動が『あたらしい1年生をむかえよう』に設定されている。
信教	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、イラストや写真を見て、学校でやってみたいことを考える活動が『はじめましてせいかつか』に設定され、高学年の児童と一緒に登校するなどの活動が『うれしいないちねんせい』に設定されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、絵を見て話し合い、学校でやってみたいことを考える活動が『わたしできるよ』に設定され、幼児と交流する活動が『ようこそ、わたしたちの学校へ』に設定されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、スタートカリキュラムとして、入学前を振り返り、学校でやってみたいことを考える活動が『がっこうだいすきいちねんせい』に設定され、幼児と交流する活動が『あたらしい1年生をしょうたいしよう』に設定されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、和菓子屋の商品をICT機器で撮影してデジタルアルバムにする活動が『まとめようつたえよう』に設定され、タブレットを活用して野菜の成長の写真を友達と見せ合う活動が『野さいのようすをつたえ合おう』に設定されている。
大日本	情報活用能力の育成について、タブレット端末を活用して写真に撮った虫を観察し、友達と交流する活動が『なかよくなったらわかったよ』に設定され、インタビューの場でタブレット端末を活用する活動が『わたしの町のはっけん』に設定されている。
学図	情報活用能力の育成について、タブレット端末やデジタルカメラの使い方を知り、利用する活動が『せいかつか まなびかたずかん』に設定され、町探検のインタビューで写真や動画を撮る活動が『まちたんけんに行こう』に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、ICT機器を使用する際の注意事項、ルールやマナーを知る活動が『コンピュータをつかうとき』に設定され、自分が植えた植物の成長記録を画像で残す活動が『なえをうえよう』に設定されている。
信教	情報活用能力の育成について、1年生の思い出を振り返り、本やかるた、まきものにまとめる活動が『もうすぐ二ねんせい』に設定され、町探検で見つけたことを写真を使って発表する活動が『おみせやさん』に設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、ICT機器をインタビューで使うときの注意点を知る活動が『じょうほうききをつかおう』に設定され、家族の様子を写真に撮り、友達と家族の仕事について交流する活動が『いえの人のようすを見てみよう』に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、植物の成長の様子を写真に撮り、成長過程を時系列に並べ、以前の様子と比較する活動が『せわをしよう』に設定され、タブレット端末の使い方や使用する際のマナーを知る活動が『タブレットを使おう』に設定されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際に気を付けることが『ともだちとがっこうをたんけんしよう』に掲載され、児童の実態に合わせた表現方法の例示が『見つけたことを話し合おう』に掲載されている。
大日本	児童の学習上の困難さへの対応について、学習の振り返りを表すマークが『たのしいよ1ねんせい』に掲載され、文章の書き出しと終わりが書かれたワークシート例が『わくわくどきどき夏休み』に掲載されている。
学図	児童の学習上の困難さへの対応について、見開きで単元内の活動が見渡せる構成になっており、学校探検の際のルールやマナーが書かれたイラストが『ものしりのうと』の『もっとくわしくしよう』に掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、植物を育てることや観察するためのヒントが『たねをまこう』に掲載され、おもちゃ作りで気を付けることや失敗の例が『うごくおもちゃを作ろう』に掲載されている。
信教	児童の学習上の困難さへの対応について、イラストや写真で学習の見通しを示し、活動中の安全への配慮が『あぶない!』に掲載され、収穫した大豆が加工された食品の例である、みそやきなこが『何がつくれそうかな』に掲載されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、学んだことを振り返り、確かめる活動が『こんなことはあったかな』に掲載され、単元の始まりに見開きの野菜の写真が『おいしいやさいをそだてたい』に掲載されている。
啓林館	児童の学習上の困難さへの対応について、学校探検の際に人と接する時のマナーが『がっこうのひととはなしてみよう』に掲載され、ソーシャルスキルトレーニングが『気持ちをつたえよう』に掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『みんなでつかうしせつのことを話し合おう』の『まちのしせつ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、植物の特徴が『たねをとろう』の『しょくぶつずかん』に掲載されている。
大日本	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『キラリ町たんけんの計画を立てよう』の『インタビューのやり方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、山や水辺にいる虫が『むしとなかよくなるう』の『がくしゅうどうぐばこ』に掲載されている。
学図	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『学び方図かん』の『道ぐのつかい方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、植物の種、芽、花などの写真が『たねをうえよう』の『いろいろななはな』に掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『わたしのまちの自まん』の『まちの自まん』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、季節の植物や虫が『生きもののわくわくクイズ』の『デジタルずかん』に掲載されている。
信教	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『あおぞら・そよかぜずかん』の『わたしのあさがお』などに示され、画像などにつながる二次元コードが掲載されている。また、夏に見られる虫が『あおぞら・そよかぜずかん』の『かがやく夏』に掲載されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『つうがくろをたんけんしよう』の『あんぜん』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、はさみやきりの使い方が『うごくおもちゃにちょうせんだ』の『どうぐ』に掲載されている。
啓林館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『おおきなあれ』の『めがでるようす』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、おもちゃの作り方が『自分でおもちゃを作ってみよう』の『おもちゃの作り方いちらん』に掲載されている。
⑯ 知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成する題材として、工夫や配慮がなされているか。	
東書	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、交通マナーなどを知る活動が『やくそく』に設定され、自分ができるようになったことを身近な人にインタビューする活動が『自分のことをまとめよう』に設定されている。
大日本	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、安全を守る方法、人との接し方などを知る活動が『やくそく』に設定され、幼児期からの自分の成長をまとめる活動が『小さかったころの自分に会いに行こう』に設定されている。
学図	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、電車やバスの乗り方を知る活動が『ものしりノート』に設定され、友達といいところを伝え合う活動が『みんなのいいところを見つけよう』に設定されている。
教出	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、災害時に身を守る方法などを知る活動が『げんきにすごそう』に設定され、以前と今の自分を比べて成長をまとめる活動が『まわりの人に聞いてみよう』に設定されている。
信教	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、生き物に触れる前後に手を洗うイラストが『きょうからいっしょ』に掲載され、幼児期の洋服やおもちゃを友達と見せ合う活動が『小さいころのわたし』に設定されている。
光村	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、登下校の約束などを知る活動が『ひろがるせいかつてん』に設定され、2年生まででできるようになったことをまとめる活動が『こんなにせいちょうしたんだね』に設定されている。
啓林館	知識及び技能の基礎としての「気付き」や「生活上必要な習慣や技能」を育成することについて、健康や安全に過ごすための方法を知る活動が『がくしゅうずかん』に設定され、お世話になった方に自分のことをインタビューする活動が『自分についてしらべよう』に設定されている。

⑰ 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、工夫や配慮がなされているか。	
東書	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、自分が種を植えて成長を楽しみにしている活動が『たねをまこう』に設定され、自分が住んでいる町について調べ、友達と共有する活動が『まちのすてきを話し合おう』に設定されている。
大日本	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、通学路で街路樹を誰が育てているのかを考える活動が『つうがくろでみつけたよ』に設定され、町探検で出会った人を通して自分のよさを見つける活動が『わたしもキラリさんになれるかな』に設定されている。
学図	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、自分が見つけた秋の素材を使った活動が『あきをたのしもう』に設定され、お店で働く方々の工夫を知り、わかったことを発表する活動が『しらべたことをつたえよう』に設定されている。
教出	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、校庭などで生き物を探す活動が『生きものをさがそう』に設定され、町探検で地域で働く方にインタビューして体験をつたえ合う活動が『体けんをつたえ合おう』に設定されている。
信教	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、四季を通して、くり返し地域を訪れる活動が『いつものばしょへ』に設定され、地域の方が登下校を見守ってくれていることを知る活動が『きをつけてかえるよ』に設定されている。
光村	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、子ども110番の店の方と話をしている活動が『つうがくろをたんけんしよう』に設定され、町探検をして、町のよいところを伝える活動が『まちのすてきをつたえよう』に設定されている。
啓林館	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える題材として、通学路には標識や信号機があることを知る活動が『がっこうのまわりをあるいてみよう』に設定され、町探検をして、町のよいところを発表する活動が『すてきをつたえるじゅんぴをしよう』に設定されている。
⑱ 児童の興味・関心を喚起させるような題材として、「試す」、「見通す」などの工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、アサガオやミニトマトなどの植物の成長過程や野菜への思いを記録する活動が『ぐんぐんそだてわたしの野さい』に設定され、虫がどの場所にいるか考えて探す活動『むしをさがそう』に設定されている。
大日本	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、秋の自然物を使った遊びや幼児と交流する活動が『ようこそあきのテーマパークへ』に設定され、地域の方との交流する活動が『わたしの町はっけん』に設定されている。
学図	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、夏に見られる57種類の生き物の絵を見つける活動が『生きものと友だち』に設定され、友達と関わりながら秋の自然物を使っておもちゃを作る活動が『見つけたあきであそぼう』に設定されている。
教出	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、ドングリや落ち葉など秋の自然物でおもちゃを作る活動が『見つけたあきでつくろう』に設定され、学校探検で見つけたことを共有する活動が『なにをかんじたかな』に設定されている。
信教	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、2年間、赤ちゃんからヤギを育て、関わりながら世話をしている活動が『いきものといっしょ』に設定され、春に野原で虫取りなどをする活動が『はるとなかよし』に設定されている。
光村	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、前回の町探検の経験をもとに計画を立てる活動が『もっともっとまちたんけん』に設定され、手作りおもちゃの遊び方を考える活動が『じまんのおもちゃにしよう』に設定されている。
啓林館	児童の興味・関心を喚起させるような題材として、自分が育てる植物を自分で選ぶ活動が『どんなはなをそだてたいかな』に設定され、地域の方と関わり合う活動が『町にはどんな人がいるのかな』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『がっこうだいすき』や『はなをさかせよう』などが9単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『どきどきわくわくまちたんけん』など9単元で構成されている。
大日本	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『みんななかよし』や『あきだいすき』などが4単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『わたしの町はっけん』など6単元で構成されている。
学図	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『がっこうたんけん』や『わたしのあさがお』などが7単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『まちたんけん』など5単元で構成されている。
教出	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『わくわくどきどきしょうがっこう』や『きせつとなかよしはる・なつ』など9単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『まちが大すきたんけんたい』など7単元で構成されている。
信教	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『うれしいないちねんせい』や『あきがいっぱい』など17単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『わたしがすむ町』など13単元で構成されている。
光村	上巻は第1学年を対象として、学校生活や身近な自然などに関する『なかよしいっぱいがっこうたんけん』や『あきとともだち』など9単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『まちをたんけん大はっけん』など9単元で構成されている。
啓林館	上巻は第1学年を対象として、学校生活や自然などに関する『いくぞ!がっこうたんけんたい』や『あきとなかよし』など9単元、下巻は第2学年を対象として、身近な地域に関する『町のすてきつたえたい』など9単元で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。
大日本	判型はA4判が採用されている。
学図	判型はA4変型判が採用されている。
教出	判型はA4判が採用されている。
信教	判型はA B判が採用されている。
光村	判型はA4判が採用されている。
啓林館	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適切するようにデザインしています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫するなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。』と表記されている。
学図	『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
信教	『この教科書は、必要な情報がより多くの人に伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。』と表記されている。
光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン』『見出しや本文等には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	下巻 43ページ 『七夕まつり（神奈川県）』 下巻 67ページ 極楽寺駅
大日本	上巻 60ページ 『しょうなんひらつかたなばたまつり 神奈川県平塚市』 下巻 50ページ 『あまったあぶらで石けんを作る。（神奈川県横浜市）』
学図	下巻 37ページ 『春節（神奈川県）』
教出	下巻 26～27ページ 柿生駅、川崎市立麻生図書館柿生分館、川崎市消防局、『神奈川県川崎市のお友だちのまちたんけん』 下巻 36ページ 関内・山下公園等の案内板 下巻 105ページ 長津田歴史探訪マップ
信教	なし
光村	上巻 55ページ 『神奈川県藤沢市』
啓林館	下巻 10ページ 『相模の大凧まつり（神奈川県相模原市）』 下巻 42ページ 『公民館（神奈川県相模原市）』

② 一冊ごとの重量（g）											
発行者名	総冊数	上	下	3年上	3年下	4年上	4年下	5年上	5年下	6年上	6年下
東書	2	347	312								
大日本	2	337	310								
学図	2	353	334								
教出	2	314	314								
信教	2	309	260								
光村	2	400	334								
啓林館	2	320	285								

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪音楽(音楽)≫

※詳細については、資料Ⅱ(音楽-3～音楽-6)を参照。

発行者の略称	教出	書名	小学音楽 音楽のおくりもの
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① □ 「知識・技能」の習得について、リズムや旋律など「音楽を形づくっている要素」が『「音楽のもと」まとめ』などに掲載されている。</p> <p>② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、思いや意図を生かした表現を考えるなどの学習活動が『学びナビ』に設定されている。</p> <p>③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、専門家からのメッセージが表紙裏の『体で伝え合おう！音楽の楽しさ』などに掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に掲げた、次の内容に沿っているか。</p> <p>④ □ [思いやる力]の「豊かな心」について、思いを感じ取り、みんなの歌声で表す学習活動が『思いをこめた表現』などに設定されている。</p> <p>⑤ □ [たくましく生きる力]の「コミュニケーションの能力」について、友達と手遊びをしたり、自分の思いなどを伝え合ったりする学習活動が設定されている。</p> <p>⑥ □ [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、『につぼんのうた みんなのうた』や、風景の写真、イラストなどが掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ □ 「主体的・対話的で深い学び」について、学びのプロセスを示した『学びナビ』や学習のめあてが掲載され、表現を深める学習活動が『学び合う音楽』に設定されている。</p> <p>⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、他教科との関連として、『It's a Small World』など英語を取り入れた歌が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ □ 言語能力の育成について、『速さや強さを表す言葉の例』などが『音楽を表すいろいろな言葉』にまとめて示され、挿絵や絵譜が掲載されている。</p> <p>⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、『ひらいたひらいた』などの『わらべうた』や『こと』『しの笛』などが掲載されている。</p> <p>⑪ □ 体験学習の充実について、速さやリズムなどを捉えるために、実際に体を動かさず学習活動が『山のま王のきゅうでんにて』『こいのぼり』などに設定されている。</p> <p>⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、幼児期に扱われている『わらべうた』などがイラストとともに掲載され、中学校の学習内容につながる箇所には『はってん 中学』としてマークが掲載されている。</p> <p>⑬ □ 情報活用能力の育成について、『図書館やインターネットなどで調べてみるとおもしろいよ。』が『日本の民ようをたずねて』に掲載されている。</p> <p>⑭ □ 児童の学習上の困難さへの対応について、鍵盤ハーモニカの実物大の写真、イラストやリコーダーの運指図が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ □ 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『学びリンク』で示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目独自の観点≫</p> <p>⑯ □ 「A表現」と「B鑑賞」の教材について、輪唱の教材『かえるのがっしょう』や、部分的な2部合唱の教材『地球の向こう側の君へ』などが掲載されている。</p> <p>⑰ □ 我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材について、日本各地の民謡を示した『日本の民ようをたずねて』や、日本各地のお祭りを示した『日本のお祭りをたずねて』が掲載されている。</p> <p>⑱ □ 表現及び鑑賞を相互に関連させることについて、リズムや旋律などの「音楽を形づくっている要素」が『音楽のもと』として、掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ □ 基礎・基本を身に付ける部分と、『音楽ランド』などの選択可能な部分が掲載されている。</p> <p>⑳ □ 判型はA4変型判が採用されている。</p> <p>㉑ □ 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪音楽(音楽)≫

※詳細については、資料Ⅱ(音楽-3～音楽-6)を参照。

発行者の略称	教芸	書名	小学生の音楽
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、リズムや旋律など「音楽を形づくっている要素」が『ふり返りのページ』などに掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『このような音楽にしたい』などと『思いや考え』をもつ学習活動が『考える』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、専門家からのメッセージが表紙裏の『気持ちを歌でとどけましょう』などに掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○教育目標(めざすべき人間力像)に掲げた、次の内容に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「豊かな心」について、表情豊かに歌う学習活動が『音楽で思いを伝えよう』などに設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「コミュニケーションの能力」について、児童の考えが吹き出しなどに掲載され、自分の思いなどを伝え合う学習活動が設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、『こころのうた』や、風景の写真、イラストなどが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 「主体的・対話的で深い学び」について、キャラクターの吹き出しに『アドバイス』が示され、演奏の仕方を考えるなどの学習活動が『考える』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科との関連として、『小犬のビンゴ』など英語を取り入れた歌が掲載されている。</p> <p>○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、「感じたこと・気付いたこと」を分けて書く学習活動が『ハンガリー舞曲第5番』などに設定され、絵譜が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、『さんちゃんが』などの『わらべうた』や『しめだいこ』『こと』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、手遊びや口唱歌の学習活動などが『茶つみ』『神田囃子』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、幼児期に扱われている『わらべうた』などがイラストとともに掲載され、中学校の学習内容につながる箇所には『ステップアップ』として★印が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、調べるための方法が『ちいきにつたわるおどりやまいのおんがくを調べよう』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、鍵盤ハーモニカを演奏する際の手順や、リコーダーの運指図が掲載されている。</p> <p>○児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『音楽づくり』で示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目独自の観点≫</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「A表現」と「B鑑賞」の教材について、輪唱の教材『かえるのがっしょう』や、部分的な2部合唱の教材『夢の世界を』などが掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材について、日本各地の祭りばやしを示した『ちいきにつたわる音楽でつながろう』や、日本各地の民謡を示した『日本の民謡めぐり』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 表現及び鑑賞の学習内容を関連させることについて、リズムや旋律などの「音楽を形づくっている要素」が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 基礎・基本を身に付ける部分と、『みんなで楽しく』などの選択可能な部分が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての子どもたちが色覚特性に適應することを目指してデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《音楽(音楽)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
教出	「知識・技能」の習得について、リズムや旋律など「音楽を形づくっている要素」が『「音楽のもと」まとめ』などに掲載されている。また、歌い方などについて示された『歌声』が掲載されている。
教芸	「知識・技能」の習得について、リズムや旋律など「音楽を形づくっている要素」が『ふり返りのページ』などに掲載されている。また、歌い方などについて示された『歌声ルーム』が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、思いや意図を生かした表現を考えるなどの学習活動が『学びナビ』に設定されている。また、曲の内容に関連するイラストや写真が掲載されている。
教芸	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『このような音楽にしたい』などと『思いや考え』をもつ学習活動が『考える』に設定されている。また、キャラクターの吹き出しが掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、専門家からのメッセージが表紙裏の『体で伝え合おう！音楽の楽しさ』などに掲載されている。また、巻頭に、学習の見通しや活動を示した『学習マップ』が掲載されている。
教芸	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、専門家からのメッセージが表紙裏の『気持ちを歌でとどけましょう』などに掲載されている。また、巻頭に学習の見通しや活動を示した『学習マップ』が掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
教出	[思いやる力]の「豊かな心」について、思いを感じ取り、みんなの歌声で表す学習活動などが、『思いをこめた表現』などに設定されている。また、巻末に、『<全校合唱>』が掲載されている。
教芸	[思いやる力]の「豊かな心」について、表情豊かに歌う学習活動が『音楽で思いを伝えよう』などに設定されている。また、巻末に、『みんな楽しく♪』が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、友達との手遊び、手合わせ、自分の思いを伝え合う、自分のつくった旋律やリズムを友達とつなげるなどの学習活動が設定されている。
教芸	[たくましく生きる力]の「コミュニケーションの能力」について、児童の考えが吹き出しなどに掲載され、自分の思いなどを伝え合う学習活動や、自分のつくった旋律やリズムを友達とつなげる学習活動が設定されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
教出	[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、『にっぽんのうた みんなのうた』が掲載されている。また、人、自然の風景の写真やイラストが掲載されている。
教芸	[社会とかかわる力]の「自然や人とのふれあい体験」について、『こころのうた』が掲載されている。また、人、自然の風景の写真やイラストが掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
教出	「主体的・対話的で深い学び」について、学びのプロセスを示した『学びナビ』、学習のめあてなどに関連した「音楽を形づくっている要素」が『おんがくのもと』として掲載されている。また、みんなで表現を深める学習活動が『学び合う音楽』に設定されている。
教芸	「主体的・対話的で深い学び」について、『考える』などのマークと活動文、学習のめあてなどに関連した「音楽を形づくっている要素」が掲載されている。また、キャラクターの吹き出しに『アドバイス』が示され、演奏の仕方を考えるなどの学習活動が設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
教出	カリキュラム・マネジメントについて、他教科との関連として、『It's a Small World』など英語を取り入れた歌が『Short Time Learning』に掲載されている。また、『たんのいの歌』など算数や理科との関連の教材も掲載されている。
教芸	カリキュラム・マネジメントについて、他教科との関連として、『小犬の ピンゴ』など英語を取り入れた歌が掲載されている。また、『えからうまれるおんがく』など図画工作科との関連の教材も掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
教出	言語能力の育成について、『速さや強さを表す言葉の例』などが『音楽を表すいろいろな言葉』にまとめて掲載されている。また、挿絵が『おどろこねこ』などに、絵譜が『つるぎのまい』などに掲載されている。
教芸	言語能力の育成について、「感じたこと・気付いたこと」を分けて書く学習活動が『ハンガリー舞曲 第5番』などに設定されている。また、絵譜が『トルコ こうしんきょく』などに掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、『ひらいたひらいた』などの『わらべうた』や『民よう』、『こと』『しの笛』などが掲載されている。また、『こと』『尺八』『しの笛』の構造なども掲載されている。
教芸	伝統や文化に関する教育の充実について、『さんちゃんが』などの『わらべうた』や『しめだいこ』『こと』などが掲載されている。また、『民謡(みんよう)』や『こと』『尺八』の構造なども掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
教出	体験学習の充実について、指揮の仕方が示され、速さやリズムなどを捉えるために、実際に体を動かす学習活動が『山のま王のきゅうでんにて』や『こいのぼり』などに設定されている。
教芸	体験活動の充実について、指揮の仕方が示され、手遊びや口唱歌の学習活動などが『茶つみ』や『神田囃子』などに設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
教出	学校段階間の円滑な接続について、幼児期に扱われている『わらべうた』などが『うたうたうごいてみんなでおんがく』などにイラストとともに掲載されている。また、中学校の学習内容につながる箇所には『はってん 中学』としてマークが掲載されている。
教芸	学校段階間の円滑な接続について、幼児期に扱われている『わらべうた』などがイラストとともに掲載されている。また、中学校の学習内容につながる箇所には、音楽記号に『ステップアップ』として★印が掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
教出	情報活用能力の育成について、『図書館やインターネットなどで調べてみるとおもしろいよ。』が『日本の民ようをたずねて』に掲載されている。また、『歌詞との関わりについて調べたりしてみよう。』が、『学習の進め方』の『♪曲についていろいろなことを知ろう』に掲載されている。
教芸	情報活用能力の育成について、調べるための方法が『ちいきにつたわるおどりやまいのおんがくを調べよう』に掲載されている。また、『インターネットを使って、曲や作曲家について調べてみよう。』と記載された吹き出しが掲載されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、鍵盤ハーモニカの実物大の写真やイラストが掲載されている。また、リコーダーの運指図が掲載されている。
教芸	児童の学習上の困難さへの対応について、鍵盤ハーモニカを演奏する際の手順が掲載されている。また、リコーダーの運指図が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『学びリンク』で示され、リコーダーの演奏動画や、ワークシートなどにつながる二次元コードが掲載されている。また、作詞者からのメッセージ動画などにリンクが設定されている。
教芸	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『音楽づくり』で示され、音楽づくりをする動画などにつながる二次元コードが掲載されている。また、作詞者などについてリンクが設定されている。
⑯ 「A表現」と「B鑑賞」の教材は、多様な音楽の中から、児童の発達の段階に応じて適切に選択されているか。	
教出	「A表現」と「B鑑賞」の教材について、輪唱の教材『かえるのがっしょう』や、部分的な2部合唱の教材『地球の向こう側の君へ』などが掲載されている。また、日本や世界の音楽についての表現や鑑賞の教材が掲載されている。
教芸	「A表現」と「B鑑賞」の教材について、輪唱の教材『かえるのがっしょう』や、部分的な2部合唱の教材『夢の世界を』などが掲載されている。また、日本や世界の音楽についての表現や鑑賞の教材が掲載されている。
⑰ 我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材に工夫や配慮がなされているか。	
教出	我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材について、日本各地の民謡を示した『日本の民謡をたずねて』や、日本各地のお祭りを示した『日本のお祭りをたずねて』が掲載されている。また、『わらべうた』が掲載されている。
教芸	我が国や郷土の伝統音楽を扱う題材について、日本各地の祭りばやしを示した『ちいきにつたわる音楽でつながろう』や、日本各地の民謡を示した『日本の民謡めぐり』が掲載されている。また、『わらべうた』が掲載されている。
⑱ 表現(歌唱、器楽、音楽づくり)及び鑑賞、[共通事項]の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
教出	表現及び鑑賞を相互に関連させることについて、リズムや旋律などの「音楽を形づくっている要素」が『音楽のもと』として、掲載されている。また、『「音楽のもと」を手がかりにして曲の特徴を見つけ、どのように演奏したいか考えたりしよう』などと『学習の進め方』に掲載されている。
教芸	表現及び鑑賞の学習内容を関連させることについて、リズムや旋律などの「音楽を形づくっている要素」が掲載されている。また、「音楽を形づくっている要素」が学習のめあてなどに、関連づけられている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。

教出	基礎・基本を身に付ける部分と、『音楽ランド』などの選択可能な部分で配分されている。また、目次の次に『学習マップ』、巻末に『このうた』や『きせつのうた』などが掲載されている。
教芸	基礎・基本を身に付ける部分と、『みんなで楽しく』などの選択可能な部分で配分されている。また、『学習マップ』の次に『目次』、巻末に『歌いごう日本の歌』が掲載されている。

⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。

教出	判型はA4変型判が採用されている。
教芸	判型はA4変型判が採用されている。

㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。

教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
教芸	『全ての子どもたちが色覚特性に適應することを目指してデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

教出	第3学年 74ページ 『君が代』のさざれ石の写真（鎌倉市） 第6学年 54ページ 『ジャズとクラシック音楽の出合い』の写真（2018年1月14日相模女子大学グリーンホール） 第6学年 巻末 『箱根八里』の箱根の山の写真
教芸	第4学年 28ページ 『ちいきにつたわるおどりやまの音楽を調べよう』の地図「相模里神楽」 第6学年 巻頭 『音楽は人間の命の一部です』の山田和樹さん（秦野市出身）

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量（g）

発行者名	総冊数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
教出	6	174	176	186	192	192	192
教芸	6	172	172	182	182	182	182

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 図画工作(図画工作) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(図画工作-3～図画工作-6)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	図画工作5・6上 心をひらいて 図画工作5・6下 つながる思い
1 教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、巻末に道具の使い方や安全指導などを扱った『学びの資料』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、いろいろな方向から見てクイズをつくるなどの学習活動が『ひらめきショートチャレンジ』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、題材ごとの『学習のめあて』に対しての振り返りをする学習活動が『ふりかえり』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「豊かな心」について、制作した作品を飾ったり、プレゼントしたりするなどして、相手に気持ちを伝える学習活動が『絵のお話でプレゼント』などに設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「責任感」について、現代的な諸課題に関連する題材に、SDGsマークで示されたコラムが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、図画工作の学習が生活や社会とつながっていることが示された『みんなのギャラリー』『つながる造形』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、「育成を目指す資質・能力の3つの柱」と題材との関係が、キャラクターを用いて巻頭に一覧で掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、題材ごとに『国語』『道徳』など関連する教科等名とその内容が示された『あわせて学ぼう』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、発表や話し合いなどを行う学習活動が『墨や筆の技 水墨画の世界へ』などに設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の工芸品、文化財や、諸外国の作品などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自然の中で行う活動の『地球まるごとたからばこ』や学校の校舎などを生かした活動が『この空間がいい感じ』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1・2学年では、幼稚園教諭のメッセージが掲載され、第5・6学年では、中学校の美術科や技術科につながる題材が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、プログラミングを生かして動かしたり、音を出したりする児童の作品の紹介が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、教科書で使われているマークなどの説明が『図画工作を学ぶみなさんへ』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『見て感じてわたしの表現に』などに示され、動画などにつながる二次元コードが設定されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 造形的な見方・考え方を働かせた学習活動について、その場所で感じたことを絵に表すなどの学習活動が『私のお気に入りの場所』などに設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことについて、各題材に使用する用具の一覧が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び[共通事項]の学習内容を、相互に関連させることについて、作品と関連する題材のページが『小さな美術館』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁 表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 1・2上下各26題材、3・4上下各26題材、5・6上下各25題材。それぞれの題材は2ページまたは4ページで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 図画工作(図画工作) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(図画工作-3～図画工作-6)を参照。

発行者の略称	日文	書名	図画工作5・6上 わたしとひびき合う 図画工作5・6下 わたしとひびき合う
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、巻末に材料の特徴や道具の使い方などを扱った『材料と用具のひきだし』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、作家の作品や伝統文化などを鑑賞する学習活動が『教科書美術館』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを次の活動にどうつなげるかを考える学習活動が『ふりかえり』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「豊かな心」について、鑑賞活動での作品の味わい方や対話的な学習活動が『友だちと作品を見て話そう』などに設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「責任感」について、現代的な諸課題に関連する題材の『つながる学び』に『SDGs』と掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「生きること」について、図画工作の学習を通じ地域や社会と関わりを持つことが示された『つながるずこう』『広がる図工』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『わたしとひびき合う』などの言葉で「造形的な見方・考え方」について示された内容が巻頭に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、題材ごとに『国語』『社会・道徳』など関連する教科等名などが示された『つながる学び』が掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、感じたことなどを伝え合う学習活動が『この筆あと、どんな空?』などに設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な遊びや日本で受け継がれてきた形や色、諸外国の作品などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自然の中で行う活動の『自然を感じるすてきな場所で』や学校の校舎などを生かした活動が『糸から生まれるわたしの空間』などに設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1・2学年では、幼児期の造形活動の振り返りが掲載され、第5・6学年では、中学校の美術科や技術科につながる題材が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、表現方法の例としてプログラミングの作品やプログラミングの手順が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、題材ページの構成などの説明が『教科書の使い方』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『この筆あと、どんな空』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 造形的な見方・考え方を働かせた学習活動について、日常を自分の見方で切り取って表すなどの学習活動が『私の大切な風景』などに設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことについて、既習の学習が『思い出そう』に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び[共通事項]の学習内容を、相互に関連させることについて、題材に活動内容を示した『絵・かん賞』などが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 1・2上29題材、下28題材。3・4上28題材、下27題材。5・6上下各28題材。それぞれの題材は1ページから4ページで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《図画工作(図画工作)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
開隆堂	「知識・技能」の習得について、巻末に道具の使い方や基礎的な技能、安全指導などを扱った『学びの資料』が掲載されている。題材ごとにキャラクターマークにより「知識及び技能」の習得に関する『学習のめあて』が掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、巻末に材料の特徴や道具の使い方、基礎的な技能などを扱った『材料と用具のひきだし』が掲載されている。題材ごとに手のマークにより「知識及び技能」の習得に関する『学習のめあて』が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、いろいろな方向から見てクイズをつくるなどの学習活動が『ひらめきショートチャレンジ』に設定されている。題材ごとにキャラクターマークにより「思考力・判断力・表現力等」の習得に関する『学習のめあて』が掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、作家の作品や伝統文化などを鑑賞する学習活動が『教科書美術館』に設定されている。題材ごとに電球マークにより「思考力・判断力・表現力等」の習得に関する『学習のめあて』が掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、題材ごとの『学習のめあて』に対しての振り返りをする学習活動が『ふりかえり』や、巻末の『これまでのふりかえりをしよう』に設定されている。題材ごとにキャラクターマークにより「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関する『学習のめあて』が掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを次の活動にどうつなげるかを考える学習活動が『ふりかえり』や、各下巻の『図画工作での学びをふり返ってみよう』『どんなことしたかな』などに設定されている。題材ごとに笑顔マークにより「学びに向かう力・人間性等」の涵養に関する『学習のめあて』が掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
開隆堂	[思いやる力]の「豊かな心」について、制作した作品を飾ったり、プレゼントするなどして、相手に気持ちを伝える学習活動が『絵のお話でプレゼント』などに設定されている。グループ活動などの協働的な学びとなる題材が設定されている。
日文	[思いやる力]の「豊かな心」について、鑑賞活動での作品の味わい方や対話的な学習活動が『友だちと作品を見て話そう』などに設定されている。協働的な学習活動が『アート・カードをたのしもう』に設定されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
開隆堂	[たくましく生きる力]の「責任感」について、現代的な諸課題に関連する題材に、SDGsマークで示されたコラムが掲載されている。材料の有効活用などが示された『かたづけ』が題材に掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「責任感」について、第3・4学年と第5・6学年では、現代的な諸課題に関連する題材の『つながる学び』に『SDGs』と掲載されている。材料の有効活用などが示された『かたづけ』が題材に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
開隆堂	[社会とかかわる力]の「生きること」について、第1・2学年では、地域の中での造形活動、第3・4学年では、図画工作で学校生活を楽しくすること、第5・6学年では、表現活動が人や暮らしをつなぐことなどが『みんなのギャラリー』『つながる造形』に掲載されている。
日文	[社会とかかわる力]の「生きること」について、第1・2学年では、つくったおもちゃで家の人や地域の人と遊ぶ様子、第3・4学年では、校内や野外、地域での展示、第5・6学年では、地域と連携した図画工作の活動などが『つながるぞう』『広がる図工』に掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭に各題材で重視する「育成を目指す資質・能力の3つの柱」と題材との関係が一覧で掲載されている。題材にキャラクターのセリフで『特に大切なめあて』に関するヒントが掲載されている。造形表現についての作家から児童へのメッセージと児童の言葉が『心をひらいて』などで掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、『わたしとひびき合う』などの言葉で「造形的な見方・考え方」について示された内容が巻頭に掲載されている。題材に『特に大切なめあてのヒント』『鑑賞のヒント』が掲載されている。めあてを確かめることや作品を見せ合うことなどを示した『学習の進め方』が掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすい工夫や配慮など)

開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、題材ごとに『国語』『道徳』『特別活動』など関連する教科等名とその内容が示された『あわせて学ぼう』が掲載されている。裏表紙に家庭での学びの共有について『保護者の皆様へ』が掲載されている。第5・6学年では、図画工作で学んだことを社会でどう生かすかが示された『未来へつながる図画工作』が設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、題材ごとに『国語』『社会・道徳』『SDGs』など関連する教科等名などが示された『つながる学び』が掲載されている。目次に家庭での学びの共有について『保護者の方へ』が掲載されている。第5・6学年では、図画工作の学びで、これからも大切だと思ふことが問われた『図画工作での学びをふり返ってみよう』が設定されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

開隆堂	言語能力の育成について、発言の例が示された発表や話し合いなどを行う学習活動が『墨や筆の技 水墨画の世界へ』などに設定されている。児童作品の作品名の下に、作品についてのコメントが掲載されている。第5・6学年では、アイデアを言葉で整理する例が掲載されている。
日文	言語能力の育成について、発言の例が示された感じたことなどを伝え合う学習活動が『この筆あと、どんな空?』などに設定されている。児童作品に作品についてのコメントが吹き出しの形で掲載されている。第5・6学年では、児童のワークシートや、表し方を言葉で整理する例が掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、日本各地の工芸品、文化財、各地の特色を生かした造形活動や作品などが掲載されている。諸外国の文化や児童の作品などが掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な遊びやおもちゃ、日本で受け継がれてきた形や色などが掲載されている。諸外国の児童や作家の作品などが掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
開隆堂	体験活動の充実について、自然の中で行う活動の『地球まるごとたからばこ』や学校の校舎などを生かした活動が『この空間がいい感じ』などに設定されている。「造形遊び」の学びを示すコメントがキャラクターのセリフやリード文で題材に掲載されている。
日文	体験活動の充実について、自然の中で行う活動の『自然を感じるすてきな場所で』や学校の校舎などを生かした活動が『糸から生まれるわたしの空間』などに設定されている。「造形遊び」の学びを示すコメントやリード文が題材に掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、第1・2学年では、幼児期の造形活動の写真、幼稚園教諭からのメッセージと児童の言葉『わくわくするね』が掲載されている。第5・6学年では、中学校の美術科や技術科につながる題材が掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、第1・2学年では、幼児期の造形活動の振り返り『どんなことすきだった?』が掲載され、幼児期の造形活動とのつながりを示す題材が掲載されている。第5・6学年では、中学校の美術科や技術科につながる題材が掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
開隆堂	情報活用能力の育成について、第5・6学年では、プログラミングを生かして動かしたり、音を出したりする児童の作品の紹介が掲載されている。『学びの資料』では『タブレットたんまつをしよう』が掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、第3・4学年と第5・6学年では、表現方法の例としてプログラミングの作品やプログラミングの手順が掲載されている。第3・4学年と第5・6学年の『材料と用具のひきだし』では『ICTの活用』が掲載されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
開隆堂	児童の学習上の困難さへの対応について、教科書で使われているマークなどの説明が『図画工作を学ぶみなさんへ』に掲載されている。作品を数字で示せるよう図版番号が掲載されている。写真やイラストを用いて作品のつくり方が掲載されている。
日文	児童の学習上の困難さへの対応について、題材ページの構成や教科書で使われているマークなどの説明が『教科書の使い方』に掲載されている。イラストを用いて作品のつくり方が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活動できる学習活動が、『見て感じてわたしの表現に』などに示され、題材ごとに参考作品の画像、題材に使えるワークシート、学習活動の内容や学習のめあて、技法を説明する動画などにつながる二次元コードが設定されている。
日文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『この筆あと、どんな空』などに示され、題材ごとに参考作品の画像、作家のインタビューや技法を説明する動画、コマ撮りアニメーション制作アプリなどにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 児童が造形的な見方・考え方を働かせながらつくりだす喜びを味わえるように、表現及び鑑賞の内容や題材は適切に取り上げられているか。	
開隆堂	造形的な見方・考え方を働かせた学習活動について、その場所で感じたことを絵に表すなどの学習活動が『私のお気に入りの場所』などに設定されている。作品や自然の中の形や色などに着目する学習活動が『小さな美術館』に設定されている。
日文	造形的な見方・考え方を働かせた学習活動について、日常を自分の見方で切り取って表すなどの学習活動が『私の大切な風景』などに設定されている。身の回りにある形や色などに着目する学習活動が『図工のみかた』に設定されている。
⑰ 児童が経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことができるよう、表現及び鑑賞の題材に、工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことについて、各題材に使用する用具の一覧が掲載されている。異なる表現方法で活動する児童の写真や作品が掲載されている。
日文	経験したことを基に、自分に適した表現方法や材料、用具などを選ぶことについて、第5・6学年では、既習の学習が『思い出そう』に掲載されている。異なる表現方法で活動する児童の写真や作品が掲載されている。
⑱ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させることについて、作品と関連する題材のページが『小さな美術館』に掲載されている。題材に形や色、イメージの広がりに関することなどが児童の言葉や気づきとして吹き出しの形で掲載されている。表現の題材と鑑賞の題材が続けて掲載されている。
日文	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させることについて、題材に活動内容を示した『絵・かん賞』などが掲載されている。形や色、イメージの広がりに関することなどが児童の言葉や気づきとして吹き出しの形で掲載されている。表現の題材と鑑賞の題材が続けて掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
開隆堂	1・2 上下各26題材、3・4 上下各26題材、5・6 上下各25題材。それぞれの題材は2ページまたは4ページで構成されている。
日文	1・2 上29題材、下28題材。3・4 上28題材、下27題材。5・6 上下各28題材。それぞれの題材は1ページから4ページで構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	判型はA4判が採用されている。
日文	判型はA4判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
開隆堂	1・2 下 56ページ 『サザンビーチでサンドアート』（茅ヶ崎市） 1・2 下 57ページ 『たっぷりえのぐでおもいきり』（横浜市） 3・4 上 56ページ 『りゅうぐうじょうへようこそ』（横浜市） 3・4 下 55ページ 『造形さがみ風っ子展』（相模原市） 5・6 下 54ページ 『案内看板』（横浜市） 5・6 下 54ページ 『赤レンガ倉庫』（横浜市） 5・6 下 54ページ 『横浜美術館』（横浜市） 5・6 下 69ページ 『病院に笑顔と光を』（横浜市）
日文	1・2 下 45ページ 箱根彫刻の森美術館『おくりもの：未知のポケット2』（箱根町） 3・4 上 52ページ 造形『さがみ風っ子展』（相模原市） 3・4 上 53ページ ショッピングモールでの展示 3・4 上 53ページ 『SDGsアートウォール・プロジェクト』 3・4 下 32ページ 島津冬樹『だんボールが』 5・6 上 36ページ 駅のこう内での展示 5・6 上 57ページ 隈研吾『角川武蔵野ミュージアム』 5・6 下 65ページ 横浜美術館『オンライン美術館に行こう』（横浜市）

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量（g）							
発行者	総冊数	1・2年		3・4年		5・6年	
		上	下	上	下	上	下
開隆堂	6	249	248	249	249	248	261
日文	6	245	233	234	232	243	246

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《家庭(家庭)》

※詳細については、資料Ⅱ(家庭-3～家庭-6)を参照

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい家庭 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して習得する学習活動や、実習後の振り返りが『できたかな?』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を工夫し改善する学習活動が『深めよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が『生活を変えるチャンス!』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、自分とは異なる世代や立場の人との関わり方を考える学習活動が『私から地域につなげよう! 広げよう!』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「消費者教育」について、環境への影響を考えた品物の選び方などを考える学習活動が『持続可能な社会へ 物やお金の使い方』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域を調べて地域をよりよくする工夫を考え、自分にできることを発信する学習活動が『あなたは家庭や地域の宝物』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、ワークシートの実践例や、周りの人と意見を交流して評価・改善する学習活動が『夏をすずしく さわやかに』などに設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する内容に『リンク』マークが示され、社会科、理科との関連が『食べて元気! ご飯とみそ汁』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いのポイントやワークシートの記載例を示した学習活動が『物を生かして住みやすく』見つけてみよう生活時間』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、学習と関連する伝統文化が『日本の伝統』マークで示され、茶道具、伝統的な地域の料理、季節の音、衣替えなどが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、学校での学びを家庭実践に生かす学習活動が『夏休みわくわくチャレンジ!』『トライカード』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校技術・家庭科の学習内容と関連のある内容を示す『リンク』マークが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った安全な品物の選び方を考える学習活動が『買い物について考えよう』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さに応じた工夫について、調理実習や製作実習の技能を写真、イラスト、解説で示した『いつも確かめよう』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ひと針に心をこめて』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見つめる視点を示す『家庭科の窓』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通じた「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成について、団らんの工夫を話し合い、計画を立てて実践する学習活動が『気持ちがつながる家族の時間』などに設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、冬を快適に過ごす工夫を話し合い、考える学習活動が『冬を明るく暖かく』などに設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 5年生全8編、6年生全7編で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《家庭(家庭)》

※詳細については、資料Ⅱ(家庭-3～家庭-6)を参照

発行者の略称	開隆堂	書名	わたしたちの家庭科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、導入で「知識・技能」のめあてを示し、実習や実践を通して習得する学習活動や、調理や製作の手順や技能の振り返りが『できたかな』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実践や調査から分かったことを発表し合い、自分の考えを深める学習活動が『生かす・深める』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学んだことを長期休業中や学校行事で実践する学習活動が『生活の課題と実せん例』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、地域の一員として自分にできることを考え、地域の人々と協力して助け合う学習活動が『地域かかわりプロジェクト』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「消費者教育」について、計画的な買い物の仕方、買い物の流れ、買い物で困ったときの対応などを考える学習活動が『生活を支える物やお金』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域との関わりを見つめ、防災訓練、夏祭りなどの地域行事に参加する学習活動が『共に生きる地域での生活』に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、自分の考えを記述し、実践や調査から分かったことや解決方法を話し合う学習活動が『整理・整とんで快適に』などに設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する内容に『関連』マークが示され、体育科、算数科などとの関連が『食べて元気に』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、解決方法や実践、調査から分かったことを発表し合う学習活動が『衣服の手入れで快適に』『すずしい住まい方で快適に』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、暮らしの中の伝統文化が『伝統』マークで示され、一汁三菜、ふるしき、風鈴、伝統建築などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自分の生活や実践を見つめ直し、継続して家庭実践に取り組む学習活動が『できるよ 家庭の仕事』『生活時間をマネジメント』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校技術・家庭科「家庭分野」のつながりが『2年間の学習を中学校につなげよう』などに掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、商品を選ぶために必要な情報を集め、環境に配慮した選び方を考える学習活動が『買い物をするとき大切なことは何だろう』などに設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さに応じた工夫について、調理実習や製作実習の技能を写真や材料の切り方を実物大で示した『実習に役立つワンポイント』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習動画が、『ソーイングで生活を豊かに』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で課題を見つける視点を示す『生活の見方・考え方 4つの視点』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 実践的・体験的な活動を通した「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成について、調理のよさを話し合い、安全を考えて実習する学習活動が『クッキング はじめの一歩』などに設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、導入と終末に自分の考えを記入する学習活動が『暖かい住まい方で快適に』などに設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 生活を見つめ、できることを増やしていこう全11編、工夫して生活に生かそう全9編で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《家庭(家庭)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して習得する学習活動や、実習後の振り返りが『できたかな?』に設定されている。また、安全や環境を考えた実習の手順を示した学習活動が『手洗いで洗濯しよう』に設定されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、学習の導入で「知識・技能」の学習のめあてを示し、実習や実践を通して習得する学習活動や、調理や製作の手順や技能の振り返りが『できたかな』に設定されている。また、汚れに合ったそうじの仕方を考える学習活動が『クリーン作戦で快適に』に設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分の生活を見つめて課題を発見する学習活動が『見つめよう』に設定されている。また、実習の振り返りや話し合いを通して生活を工夫し改善する学習活動が『話し合おう』『深めよう』に設定されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『なぜ～するのだろう』の問いかけではじまる学習活動が『気づく・見つける』に設定されている。また、実践や調査から分かったことを発表し合って、自分の考えを深める学習活動が『生かす・深める』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを生かして家庭で挑戦したいことを記録する『成長の記録』や、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が『生活を変えるチャンス!』に設定されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、2年間の学習の見通しを示した『学んで変わるよ わたしたち』や、学んだことを長期休業中や学校行事で実践する学習活動が『生活の課題と実せん例』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、幼児や高齢者など自分と異なる世代や立場の人との関わり方を考える学習活動が『私から地域につなげよう! 広げよう!』に設定されている。また、地域や家族の一員として自分ができることを発信する学習活動が『よりよい生活、持続可能な社会を目指して』に設定されている。
開隆堂	[思いやる力]の「共生」について、地域の一員として自分にできることを考え、地域の人々と協力して助け合う学習活動が『地域かかわりプロジェクト』に設定されている。また、家族や周囲の人とのつながりを考え、交流を実践する学習活動が『いっしょに「ほっとタイム」』に設定されている。
⑤ 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「消費者教育」について、こづかいの計画的な使い方、買い物の手順、環境への影響を考えた品物の選び方などを考える学習活動が『持続可能な社会へ 物やお金の使い方』『材料を準備し、調理しよう』に設定されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「消費者教育」について、消費者の立場として考える場面が『消費』マークで掲載されている。また、計画的な買い物の仕方、買い物の流れ、買い物で困ったときの対応などを考える学習活動が『生活を支える物やお金』に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域を調べて地域をよりよくする工夫を考え、自分にできることを発信する学習活動が『あなたは家庭や地域の宝物』に設定されている。また、地域の活動を支える方の話が『もっとかがやくこれからの私たち』に掲載されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域との関わりを見つめ、防災訓練、夏祭りなどの地域行事に参加する学習活動が『共に生きる地域での生活』に設定されている。また、災害前の準備や災害後に地域でできることを取り上げた『家庭や地域の安全・防災』が掲載されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、ワークシートの実践例や、周りの人と意見を交流し、評価・改善していく学習活動『活動 深めよう』が『夏をすずしく さわやかに』『冬の生活を工夫しよう』に設定されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、自分の考えを記述し、実践や調査から分かったことや解決方法を話し合う学習活動が『整理・整頓で快適に』『持続可能な社会のために』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する内容に『リンク』マークが示され、社会科、理科との関連が『食べて元気! ご飯とみそ汁』に掲載されている。外国語科と関連して、家庭科に關係のある英単語とその意味がイラストとともに掲載されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する内容に『関連』マークが示され、体育科、算数科、道徳等との関連が『食べて元気に』に掲載されている。体育科(保健)と関連して、家庭や地域の安全・防災を取り上げた『家庭や地域の安全・防災』が掲載されている。
○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。	
⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、話し合いのポイントやワークシートの記載例を示した学習活動が『物を生かして住みやすく』『見つめてみよう 生活時間』に設定されている。また、内容に関連する言葉の説明を示した『メモ』が掲載されている。
開隆堂	言語能力の育成について、解決方法や実践、調査から分かったことを発表し合う学習活動が『衣服の手入れで快適に』『すずしい住まい方で快適に』に設定されている。また、学習に関連する用語の解説や知識を示した『豆知識』が掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、学習と関連する伝統文化が『日本の伝統』マークで示され、茶道具、伝統的な地域の料理、地域の汁物、日本でぬぐい、「もったいない」、季節の音、衣替えなどが掲載されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、暮らしの中の伝統文化が『伝統』マークで示され、一汁三菜、だし、地域のおやつ、伝統食、ふるしき、風鈴、伝統建築などが掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、学校で学んだことを工夫して家庭実践に生かす学習活動が『夏休みわくわくチャレンジ!』『トライカード』に設定されている。また、実践や調査の手順やポイントを示した『やってみよう』『調べよう』の学習活動が『ミシンにトライ! 手作り楽しい生活』に設定されている。
開隆堂	体験活動の充実について、自分の生活や実践を見つめ直し、継続して家庭実践に取り組む学習活動が『できるよ 家庭の仕事』『生活時間をマネジメント』に設定されている。また、実習の手順を見開きで示した学習活動が『ゆでて食べよう』『針と糸で縫ってみよう』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、中学校技術・家庭科の学習内容と関連のある内容を示す『リンク』マークが掲載されている。また、中学校技術・家庭科「技術分野」との関連が『くらしの中のプログラミング』に掲載されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境の学習と中学校技術・家庭科「家庭分野」のつながりが『2年間の学習を中学校につなげよう』『学んで変わるよ わたしたち』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った安全な品物の選び方を考える学習活動が『買い物について考えよう』『上手な選び方』『材料を準備し、調理しよう』に設定されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、商品を選ぶために必要な情報を集め、環境に配慮した選び方を考える学習活動が『買い物をするとき大切にすることは何だろう』『買い物をしてみよう』『自分だけの買い物ルールをつくろう』に設定されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さに応じた工夫について、学習の導入に学習の流れを3つのステップで示し、どの学習でも同じ3つのステップの流れが掲載されている。巻末には、調理実習や製作実習の技能を写真、イラスト、解説で示した『いつも確かめよう』が掲載されている。
開隆堂	児童の学習上の困難さに応じた工夫について、学習の導入に、学習の見通しを示す『学習のめあて』が掲載されている。また、調理実習や製作実習の技能を写真や材料の切り方を実物大で示した『実習に役立つワンポイント』が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ひと針に心をこめて』『まかせてね 今日の食事』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
開隆堂	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習動画が、『食べて元気に』『ソーイングで生活を豊かに』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 生活の営みに係る見方・考え方を働かせた学習となるよう、題材に工夫や配慮がなされているか。	
東書	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見つめる視点を示す『家庭科の窓』が掲載されている。また、見方・考え方を働かせて取り組む『生活を変えるチャンス!』が掲載されている。
開隆堂	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で課題を見つける視点を示す『生活の見方・考え方 4つの視点』が掲載されている。また、見方・考え方を示した活動場面が『整理・整とんで快適に』に掲載されている。
⑰ 日常生活に必要な基礎的な知識及び技能の習得を図るために、実践的・体験的な活動を題材として取り上げるなど工夫や配慮がなされているか。	
東書	実践的・体験的な活動を通した「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成について、団らんや生活時間の工夫を話し合い、計画を立てて実践する学習活動が『気持ちにつながる家族の時間』『見つけてみよう生活時間』に設定されている。
開隆堂	実践的・体験的な活動を通した「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成について、調理やミシン縫いのよさを話し合い、安全を考えて実習する学習活動が『クッキング はじめの一步』『ミシンで楽しくソーイング』に設定されている。
⑱ 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決していく題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、夏や冬を快適に過ごす工夫を話し合い、考える学習活動が『夏をすずしくさわやかに』『冬を明るく暖かく』が設定されている。
開隆堂	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、学習の導入と終末に住まい方についての自分の考えを記入する学習活動が『暖かい住まい方で快適に』『すずしい住まい方で快適に』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	5年生全8編、6年生全7編で構成されている。
開隆堂	生活を見つめ、できることを増やそう 全11編 工夫して生活に生かそう全9編で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。
開隆堂	判型はA4判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
開隆堂	『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	115ページ『けんちん汁』
開隆堂	125ページ『横浜の子どもが作る弁当コンクール』（神奈川県） 138ページ『子どもたちの居場所づくり』（川崎市フリースペースたまりば） 139ページ『スポーツと食事、栄養バランスの大切さ』サッカーコーチ（横浜市）

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)										
発行者名	総冊数	1年上	1年下	2年上	2年下	3年上	3年下	4年上	4年下	5・6年
東書	1									236
開隆堂	1									360

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《体育(保健)》

※詳細については、資料Ⅱ(保健-7～保健-15)を参照

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい保健
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、習得する事項が太字で記載され、学習のまとめごとに、学習内容を確認する学習活動が『まとめる・生かす』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料を見て考えたことを説明する学習活動が『調べる・解決する』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容をどのように生活に生かすか自分の考えを記入する学習活動が『まとめる・生かす』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、イラストや写真で、性別や国籍、車椅子使用者などのキャラクターが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「健康教育」について、手の洗い方や洗い残しがあるところを写真やイラストで示した『手のあらい方』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、薬剤師、警察官などを取り上げた『地域の健康や安全を守る活動に取り組む人々』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとに、生活を振り返り改善する学習活動が『深める・伝える』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、『つなげよう』のマークを使用して、社会科、算数科、理科、家庭科、道徳科などの関連する各教科等の学習内容について掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、生活や経験を振り返って課題を見つけるための発問と考えを記述する学習活動が『気づく・見つける』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、身近な運動の例として『雪合戦』のイラストを取り上げた『よりよく成長するための生活』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、不安や悩みに対処するための呼吸法や運動の行い方について取り上げた『体を動かして心を静めよう』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、医薬品の用法や用量など、中学校の学習につながる内容について取り上げた『医薬品の使い方』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、コンピュータを使用する際の注意点について取り上げた『けんこうによいかんきょう』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習の流れが『気づく・見つける』などの4つのステップで掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『身長のびのびシート』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が身近な生活における学習課題を見つけることについて、学校施設の写真から、身の回りに潜む危険を予測する学習活動が『けがの防止』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、市民マラソンなどの写真を取り上げた『学校や地いきでの取り組みの例』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 第3・4学年2章『けんこうな生活』『体の成長とわたし』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 体育(保健) ≫

※詳細については、資料 II (保健-7～保健-15)を参照

発行者の略称	大日本	書名	新版 たのしい保健
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習のまとめごとに、学習内容を振り返る学習活動が『まとめる』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料を見て考えたことを説明する学習活動が『話し合おう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを生活へつなげていくために自分の考えを記述する学習活動が『活かそう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、健康で安全に暮らすための地域での取組の例として、ヘルプマークや点字ブロック、マタニティマークの写真が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「健康教育」について、年齢と共に体が発育していくことを示す、手のレントゲン写真を取り上げた『ほねの発育』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、身近な運動の例として、家の手伝いを取り上げた『いろいろな運動』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をどのようにこれからの生活に活かしていくのか考えを記述する学習活動が『活かそう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他の教科とのつながりを示すマークを使用して、国語科、社会科、理科、生活科、家庭科などの関連する各教科等の学習内容について掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語活動の育成について、資料を見て自分の考えを説明し、友達の考えを聞く学習活動が『話し合おう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の子どもの成長をお祝いする行事として、お食い初めのイラストを取り上げた『成長を祝う行事』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、心や体がリラックスできるような呼吸法について取り上げた『実習 こきゅう法』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、がんの予防やたばこの煙の害など、中学校の学習につながる内容について取り上げた『もっと知りたい!』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報機器の使用方法について取り上げた『パソコンやスマートフォンを正しく使って健康な生活を送ろう!』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、『書く・つたえる・聞く・調べる』のマークが示された『学習を行うためのヒント』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『手の汚れの実験』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が身近な生活における学習課題を見つけることについて、器具や設備の点検の写真から、けがを防ぐための取組を考える学習活動が『けがを防ぐ安全な環境づくり』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、健康づくりのロゴマークの写真を取り上げた『みんなが健康に生活するために』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 第3・4学年2章『けんこうな生活』『体の発育・発達』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 体育(保健) ≫

※詳細については、資料 II (保健-7～保健-15)を参照

発行者の略称	大修館	書名	新 小学校保健
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、習得する事項が太字で記載され、学習内容を振り返る学習活動が『学習をふり返ってみよう』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、日常の生活から課題を見つけ、考えたことを説明する学習活動が『課題をつかもう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容を振り返り、生活にどのように生かすかを考える学習活動が『学習をふり返ってみよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、扉のページに、パラリンピックのブラインドマラソンの写真と学習内容に関連するインタビューが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「健康教育」について、喫煙をするとインフルエンザにかかりやすくなることをグラフで示した『1日の喫煙本数とインフルエンザの危険性』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、生活の中の運動の例として、そうじ、買い物を取り上げた『体を動かすチャンスはいっぱい』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとに自分の考えを記述する学習活動が『まとめ 生かそう伝えよう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他の教科とのつながりを示すマークを使用して、社会科、算数科、理科、生活科、家庭科などの関連する各教科等の学習内容について掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、イラストや写真を見て、お互いに考えたことを交流し合う学習活動が『話し合おう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、栄養バランスのよい食事の例として一汁三菜の朝食のイラストを取り上げた『生活習慣病の予防』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、筋肉をほぐす運動や体の力をぬく運動などについて取り上げた『不安やなやみへの対処』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、病気やけがを治す目的以外で医薬品を使うことの危険性など、中学校の学習につながる内容について取り上げた『薬物乱用の害』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、インターネット上の書き込みについて取り上げた『仲間とのよりよい関係づくりのために』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、児童が見通しをもって学習を進めるため、学習内容が『話し合おう』などの3つのステップで掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ほけんクイズにトライ!』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が身近な生活における学習課題を見つけることについて、照度の異なる教室の写真から、明るさを調節することの理由を考える学習活動が『部屋の明るさとけんこう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、毎日の運動の効果を取り上げた『よりよい成長のために』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 第3・4学年2章『けんこうな生活』『体の成長』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名《体育(保健)》

※詳細については、資料Ⅱ(保健-7～保健-15)を参照

発行者の略称	文教社	書名	新わたしたちの保健
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、習得する事項が太字で記載され、学習のまとめごとに、学習内容を振り返る学習活動が『学習のまとめ』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料をもとに調べ、考える学習活動が『Stage②』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを自分の生活にどのように生かすかを考える学習活動が『もう一歩先へ』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、個性を大切にしながらお互いを認め合うというSDGsのマーク『ジェンダー平等を実現しよう』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「健康教育」について、手の洗い方の手順や注意点を示した『手のあらい方』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、養護教諭や学校医、学校薬剤師の仕事について取り上げた『学校で行われている保健活動』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとにこれから取り組みたいことを記述する学習活動が『もう一歩先の自分へ』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、本文と関連する豆知識や児童へのメッセージを伝えるマークが、他学年の保健の学習内容について掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、生活や経験を振り返り、課題を見つけるための考えを記述する学習活動が『stage①』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、個性を大切にしたい趣味の例として『華道』のイラストを取り上げた『その人らしさを大切に』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、不安や悩みに対処するための呼吸法やストレッチの行い方を取り上げた『いろいろな対処方法の実習』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、医薬品の用法・容量など中学校の学習につながる内容について取り上げた『薬物乱用の害と健康』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、スマートフォンの使い方を取り上げた『てきせつな休養・すいみんをとるために大切なこと』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、教科書のマークや項目に関する凡例を示した『教科書の使い方』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『手のあらい方』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が身近な生活における学習課題を見つけることについて、イラストから、換気をする意味について考える学習活動が『けんこうによい生活かんきょう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、友達や地域の人など様々な人と接することで心が発達することなどを取り上げた『心の発達』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 第3・4学年2章『毎日の生活とけんこう』『体の発育・発達』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 体育 (保健) ≫

※詳細については、資料 II (保健-7 ~ 保健-15) を参照

発行者の略称	光文	書名	小学保健
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、習得する事項が太字で記載され、学習内容を振り返る学習活動が『学習のまとめ』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料を見て考え、話し合う学習活動が『話し合おう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自分の生活に生かしたい学習内容を選び、選んだ理由を記入する学習活動が『学習のまとめ』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 『思いやる力』の「共生」について、性別や国籍、車椅子使用者など様々な生活の様子を取り上げたイラストが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 『たくましく生きる力』の「健康教育」について、体育の時間以外に、普段の生活の中で取り組める運動について取り上げた『これも運動!』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 『社会とかかわる力』の「働くことの大切さ」について、予防接種や健康教室を取り上げた『保健所や保健センターの活動』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとに考えたことを記述する学習活動が『学んだことを生かそう』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他の教科とのつながりを示すマークを使用して、社会科、理科、家庭科、道徳科など関連する各教科等の学習内容について掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、資料を見て考えたことや理由を記述し、話し合う学習活動が『話し合おう』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な遊びの『おしくらまんじゅう』のイラストが取り上げられた『体を動かそう』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、緊張をやわらげるための腹式呼吸と胸式呼吸について取り上げた『深呼吸のしかた』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、心肺蘇生とAEDの使い方など中学校の学習内容につながる内容について取り上げた『さらに広げよう深めよう』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、スマートフォンの使い方について取り上げた『スマートフォンなどの使い方と生活のリズム』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、5つのステップの学習の進め方が示された『学習の進め方を知ろう』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『生活習慣病①』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2~5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が身近な生活における学習課題を見つけることについて、点字ブロックの写真から、けがの防止について考える学習活動が『危険を防ぐための工夫』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、作家やスポーツ選手への健康的な生活に関するインタビューが『わたしと健康』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 第3・4学年2章『けんこうな生活』『体の発育と健康』、第5・6学年4章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防1』『病気の予防2』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 体育(保健) ≫

※詳細については、資料 II (保健-7～保健-15)を参照

発行者の略称	学研	書名	新・みんなの保健
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、習得する事項の用語が太字で記載され、学習内容を振り返る学習活動が『ふり返る・伝える・つなぐ』に設定されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、話し合い、説明し、課題の解決に取り組む学習活動が『2話し合う』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容や理解度を自己評価する学習活動が『ふり返る・伝える・つなぐ』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」の「共生」について、見開きのページに、パラスポーツやその選手の写真、子ども達へのメッセージが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「健康教育」について、正しい手の洗い方の手順や、きちんと洗えているか確かめる方法について取り上げた『ほけんのはこ』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、学校で健康を守るための活動について取り上げた『みんなの健康を守るための活動』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識を生活にどのように生かすか自分の考えを記述する学習活動が『学びを生かす』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、他の教科とのつながりを示すマークを使用して、社会科、理科、家庭科、道徳科など関連する各教科等の学習内容について掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、課題を見つけるために、生活を振り返り、資料を見て考えたことを記述する学習活動が『資料を読み取る』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、『スペイン風邪』が流行した時に日本人がマスクを着用していたことを取り上げた『世界で流行した感染症の歴史』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、教室でもできる体ほぐしの運動の行い方の例について取り上げた『体がリラックスすると、心もリラックスする』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、睡眠の大切さなど、中学校での学習内容につながる内容について取り上げた『なぜ、すいみんは大切な？』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、スマートフォンやインターネットを使用する上での注意点について取り上げた『安全な生活のために』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、自分で取り組む課題と、他者と関わりあって取り組む課題、学習活動の活用の3つのステップの学習の進め方が示された『学習の進め方』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『身の回りのかんきょう』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 児童が身近な生活における学習課題を見つけることについて、異なる高さの手すりの写真から、事故を防ぐ工夫を考える学習活動が『事故やけがを防ぐユニバーサルデザイン』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、自分の生活を振り返るための生活記録チェックカードが『1日の生活のしかた』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 第3・4学年2章『健康な生活』『体の発育・健康』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《体育(保健)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、習得する事項が太字で記載され、学習のまとめりに、学習内容を確認する学習活動が『まとめる・生かす』に設定されている。また、咳やくしゃみのしぶきが周囲に飛び散るのを防ぐための『マスクのつけ方』が掲載されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、学習のまとめりに、学習内容を振り返る学習活動が『まとめる』に設定されている。また、けがの種類や程度を判断し、適切に手当ををするための方法について取り上げた『けがの手当をしよう』が掲載されている。
大修館	「知識・技能」の習得について、習得する事項が太字で記載され、学習内容を振り返る学習活動が『学習をふり返ってみよう』に設定されている。また、簡単な手当の仕方について取り上げた『いろいろなけがの手当』が掲載されている。
文教社	「知識・技能」の習得について、習得する事項が太字で記載され、学習のまとめりに、学習内容を振り返る学習活動が『学習のまとめ』に設定されている。また、場所や時間を気にせずに取り組めるストレッチについて取り上げた『手軽に体をほぐしてみよう』が掲載されている。
光文	「知識・技能」の習得について、習得する事項が太字で記載され、学習内容を振り返る学習活動が『学習のまとめ』に設定されている。また、手当の仕方の原則について取り上げた『けがの手当』が掲載されている。
学研	「知識・技能」の習得について、習得する事項の用語が太字で記載され、学習内容を振り返る学習活動が『ふり返る・伝える・つなぐ』に設定されている。また、簡単なけがの手当についての実習について取り上げた『けがの手当』が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料を見て考えたことを説明する学習活動が『調べる・解決する』に設定されている。また、自分の生活に学びを生かす学習活動が『深める・伝える』に設定されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料を見て考えたことを説明する学習活動が『話し合おう』に設定されている。また、書く、伝えるなど、自分の考えを表現するための方法を確認する学習活動が『活動を行うときのヒント』に設定されている。
大修館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、日常の生活から課題を見つけ、考えたことを説明する学習活動が『課題をつかもう』に設定されている。また、資料を見て考えたことを記述する学習活動が『考えよう』に設定されている。
文教社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料をもとに調べ、考える学習活動が『Stage②』に設定されている。また、学習したことを自分の生活にどのように生かすか自分の考えを記述する学習活動が『もう1歩先の自分へ』に設定されている。
光文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料を見て考え、話し合う学習活動が『話し合おう』に設定されている。また、学習したことを自分の生活にどのように生かすか自分の考えを記述する学習活動が『生かそう』に設定されている。
学研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、話し合い、説明し、課題の解決に取り組む学習活動が『2話し合う』に設定されている。また、学習したことを自分の生活にどのように生かすか自分の考えを記述する学習活動が『3学びを生かす』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習内容をどのように生活に生かすか自分の考えを記入する学習活動が『まとめる・生かす』に設定されている。また、学習内容を生かして伝え合う活動を取り上げた発問が掲載されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを生活へつなげていくために自分の考えを記述する学習活動が『活かそう』に設定されている。また、各章ごとの扉のページに学習全体の流れとそれに関連した学習ゲームが掲載されている。
大修館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各章末に、学習内容を振り返り、生活にどのように生かすかを考える学習活動が『学習をふり返ってみよう』に設定されている。また、学習内容に関連するスポーツ選手などのインタビュー内容が掲載されている。
文教社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを自分の生活にどのように生かすかを考える学習活動が『もう一歩先へ』に設定されている。また、各章末ごとに、学習内容をもとにこれからの自分の課題を記述する欄が掲載されている。
光文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各章末に、自分の生活に生かしたい学習内容を選び、選んだ理由を記入する学習活動が『学習のまとめ』に設定されている。また、各章の初めには、課題を見つけるための学習内容に関連した漫画が掲載されている。
学研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各章末に、学習内容や理解度を自己評価する学習活動が『ふり返る・伝える・つなぐ』に設定されている。また、毎時間ごとに学習内容を生活にどのように生かすか記述する欄が掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、イラストや写真で、性別や国籍、車椅子利用者などのキャラクターが掲載されている。また、誰もが安全に暮らしやすいように工夫されたデザインについて取り上げた『ユニバーサルデザインをさがそう』が掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「共生」について、健康で安全に暮らすための地域での取組の例として、ヘルプマークや点字ブロック、マタニティマークの写りが掲載されている。また、差別をせず病気を正しく理解することについて取り上げた『いろいろな病気と病原体』が掲載されている。
大修館	[思いやる力]の「共生」について、扉のページに、パラリンピックのブラインドマラソンの写真と学習内容に関連するインタビューが掲載されている。また、相手を大切にす言葉を取り上げた『よりよい関係を築く言葉』が掲載されている。
文教社	[思いやる力]の「共生」について、個性を大切にしながらお互いを認め合うという、SDGsのマーク『ジェンダー平等を実現しよう』が掲載されている。また、周囲への思いやりのある言動について取り上げた『心がよりよく発達しているか考えよう』が掲載されている。
光文	[思いやる力]の「共生」について、性別や国籍、車椅子利用者など様々な生活の様子を取り上げたイラストが掲載されている。また、学習内容とSDGsの目標とのつながりについて取り上げた『SDGsってなんだろう』が掲載されている。
学研	[思いやる力]の「共生」について、見開きのページに、パラスポーツやその選手の写真、子ども達へのメッセージが掲載されている。また、体の性と心の性のちがいが、相談窓口の例について取り上げた『性についての心の多様性』が掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、手の洗い方や洗い残しがあるところを写真やイラストで示した『手のあらい方』が掲載されている。また、ニコチンやタールなどのタバコの害について示された『タバコの主な有害物質』が掲載されている。
大日本	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、年齢と共に体が発育していくことを示す、手のレントゲン写真を取り上げた『ほねの発育』が掲載されている。また、生活リズムや衛生についてチェックし、自分の生活を振り返る表が掲載されている。
大修館	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、喫煙をするとインフルエンザにかかりやすくなることをグラフで示した『1日の喫煙本数とインフルエンザの危険性』が掲載されている。また、インターネットやゲーム依存などの課題に触れ、対応について掲載されている。
文教社	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、手の洗い方の手順や注意点を示した『手のあらい方』が掲載されている。また、受動喫煙対策や薬物乱用の罰則について世界の国々の対応の違いを比較した『もっと考えよう課』が掲載されている。
光文	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、体育の時間以外に、普段の生活の中で取り組める運動について取り上げた『これも運動!』が掲載されている。また、ゲーム行動症について取り上げた『インターネットと依存症』が掲載されている。
学研	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、正しい手の洗い方の手順や、きちんと洗えているか確かめる方法について取り上げた『ほけんのはこ』が掲載されている。また、喫煙の断り方について取り上げた『喫煙や飲酒などをすすめられたときの断り方』が掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、薬剤師、警察官などを取り上げた『地域の健康や安全を守る活動に取り組む人々』が掲載されている。また、養護教諭や保健委員会の活動など、健康を守るために学校で行われている活動を取り上げた写真が掲載されている。
大日本	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、身近な運動の例として、家の手伝いを取り上げた『いろいろな運動』が掲載されている。また、保健センターや浄水場など、人々の健康を守るための活動を取り上げた『さまざまな保健活動』が掲載されている。
大修館	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、生活の中の運動の例として、そうじ、買い物を取り上げた『体を動かすチャンスはいっぱい』が掲載されている。また、がん検診や健康相談会などの写真を取り上げた『地域の保健活動の取り組み』が掲載されている。
文教社	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、養護教諭や学校医、学校薬剤師の仕事について取り上げた『学校で行われている保健活動』が掲載されている。また、病院、検疫所、リハビリ施設の機能を取り上げた『地域のさまざまな保健活動』が掲載されている。
光文	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、予防接種や健康教室を取り上げた『保健所や保健センターの活動』が掲載されている。また、料理の手伝いや育児に取り組む人物のイラストが『けんこうって、なに?』に掲載されている。
学研	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学校で健康を守るための活動について取り上げた『みんなの健康を守るための活動』が掲載されている。また、地域の保健活動に関わる職業を取り上げた『地域のさまざまな保健活動』が掲載されている。

3 内容と構成

○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとに、生活を振り返り改善する学習活動が『深める・伝える』に設定されている。また、学習課題を見付けるための写真やイラストが掲載されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をどのようにこれからの生活に活かしていくのか考えを記述する学習活動が『活かそう』に設定されている。また、他者に説明し話し合うための発問が掲載されている。
大修館	主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとに自分の考えを記述する学習活動が『まとめ生かそう伝えよう』に設定されている。また、学習内容に関連する事柄について取り上げた『もっと学びを広げよう！深めよう！』が掲載されている。
文教社	主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとにこれから取り組みたいことを記述する学習活動が『もう一步先の自分へ』に設定されている。また、健康に過ごすための自分の考えを記述する欄である『わたしの〇〇宣言』が掲載されている。
光文	主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとに考えたことを記述する学習活動が『学んだことを生かそう』に設定されている。また、学習内容に関連する事柄について取り上げた『さらに広げよう深めよう』が掲載されている。
学研	主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識を生活にどのように生かすか自分の考えを記述する学習活動が『学びを生かす』に設定されている。また、学習内容に関連する事柄について取り上げた『ほけんのはこ』が掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、『つなげよう』のマークを使用して、社会科、算数科、理科、家庭科、道徳科などの関連する各教科等の学習内容について掲載されている。また、社会科の学習と関連する地域の人材を活用した取組が『地域の保健活動』に掲載されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、他の教科とのつながりを示すマークを使用して、国語科、社会科、理科、生活科、家庭科などの関連する各教科等の学習内容について掲載されている。また、中学校の保健体育の学習内容と関連していることを示すマークが掲載されている。
大修館	カリキュラム・マネジメントについて、他の教科とのつながりを示すマークを使用して、社会科、算数科、理科、生活科、家庭科などの関連する各教科等の学習内容について掲載されている。また、地域の人材を活用した取組例が『安全のための取り組み』に掲載されている。
文教社	カリキュラム・マネジメントについて、本文と関連する豆知識や児童へのメッセージを伝えるマークが、他学年の保健の学習内容について掲載されている。また、他学年で学習した心の発達を振り返るための一文が『病気の起こり方』に掲載されている。
光文	カリキュラム・マネジメントについて、他の教科とのつながりを示すマークを使用して、社会科、理科、家庭科、道徳科など関連する各教科等の学習内容について掲載されている。また、体ほぐしの運動との関連を示した『不安やなやみなどへの対処』が掲載されている。
学研	カリキュラム・マネジメントについて、他の教科とのつながりを示すマークを使用して、社会科、理科、家庭科、道徳科など関連する各教科等の学習内容について掲載されている。また、中学校の保健の学習内容について示した『ほけんのはこ』が掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、生活や経験を振り返って課題を見つけるための発問と考えを記述する学習活動が『気づく・見つける』に設定されている。また、犯罪被害が起こりやすい理由を書き込む学習活動が『犯罪被害の防止』に設定されている。
大日本	言語活動の育成について、資料を見て自分の考えを説明し、友達の考えを聞く学習活動が『話し合おう』に設定されている。また、地震が起こった時、どのように行動すべきかを話し合う学習活動が『自然災害から身を守る』に設定されている。
大修館	言語能力の育成について、イラストや写真を見て、お互いに考えたことを交流し合う学習活動が『話し合おう』に設定されている。また、インフルエンザなどの感染症を予防するための方法について話し合う学習活動が『感染症の予防』に設定されている。
文教社	言語能力の育成について、生活や経験を振り返り、課題を見つけるための考えを記述する学習活動が『stage①』に設定されている。また、SNSのトラブルについて話し合う学習活動が『地域での安全』に設定されている。
光文	言語能力の育成について、資料を見て考えたことや理由を記述し、話し合う学習活動が『話し合おう』に設定されている。また、危険予測をして、安全な行動のしかたを話し合う学習活動が『犯罪被害の防止』に設定されている。
学研	言語能力の育成について、課題を見つけるために、生活を振り返り、資料を見て考えたことを記述する学習活動が『資料を読み取る』に設定されている。また、喫煙を勧められた時にどのように断るか、考えを記述する学習活動が『薬物乱用の害』に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、身近な運動の例として『雪合戦』のイラストを取り上げた『よりよく成長するための生活』が掲載されている。また、見開きのページには七夕やマラソンなどの写真が掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の子どもの成長をお祝いする行事として、お食い初めのイラストを取り上げた『成長を祝う行事』が掲載されている。また、健康な生活の例として、日本人オリンピック選手の生活が掲載されている。
大修館	伝統や文化に関する教育の充実について、栄養バランスのよい食事の例として一汁三菜の朝食のイラストを取り上げた『生活習慣病の予防』が掲載されている。また、けがの防止に関連した日本人オリンピック選手の言葉が掲載されている。
文教社	伝統や文化に関する教育の充実について、個性を大切にしたい趣味の例として『華道』のイラストを取り上げた『その人らしさを大切に』が掲載されている。また、学習内容に関連した日本人オリンピック選手の言葉が掲載されている。
光文	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な遊びの『おしくらまんじゅう』のイラストが取り上げられた『体を動かそう』が掲載されている。また、保健の学習を始める子ども達へ、日本人アスリートや音楽家からの言葉が掲載されている。
学研	伝統や文化に関する教育の充実について、『スペイン風邪』が流行した時に日本人がマスクを着用していたことを取り上げた『世界で流行した感染症の歴史』が掲載されている。また、保健の学習を始める子ども達へ、日本人オリンピック選手の写真が掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、不安や悩みに対処するための呼吸法や運動の行い方について取り上げた『体を動かして心を静めよう』が掲載されている。また、学校内で事故が起こりそうな場所を撮影する学習について取り上げた『けがの防止』が掲載されている。
大日本	体験活動の充実について、心や体がリラックスできるような呼吸法について取り上げた『実習 こきゅう法』が掲載されている。また、胸骨圧迫の方法やAED、公衆電話を使用した救急への通報の手順について取り上げた『人がたおれていたら』が掲載されている。
大修館	体験活動の充実について、筋肉をほぐす運動や体の力をぬく運動などについて取り上げた『不安やなやみへの対処』が掲載されている。また、熱中症時の手当の仕方やAEDの使用法について取り上げた『熱中症の予防と手当』が掲載されている。
文教社	体験活動の充実について、不安や悩みに対処するための呼吸法やストレッチの行い方を取り上げた『いろいろな対処方法の実習』が掲載されている。また、相手の気持ちを考えて行動するための例として、アイマスクや車椅子体験が掲載されている。
光文	体験活動の充実について、緊張をやわらげるための腹式呼吸と胸式呼吸の行い方について取り上げた『深呼吸のしかた』が掲載されている。また、自分も相手も大切にできる表現や伝え方について取り上げた『気持ちを大切にしたいコミュニケーション』が掲載されている。
学研	体験活動の充実について、教室でもできる体ほぐしの運動の行い方の例について取り上げた『体がリラックスすると、心もリラックスする』が掲載されている。また、タブレットを使う時の注意点について取り上げた『身の回りのかんきょう』が掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、医薬品の用法、用量を守って正しく使うことの大切さや、副作用の出ない医薬品の使い方など、中学校の学習につながる内容について取り上げた『医薬品の使い方』が掲載されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、がんの予防やたばこの煙の害など中学校の学習につながる内容について取り上げた『もっと知りたい!』が掲載されている。また、成長ホルモンなど中学校の学習につながる内容について取り上げた『よりよく成長するための生活』が掲載されている。
大修館	学校段階間の円滑な接続について、病気やけがを治す目的以外で医薬品を使うことの危険性や、薬物乱用による症状や問題行動、薬物乱用が与える心への深刻な害など、中学校の学習につながる内容について取り上げた『薬物乱用の害』が掲載されている。
文教社	学校段階間の円滑な接続について、医薬品の用法・容量を守って正しく使うことの大切さや、薬物乱用が人体に及ぼす影響など中学校の学習につながる内容について取り上げた『薬物乱用の害と健康』が掲載されている。
光文	学校段階間の円滑な接続について、心肺蘇生とAEDの使い方など中学校の学習内容につながる内容について取り上げた『さらに広げよう深めよう』が掲載されている。また、スポーツ障害など中学校での学習内容につながる内容について取り上げた『よりよい発育のために』が掲載されている。
学研	学校段階間の円滑な接続について、睡眠の大切さなど、中学校での学習内容につながる内容について取り上げた『なぜ、すいみんは大切な?』が掲載されている。また、用法と用量など薬品を使用する際の注意点について取り上げた『医薬品の正しい使い方』が掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、コンピュータを使用する際の注意点について取り上げた『けんこうによいかんきょう』が掲載されている。また、コミュニティサイトに潜む危険について取り上げた『インターネットによる犯罪被害』が掲載されている。
大日本	情報活用能力の育成について、情報機器の使用方法について取り上げた『パソコンやスマートフォンを正しく使って健康な生活を送ろう!』が掲載されている。また、個人情報の扱いについて取り上げた『インターネットと犯罪被害』が掲載されている。
大修館	情報活用能力の育成について、インターネット上の書き込みについて取り上げた『仲間とのよりよい関係づくりのために』が掲載されている。また、インターネットを使う際の注意点について取り上げた『インターネットによる犯罪被害を防ぐ』が掲載されている。
文教社	情報活用能力の育成について、スマートフォンの使い方を取り上げた『てきせつな休養・すいみんをとるために大切なこと』が掲載されている。また、SNSトラブルを取り上げた『もっと考えよう課』が掲載されている。
光文	情報活用能力の育成について、スマートフォンの使い方について取り上げた『スマートフォンなどの使い方と生活のリズム』が掲載されている。また、インターネットトラブルへの対応例について取り上げた『犯罪被害の防止で』が掲載されている。
学研	情報活用能力の育成について、スマートフォンやインターネットを使用する上での注意点について取り上げた『安全な生活のために』が掲載されている。また、インターネットでトラブルにならないための事例とその対応について取り上げた『犯罪から身を守る』が掲載されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、学習の流れが『気づく・見つける』『調べる・解決する』『深める・伝える』『まとめる・生かす』の4つステップで掲載されている。
大日本	児童の学習上の困難さへの対応について、『書く・つたえる・聞く・調べる』のマークが示された『学習を行うためのヒント』が掲載されている。また、ポイントを取り上げた写真やイラストが『生活習慣病の予防』に掲載されている。
大修館	児童の学習上の困難さへの対応について、児童が見通しをもって学習を進めるため、学習内容が『話し合おう』などの3つのステップで掲載されている。また、『話し合おう』『調べよう』など、課題を解決するための学習活動のマークが掲載されている。
文教社	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に、教科書のマークや項目に関する凡例を示した『教科書の使い方』が掲載されている。また、自分の考えを見つめるためのヒントがキャラクターからの吹き出しの中に掲載されている。
光文	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に、5つのステップの学習の進め方が示された『学習の進め方を知ろう』が掲載されている。また、課題を見つめるための発問がキャラクターからの吹き出しの中に掲載されている。
学研	児童の学習上の困難さへの対応について、自分で取り組む課題と、他者と関わりあって取り組む課題、学習活動の活用の3つのステップの学習の進め方が示された『学習の進め方』が掲載されている。また、各章末には学習の到達度を自己評価する項目が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『身長ぴのびシート』や学校内の危険を写真の中から探すページなどに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大日本	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、単元冒頭のページに『たのしい保健ウェブへ』が設けられ、『手の汚れの実験』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大修館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『呼吸法のやり方』や『空気の流れの実験』など『ほけんクイズにトライ!』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
文教社	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『手のあらい方』や『衣服の汚れ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『生活習慣病①』における『血液の流れ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学研	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『身の回りのかんきょう』『交通事故の防止』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 児童が健康や安全に関する原則や概念に着目できるよう、統計、調査等の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、児童の発達段階に即しているか。	
東書	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。(交通事故総合分析センター『交通統計』より(2020年調査)、など)
大日本	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。(交通事故総合分析センター『交通統計』2021年度、など)
大修館	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。(交通事故総合分析センター『交通統計令和2年版』による、2020年調査、など)
文教社	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。(『交通統計令和2年度』交通事故総合分析センター、など)
光文	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。(交通事故総合分析センター『交通統計令和2年版』より、など)
学研	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。(交通事故総合分析センターの資料による(2020年)、など)

⑰ 児童が身近な生活における学習課題を見付けることに役立つよう、イラスト、写真、事例等の資料に、工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童が身近な生活における学習課題を見付けることについて、学校施設の写真から、身の回りに潜む危険を予測する学習活動が『けがの防止』に設定されている。また、自分の生活習慣を振り返る学習活動が『生活習慣病の予防』に設定されている。
大日本	児童が身近な生活における学習課題を見付けることについて、器具や設備の点検の写真から、けがを防ぐための取組を考える学習活動が『けがを防ぐ安全な環境づくり』に設定されている。また、生活を振り返る学習活動が『1日の生活のしかた』に設定されている。
大修館	児童が身近な生活における学習課題を見付けることについて、照度の異なる教室の写真から、明るさを調節することの理由を考える学習活動が『部屋の明るさとけんこう』に設定されている。また、地域のイラストを見て事故の起こる理由を考える学習活動が設定されている。
文教社	児童が身近な生活における学習課題を見付けることについて、イラストから、換気をするものの意味について考える学習活動が『けんこうによい生活かんきょう』に設定されている。また、交通事故を防ぐために、どのような道路標識があるのか確認する学習活動が設定されている。
光文	児童が身近な生活における学習課題を見付けることについて、点字ブロックの写真から、けがの防止について考える学習活動が『危険を防ぐための工夫』に設定されている。また、イラストをもとに健康な生活について考える学習活動が設定されている。
学研	児童が身近な生活における学習課題を見付けることについて、異なる高さの手すりの写真から、事故を防ぐ工夫を考える学習活動が『事故やけがを防ぐユニバーサルデザイン』に設定されている。また、リズムある1日の生活の仕方を振り返る学習活動が設定されている。
⑱ 児童が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習内容に関連する健康情報等の資料に、工夫や配慮がなされているか。	
東書	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、市民マラソンやスポーツフェスティバル、健康づくりのために体操教室で運動をしている人の写真を取り上げた『学校や地いきでの取り組みの例』が掲載されている。
大日本	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、健康づくりのロゴマークやウォーキングコースの看板、たばこ対策のポスターの写真を取り上げた『みんなが健康に生活するために』が掲載されている。
大修館	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、骨や筋肉が太くなって丈夫になり、肺や心臓の働きが高まるなど、毎日の運動の効果を取り上げた『よりよい成長のために』が掲載されている。
文教社	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、友達や地域の人など様々な人と接することで心が発達することと、不安や悩みには様々な対処の方法があることを取り上げた『心の発達』が掲載されている。
光文	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、作家やスポーツ選手への健康的な生活に関するインタビューが『わたしと健康』に掲載されている。また、早寝早起き朝ごはんについて取り上げた『けんこうな1日の生活』が掲載されている。
学研	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、自分の生活を振り返るための生活記録チェックカードが『1日の生活のしかた』に掲載されている。また、日頃の生活の仕方と心臓病などの関係について取り上げた『生活習慣病の予防』が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	第3・4学年2章『けんこうな生活』『体の成長とわたし』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。
大日本	第3・4学年2章『けんこうな生活』『体の発育・発達』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。
大修館	第3・4学年2章『けんこうな生活』『体の成長』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。
文教社	第3・4学年2章『毎日の生活とけんこう』『体の発育・発達』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。
光文	第3・4学年2章『けんこうな生活』『体の発育と健康』、第5・6学年4章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防1』『病気の予防2』で構成されている。
学研	第3・4学年2章『健康な生活』『体の発育・健康』、第5・6学年3章『心の健康』『けがの防止』『病気の予防』で構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。
大日本	判型はA4判が採用されている。
大修館	判型はA4判が採用されている。
文教社	判型はA4判が採用されている。
光文	判型はA4判が採用されている。
学研	判型はA4判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大修館	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
文教社	『この教科書は、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
光文	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学研	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	3・4年 44ページ 『オリパラスポーツフェスティバル』（横浜市） 5・6年 74ページ 『役所のホームページ』（横浜市） 75ページ 『だれもが安全にスポーツを楽しめる施設の設定』（横浜市）
大日本	5・6年 6ページ 『ひなん所のかん板』（横浜市）
大修館	5・6年 1ページ 『喫煙の害』（小田原市） 33ページ 『スクールゾーン』（藤沢市） 53ページ 『専門家にインタビュー 予防接種とは？』（川崎市健康安全研究所 岡部信彦氏） 63ページ 『敷地内での禁煙』（藤沢市）
文教社	5・6年 55ページ 『アスリートからのメッセージ 体のていこう力を高めておくために』（2006～2009年 箱根駅伝出場 竹澤健介氏）
光文	3・4年 表紙裏 『わたしとけんこう ～ほけんを学ぶみなさんへ～』（横浜市出身 廣嶋玲子氏） 5・6年 17ページ 『特別インタビュー ～緊張や不安と向き合う～』（横浜市出身 廣嶋玲子氏） 25ページ 『川で遊ぶことを禁止する掲示板』（相模原市） 62ページ 『感染症対応』（海老名市）
学研	5・6年 10ページ 『ボランティア活動などの社会的な活動』（横浜市） 32ページ 『歩行者自転車道』（平塚市） 39ページ 『子ども（こども）110番の家』（藤沢市） 39ページ 『緊急通報装置』（川崎市） 81ページ 『インタビュー 地域の人々の健康を守る保健師』（横浜市 柳田麻衣子氏） 86ページ 『選べる制服（だれでも自由に着たい制服を選ぶことができる）』（神奈川県の中学校の例）

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)							
発行者名	総冊数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
東書	2			151		239	
大日本	2			189		267	
大修館	2			157		219	
文教社	2			156		312	
光文	2			135		195	
学研	2			152		254	

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	東書	書名	NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、単元の学習事項を聞き取る学習活動『Starting Out』から始まり、聞く活動を示した『Let's watch』などにつながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、複数の単元で学習したことを使って内容を整理しながら、自分の思いや考えを表現する学習活動が『Check your Steps』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習を振り返り、自己評価する学習活動が『Over the Horizonのふり返り』などに設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、アイヌ文化についての説明を聞いて、もっと知りたいことなどを考える学習活動が『Over the horizon』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、世界の食文化について考える学習活動が『At a restaurant』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の環境のためにできることを考え、発表する学習活動が『Save the animals.』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、グループで話し合いながら、思考ツールを用いて自分の伝えたい内容を整理するなどの学習活動が『Check Your Steps』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科などと関連して、都道府県や日本の魅力を伝える学習活動が『Welcome to Japan!』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、英語の文を声に出して読むなどの学習活動が『Sounds and Letters』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の魅力について、内容を整理して発表する学習活動が『Check Your Steps 3』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、観光案内CMをグループで作成発表する学習活動が『Welcome to Japan!』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学生になったらどんなことができるかを考える学習活動が『Going to Junior High School』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、小学校での思い出などを整理して今の自分の思いを発表する学習活動が『Check your steps 3』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、登場人物の会話の内容を吹き出し内にイラストで示した『My Daily Schedule』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Let's Try』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、世界の国について友達に聞き、自分の行きたい国を調べて文で表現し紹介する学習活動が『Let's see the world』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動での学習内容を振り返る学習活動が『Let's Start』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、世界の食事の方法の違いからその国の文化などについて考えるなどの学習活動が『Over the Horizon』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは見開き2ページの4つのパートで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『コミュニケーションカード』や、会話の動画、音声などを視聴する『Listen and Think アニメ』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	開隆堂	書名	Junior Sunshine Word Book
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各Lessonが映像を見る学習活動から始まり、自分のことを伝え合う学習活動を示した『Activity』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元の冒頭で、学習する語句や表現を聞き、推測して意味を考える学習活動が『Let's watch and think』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、単元で学習したことが身についたかを確認するために自己評価をする学習活動が『CAN-DOチェック』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、英語圏以外の国の人々や地域について考えるなどの学習活動が『Around the world』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、世界の国々の標識が何を表すのかを考える学習活動が『Our World』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、自分たちの「町のすてきなところ」について発表する学習活動が『I love my town.』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、お互いのことをよく知るために、グループでできることや得意なこと、その理由などを伝え合う学習活動が『Activity 2』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、世界遺産に関する話題から、「行きたい国クイズ」を作る学習活動が『Where do you want to go?』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、各Lessonで学習する英語に慣れ親しむ学習活動が『Let's Play』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、おすすめの日本の名物や行事などについて、ペアでくわしく話す学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自分たちの町の好きな施設や場所、名産品について発表する学習活動が『I love my town.』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、これまでの学習を振り返り、中学校での自己紹介を考える学習活動が『Let's Check③』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、身近な人のできることやできないことを紹介するために、聞き取った情報を整理して発表する学習活動が『I can draw pictures well.』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、様々な語彙が、ジャンルごとに『Word Book』の何ページに示されているかが掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Let's Watch and Think』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、誕生日や特別な日を友達に質問し、発表する学習活動が『When is your special day?』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動の学習内容を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『Let's Review!』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、おたがいの行きたい国についてわかってもらえるように「行きたい国クイズ」を考える学習活動が『Activity 3』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに8つのLessonで構成されている。各Lessonは見開き2ページの4つのパートで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で答えなどを書き込む『Let's Listen 2』や会話の動画、音声などを視聴する『Let's Listen and Read』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『日本語には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	三省堂	書名	CROWN Jr. CROWN Jr. My Dictionary
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、音声中心の学習から始まり、段階的に文字や表現の学習に取り組む学習活動を示した『JUMP』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、読む活動と会話を聞く活動から、自分の立場で日本や地域の魅力を先生に紹介するなどの学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各単元のねらいの達成度を自己評価する学習活動が『英語でこんなことができた!』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、それぞれのよさを認め合いながら、夢を伝え合い応援する学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、自分の行きたい国を伝え合う学習活動が『I want to go to Kenya.』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、日本の行事や地域の施設・自然について伝え合う学習活動が『We have Children's Day in May.』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、中学校で入りたい部活動やしてみたいことについて伝え合う学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、算数科と関連して、インタビュー結果を円グラフにまとめる学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、アルファベットを識別したり、その音を聞き取ったりする学習活動が『ABC FUN BOX』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、白川郷、屋久島、知床、弘前城などを紹介する学習活動が『おすすめの場所を紹介しよう』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、夢の町を作って、その住人になったつもりで町を紹介する学習活動が『We have Children's Day in May』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校卒業を前に、中学校でやりたいことを考え表現する学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分の住む地域を紹介するために、調べた内容を整理し、伝え合う学習活動が『さあ、本番!』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、文字と一緒に示されているイラストが『Panorama』などに掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Let's Watch』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、自分が就きたい職業について友達と対話し、将来の夢を書いて発表する学習活動が『I want to be a singer.』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動で学習した語句や表現を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『英語で言ってみよう』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、世界の小学校の様子を伝え、世界の給食を見ながら自分の学校との共通点を見つける学習活動が『Hello, World!』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習目標ごとに3つのUnitで構成されており、各Unitは2～3つのLessonで構成されている。各Lessonは各2ページのPartが2～3つ設定されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's read & write』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用している。』『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	教出	書名	ONE WORLD Smiles
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容に関わる内容を聞き取る学習活動から始まり、文字と音を結び付ける学習活動を示した『Sounds and Letters』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、世界の子どもたちの学校生活を知り、自分の夢の時間割を作成して伝えるなどの学習活動が『Final Activity』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、CAN-DOリスト形式で学習を振り返る学習活動が『Lesson○をふり返ろう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、他者のために行動することの大切さを伝える物語の登場人物になりきるなどの学習活動が『Let's Read and Act』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「国際化」について、世界の子どもたちの将来についての考えを聞き、自分の将来の夢について考える学習活動が『What do you want to be?』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、外国の人のために、日本の地図記号ガイドをつくる学習活動が『Let's Write』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、夏休みに行ったことについて、自分の作成した絵日記を紹介しながら伝え合う学習活動が『Final Activity』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連して、お勧めのオリジナルメニューを作る学習活動が『I'd like pizza.』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の食べたいものや飲みたいものを選択肢から選んで、伝え合うなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、海外からの観光客が日本のどんな文化に興味があるかをその理由も含めて聞き取る学習活動が『Let's Listen 1』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、ピザのオリジナル・メニューを作りレストランのロールプレイをする学習活動が『I'd like pizza』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校での部活動や授業、行事などについて知り、中学校でしたいことを発表する学習活動が『Junior High School Life』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、憧れの人について調べたことを整理して発表するなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、挿絵や漫画の形式で示された『Read and Act』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Final Activity』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、夢の時間割を友達に質問し、発表する学習活動が『I have P.E. on Monday.』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動で慣れ親しんだ語句や表現について振り返る学習活動が『Let's start together』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、行きたい国とそこで行いたいことについて尋ねあい、夢の世界ツアーのパンフレットを作成する学習活動が『Final Activity』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに、第5学年では9つ、第6学年では8つのLessonで構成されている。各Lessonは、2ページ程度の4つのパートで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Final Activity』や、会話の動画、音声視聴する『Let's watch』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	光村	書名	Here We Go!
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、各単元で学習事項と『Goal』が掲載されており、音声中心の学習から始まり、自分のことを伝え合うなどの学習活動を示した『Jump!』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、友達のできることを知り、友達や先生を当てるクイズを作成するなどの学習活動が『Let's speak』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、Unitごとに達成度を確認する学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、金子みすゞの詩をとりあげ、違いを認め合う詩を作って発表する学習活動が『Everyone Is Special』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、世界のどこに住んでいても同じ地球に住む仲間であることを伝えるメッセージを作成する学習活動が『Me on the Map』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の魅力を伝えるチャンツを作る学習活動が『まとめ You can do it! 3』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、世界の人に向けて、自分の町の魅力を伝えるパンフレットを作る学習活動が『Let's write and speak.』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連して、だれもが住みやすい理想の町を考え、案内する学習活動が『Where is the library?』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、友達とどんなものが好きかを尋ね合い、共通点や新たな一面を見つける学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、自分の住む都道府県の魅力について、紹介する学習活動が『Let's think』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、地域の名産品を使った料理を考えて注文し合う学習活動が『What would you like?』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学校で学習する内容について知り、できるようになったことを振り返る学習活動が『中学校に向けて英語の学習を続けていこう』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分の町のお気に入りの場所を伝えるために、情報を整理してパンフレットを作成する学習活動が『This is my town.』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、イラストや写真で場面や状況に関する情報を示した『Let's watch』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Let's Watch and Think』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、自分で考えたオリジナル料理を発表し、友達と対話する学習活動が『What would you like?』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動で学習した語句や表現、アルファベットを振り返るなどの学習活動が『Let's start』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、世界の小学生になりきってどんな時間割で勉強しているかを尋ねあう学習活動が『Let's Try』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは見開き2ページの4つのパートの流れで学習する構成となっている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's write and read』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『次の観点から専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『日本語の文には、見やすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名≪外国語(英語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-17)を参照

発行者の略称	啓林館	書名	Blue Sky elementary
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、音声中心の学びから始まり、『Goal』につながる学習活動を示した『Step3』につながる構成となっている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、外国の人に人気のある日本の場所などを知り、外国の人に日本に来てもらえるように紹介するなどの学習活動が『Activity』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、できるようになったことを確認したり、学んだことの活用場面について考えるなどの学習活動が『Look Back』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、マラウイに住む少年の一日を聞き取るなどの学習活動が『Friends around the world』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「国際化」について、クイズを通して世界の生活について知り、生活をよくするための工夫を考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、食品ロスなど世界の問題を考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、放課後の過ごし方を外国の人に紹介するつもりで、友達や先生に伝えるなどの学習活動が『Activity』に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連して、食べ物の味や特徴を表す英語を聞き取る学習活動が『I'd like pizza.』に設定されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、英語を聞いたり、chantsを歌ったりして、目標とする言語活動につながるための学習活動が『Step1.2』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、自分の行ってみたい国を相手に伝える学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験学習の充実について、自分の地域の日本の食べ物を、外国の人に紹介する学習活動が『I'd like Pizza.』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、中学生になったらやってみたいことを伝える学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、自分が行ってみたい国について、調べたことを整理して発表する学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、音を聞き取る課題の文字が青で色分けされて『Listen and Read』に掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『Watch and Do』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 言語の使用場面や言語の働きについて、学年行事の思い出を別の学校の人などに伝える学習活動が『My favorite memory is the school trip.』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動での学習内容を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『Pre Unit』に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 国際理解を深めることについて、世界の人々が生活をよくするために、どんな工夫をしているかを考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは2ページの4つのパートと振り返りで構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's Read and Write』や、会話の動画、音声などを視聴する『Watch the Scene』などが設定されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすいユニバーサルフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。(後略)』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《外国語(英語)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、単元の学習事項を聞き取る学習活動『Starting Out』から始まり、聞く活動を示した『Let's watch』などにつながる構成となっている。アルファベットなどを教科書に書き込む活動を示した『Sounds and Letters』が設定されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、各Lessonが映像を見る学習活動から始まり、自分のことを伝え合う学習活動を示した『Activity』につながる構成となっている。第5・6学年共通して、Lessonの内容に関連する英語が『Word Book』に掲載されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、音声中心の学習から始まり、段階的に文字や表現の学習に取り組む学習活動を示した『JUMP』につながる構成となっている。また、『Word Chant』で扱われる単語が別冊の『CROWN Jr. My Dictionary』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習内容に関わる内容を聞き取る学習活動から始まり、文字と音を結び付ける学習活動を示した『Sounds and Letters』につながる構成となっている。第5学年では、イラストや短い単語を書き写すことができ、第6学年では、短い文を書くことができるワークシートが掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各単元で学習事項と『Goal』が掲載されており、音声中心の学習から始まり、自分のことを伝え合うなどの学習活動を示した『Jump!』につながる構成となっている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、第5・6学年共通して、音声中心の学習から始まり、『Goal』につながる学習活動を示した『Step 3』につながる構成となっている。単語や表現を聞き、意味を想像する活動や話の内容を聞き取る活動として『Words and Phrases』が設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第5・6学年共通して、複数の単元で学習したことを使って内容を整理しながら、自分の思いや考えを表現する学習活動が『Check your Steps』に設定されている。活動前の目標と活動後の振り返りを書く学習活動が『Your Goal』に設定されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各単元の冒頭で、学習する語句や表現を聞き、推測して意味を考える学習活動が『Let's watch and think』に設定されている。各Unitには、誰に何を伝えるのかについて書くなどの学習活動が『Let's Try 4』に設定されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第5・6学年共通して、読む活動と会話を聞く活動から、自分の立場で日本や地域の魅力を先生に紹介するなどの学習活動が『Let's Try』に設定されている。また、活動のヒントが示されている『さあ、本番!』が掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第5学年では、世界の子どもの学校生活を知り、自分の夢の時間割を作成して伝えるなどの学習活動が『Final Activity』に設定されている。また、第6学年では、絵日記を作って、夏休みにしたことを伝え合うなどの学習活動が『Final Activity』に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、友達のできることを知り、友達や先生を当てるクイズを作成するなどの学習活動が『Let's speak』に設定されている。また、各単元に自分の考えや気持ちを表現する学習活動が『Let's Try』に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第6学年では、外国の人に人気のある日本の場所などを知り、外国の人に日本に来てもらえるように紹介するなどの学習活動が『Activity』に設定されている。また、学習したことをまとめるなどの学習活動が『REVIEW』に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習を振り返り、自己評価する学習活動が『Over the Horizonのふり返り』などに設定されている。また、ゴールに対する目標が、単元の導入となる『Starting Out』に掲載されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第5・6学年共通して、単元で学習したことが身についたかを確認するために自己評価をする学習活動が『CAN-DOチェック』に設定されている。また、自分のことを考え、話す内容を整理し、ペアで話し合う学習活動が『Let's Try 2』に設定されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各単元のねらいの達成度を自己評価する学習活動が『英語でこんなことができた!』に設定されている。世界のスポーツなどを示した『Hello world』が掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第5・6学年共通して、CAN-DOリスト形式で学習を振り返る学習活動が『Lesson〇をふり返ろう』に設定されている。また、日本や世界各地の情報を示した『名所・名物マップ』が掲載されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第5・6学年共通して、Unitごとに達成度を確認する学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。また、学習の仕方を示した『この教科書の構成と使い方』が掲載されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」を涵養について、第5・6学年共通して、できるようになったことを確認したり、学んだことの活用場面について考えるなどの学習活動が『Look Back』に設定されている。また、児童自身が達成度を確認しながら学習を進められるように各Stepに『できたかな』が設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ 【思いやる力】他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	【思いやる力】の「共生」について、第5学年では、アイヌ文化についての説明を聞いて、もっと知りたいことを考える学習活動が『Over the horizon』に設定されている。また、第6学年では、アフガニスタンの人々に貢献した中村哲がUnit8『物語探検』に掲載されている。
開隆堂	【思いやる力】の「共生」について、第5・6学年共通して、英語圏以外の国の人々や地域について考えるなどの学習活動が『Around the world』に設定されている。また、車いすを使用する方や様々な年齢の人のイラストが掲載されている。
三省堂	【思いやる力】の「共生」について、それぞれのよさを認め合いながら、夢を伝え合い応援するなどの学習活動が『Let's Try』に設定されている。また、聞くポイントを示し、相手を理解し、受け入れる姿勢を示した『聞き手の様子をよく見ながら』が掲載されている。
教出	【思いやる力】の「共生」について、第5・6学年共通して、他者ために行動することの大切さを伝える物語の登場人物になりきるなどの学習活動が『Let's Read and Act』に設定されている。また、いろいろなスポーツや競技で活躍をしている人物を紹介する英語を聞き取る学習活動が『Let's Listen 3』に設定されている。
光村	【思いやる力】の「共生」について、第5学年では、金子みすゞの詩をとりあげ、違いを認め合う詩を作って発表する学習活動が『Everyone Is Special』に設定されている。また、第6学年では、外国の友達からの手紙を読む学習活動が『世界の友達3』に設定されている。
啓林館	【思いやる力】の「共生」について、第6学年では、マラウイに住む少年の一日を聞き取るなどの学習活動が『Friends around the world』に設定されている。また、インターネットを通じて世界中の人たちとつながる様子が『I'm from Tokyo, Japan.』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第5学年では、世界の食文化について考える学習活動が『At a restaurant』に設定されている。また、第6学年では、身の回りのものがどこから来たのかを考える学習活動が『Where is it from?』に設定されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第5学年では、世界の国々の標識が何を表すのかを考える学習活動が『Our World』に設定されている。また、第6学年では、世界の様々な行事や日本から海を渡った偉人たちなどを扱った教材が『Around the World』に設定されている。
三省堂	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第5学年では、自分の行きたい国を伝え合う学習活動が『I want to go to Kenya.』に設定されている。また、第6学年では、Lessonのまとめとして、世界のまつりや小学校を取り上げた『Hello, World』が掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第6学年では、世界の子どもたちの将来についての考えを聞き、自分の将来の夢について考える学習活動が『What do you want to be?』に設定されている。また、世界の子どもたちはどんなことを話しているのかや文化を取り上げた『World of Smiles』などが掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第6学年では、世界のどこに住んでいても同じ地球に住む仲間であることを伝えるメッセージを作成する学習活動が『Me on the Map』に設定されている。また、世界各国の小学生の考えや暮らしを紹介している『世界の友達』が掲載されている。
啓林館	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第5・6学年共通して、クイズを通して世界の生活について知り、生活をよくするための工夫を考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。また、第5学年では、行ってみたい国を考え、友達を誘う学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第6学年では、地域の環境のためにできることを考え、発表する学習活動が『Save the animals.』に設定されている。また、第5学年では、自分が暮らす地域のよさについて、内容を整理して伝え合う学習活動が『Check Your Steps 2』に設定されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第5学年では、自分たちの「町のすてきなところ」について発表する学習活動が『I love my town.』に設定されている。また、第6学年では、どの国にもその国の伝統や文化、環境に基づいた職業があることを扱った教材が『My dream』に設定されている。
三省堂	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第6学年では、日本の行事や地域の施設・自然について伝え合う学習活動が『We have Children's Day in May.』に設定されている。また、第5学年では、自分たちの地域でできることを考えて紹介する活動が『Let's Speak』に設定されている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第5学年では、外国の人のために、日本の地図記号ガイドをつくる学習活動が『Let's Write』に設定されている。また、第6学年では、世界の子どもたちの将来の夢について考え、伝え合う活動が『What do you want to be?』に設定されている。
光村	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、第5学年では、地域の魅力を伝えるチャンツを作る学習活動が『まとめ You can do it! 3』に設定されている。また、第6学年では、地域の名産品を使ったメニューを表を作り、料理を注文し合うなどの活動が『Let's speak』に設定されている。
啓林館	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、食品ロスなど世界の問題を考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。また、第6学年では、自分の住む地域のよさや、さらにそれをよくするためのアイデアを発表する学習活動が『Activity』に設定されている。

3 内容と構成

- 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、第5・6学年共通して、グループで話し合いながら、思考ツールを用いて自分の伝えたい内容を整理するなどの学習活動が『Check Your Steps』に設定されている。また、学習を見直し振り返る場面として、各単元の最初に、単元の目標となる『Our Goal』が掲載されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、お互いのことをよく知るために、グループでできることや得意なこと、その理由などを伝え合う学習活動が『Activity 2』に設定されている。また、単元で身に付ける力やその達成に向けたためあてが『Goal』に掲載されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、第6学年では、中学校で入りたい部活動やしてみたいことについて伝え合う学習活動が『Let's Try』に設定されている。また、第5・6学年共通して、LessonやUnitの終わりに、児童が英語でできるようになったことを確かめ、チェックする学習活動が『ふりかえり』に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、夏休みに行ったことについて、自分の作成した絵日記を紹介しながら伝え合う学習活動が『Final Activity』に設定されている。また、第5・6学年共通して、学習を見直し振り返る学習活動が『あなたが英語でできるようになりたいことを書いてみよう』に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、世界の人に向けて、自分の町の魅力を伝えるパンフレットを作る学習活動が『Let's write and speak.』に設定されている。第5・6学年共通して、Unitごとに達成度を確認する学習活動が『ふりかえろう』に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、第5学年では、放課後の過ごし方を外国人の人に紹介するつもりで、友達や先生に伝えるなどの学習活動が『Activity』に設定されている。また、第6学年では、最近の印象に残った出来事を友達に伝えて、日記に書くなどの学習活動が『Activity』に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、社会科などと関連して、都道府県や日本の魅力を伝える学習活動が『Welcome to Japan!』に設定されている。第6学年では、理科と関連して、絶滅危惧種の動物を取り上げた『Save the animals.』が掲載されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、世界遺産に関する話題から、「行きたい国クイズ」を作る学習活動が『Where do you want to go?』に設定されている。また、第5学年では、家庭科と関連して、予算内に収めて買物をする『What would you like?』が掲載されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、第6学年では、算数科と関連して、インタビュー結果を円グラフにまとめる学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。第5学年では、社会科と関連して、県庁所在地や日本の名所・名物を取り上げた『Hello, World!』が掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、家庭科と関連して、お勧めのオリジナルメニューを作る学習活動が『I'd like pizza.』に設定されている。また、第5学年では、社会科と関連して、47都道府県を扱った『名所・名物マップ』が掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、道徳科と関連して、だれもが住みやすい理想の町を考え案内する学習活動が『Where is the library?』に設定されている。第6学年では、理科と関連して、動物の生態や環境を取り上げた『We live together.』が掲載されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、第5学年では、家庭科と関連して、食べ物の味や特徴を表す英語を聞き取る学習活動が『I'd like pizza.』に設定されている。第6学年では、社会科と関連して、日本の行事や特産品を取り上げた『Welcome to Japan.』が掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、第5・6学年共通して、英語の文を声に出して読むなどの学習活動が『Sounds and Letters』に設定されている。また、各Unitでは学習内容の定着を図る学習活動が『Your turn』に設定されている。
開隆堂	言語能力の育成について、第5・6学年共通して、各Lessonで学習する英語に慣れ親しむ学習活動が『Let's Play』に設定されている。また第5学年の各Lesson末には、アルファベットに慣れ親しみ、習得するための『Letter Box』が掲載されている。
三省堂	言語能力の育成について、第5・6学年に共通して、アルファベットを識別したり、その音を聞き取ったりする学習活動が『ABC FUN BOX』に設定されている。また、各Lessonともに、学んだ語句や表現を使う学習活動が『思えばく』『出会う』『慣れ親しむ』『伝え合う』『表現する』に設定されている。
教出	言語能力の育成について、第5学年では、自分の食べたいものや飲みたいものを選択肢から選んで、伝え合うなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。第6学年では、日本の行事や文化などについて伝え合うなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。
光村	言語能力の育成について、友達とどんなものが好きかを尋ね合い、共通点や新たな一面を見つける学習活動が『Let's Try』に設定されている。第5学年では、地域の名産品を広めるためにオリジナル料理を考えて注文し合う学習活動が『What would you like?』に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、第5・6学年に共通して、英語を聞いたり、chantsを歌ったりして、目標とする言語活動につながるための学習活動が『Step1.2』に設定されている。また、表現できる語彙やフレーズを増やす学習活動が『Words and Phrases』に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、日本の魅力について、内容を整理して発表する学習活動が『Check Your Steps 3』に設定されている。また、第5学年では、日本で輪島塗を制作している外国人の人などを紹介する映像を見て、質問に答える学習活動が『日本探検』に設定されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、おすすめの日本の名物や行事などについて、ペアでくわしく話す学習活動が『Let's Try』に設定されている。また、第6学年では、自分の興味のある国について調べ、その国の魅力を伝え合う学習活動が『Where do you want to go?』に設定されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、白川郷、屋久島、知床、弘前城などを紹介する学習活動が『おすすめの場所を紹介しよう』に設定されている。また、第6学年では、世界のいろいろな料理を知り、アメリカの通貨を使って買い物をする学習活動が『Try 買い物』に設定されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第6学年では、海外からの観光客が日本のどんな文化に興味があるかをその理由も含めて聞き取る学習活動が『Let's Listen 1』に設定されている。また、第6学年Lesson 5には世界地図とともに各国の名所や名物が紹介されている『Dream World Tour 名所・名物マップ』が掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、自分の住む都道府県の魅力について紹介する学習活動が『Let's think』に設定されている。また、第6学年では、世界の友達に日本のことを伝える学習活動が『まとめ You can do it 1』に設定されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第5学年では、自分の行ってみたい国を相手に伝える学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。また、第6学年では、日本の魅力について季節ごとの名物などを扱う『Welcome to Japan.』が掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第5学年では、観光案内CMをグループで作って発表する学習活動が『Welcome to Japan!』に設定されている。また、第6学年では、週末にしたことを友達に伝え合う学習活動が『Your Goal』に設定されている。
開隆堂	体験活動の充実について、第5学年では、自分たちの町の好きな施設や場所、名産品について発表する学習活動が『I love my town.』に設定されている。また、第6学年では、小学校生活の一番の思い出について発表する学習活動が『My best Memory』に設定されている。
三省堂	体験学習の充実について、第6学年では、夢の町を作って、その住人になったつもりで町を紹介する学習活動が『We have Children's Day in May』に設定されている。また、第5学年では、自分たちが観光大使になって、地域の魅力をアピールする学習活動が『It is in Fukui.』に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第5学年では、ピザのオリジナル・メニューを作りレストランのロールプレイをする学習活動が『I'd like pizza』に設定されている。第6学年では、海外の人に『日本のすてき』をポスターで伝える学習活動が『Welcome to Japan.』に設定されている。
光村	体験活動の充実について、第5学年では、地域の名産品を使った料理を考えて注文し合う学習活動が『What would you like?』に設定されている。第6学年では、旅行会社の人になって世界の国々の魅力を紹介する学習活動が『I want to go to Italy.』に設定されている。
啓林館	体験学習の充実について、第5学年では、自分の地域の日本の食べ物を、外国の人に紹介する学習活動が『I'd like Pizza.』に設定されている。第6学年では、外国の人に、日本の魅力を紹介する学習活動が『Welcome to Japan.』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、第6年生巻末に、中学生になったらどんなことができるかを考える学習活動が『Going to Junior High School』に設定されている。また、第6学年の最終単元では、小学校で学習した表現を使って、伝えたい思いを発表する学習活動が『卒業！今伝えたい、わたしの思い』に設定されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、これまでの学習を振り返り、中学校での自己紹介を考える学習活動が『Let's Check③』に設定されている。また、小学校の既習事項を確認する『CAN-DOチェック』が掲載されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校卒業を前に、中学校でやりたいことを考え表現する学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。また、小学校の既習事項を確認するページが掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第6学年では、中学校での部活動や授業、行事などについて知り、中学校でしたいことを発表する学習活動が『Junior High School Life』に設定されている。また、日本語と英語の文の構造の違いについて扱った『Activity 1』が掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、中学校で学習する内容について知り、6年生でできるようになったことを振り返る学習活動が『中学校に向けて英語の学習を続けていこう』に設定されている。また、学習した表現を使って自己紹介する学習活動が『All About Me』に設定されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、中学生になったらやってみたいことを伝える学習活動が『I want to join the brass band.』に設定されている。また、第5・6学年共通して、できるようになったことをチェックする『Can Do List』が掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、第6学年では、小学校での思い出などを整理して今の自分の思いを発表する学習活動が『Check your steps 3』に設定されている。また、中学校で入りたい部活動ややりたい職業などについて情報を整理してペアで伝える学習活動が『Enjoy Communication』に設定されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、第5学年では、身近な人のできることやできないことを紹介するために、聞き取った情報を整理して発表する学習活動が『I can draw pictures well.』に設定されている。第6学年では、思い出のアルバムに添える動画をとる場面を取り上げた『My Best Memory』が掲載されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、自分の住む地域を紹介するために、調べた内容を整理し、伝える学習活動が『さあ、本番!』に設定されている。また、第5学年では、将来の生活や職業について取り上げた『人物紹介クイズ』が掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、第5学年では、憧れの人について調べたことを整理して発表するなどの学習活動が『Activity 1』に設定されている。第6学年では、思い出に残っている学校行事について尋ね合うなどの学習活動が『Activity』に設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、第5学年では、自分の町のお気に入りの場所を伝えるために、情報を整理してパンフレットを作成する学習活動が『This is my town.』に設定されている。行きたい国とその理由をたずね合い、自分と同じ国に行きたい友達を探すなどの学習活動が『Let's try』に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、第5学年では、自分が行ってみたい国について、調べたことを整理して発表する学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。第6学年では、タブレットを使って日本の魅力を紹介する場面を取り上げた『Welcome to Japan.』が掲載されている。
⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、登場人物の会話の内容を吹き出し内にイラストで示した『My Daily Schedule』が掲載されている。アルファベットを書く活動において、矢印でなぞり書きの方向を示している。
開隆堂	児童の学習上の困難さへの対応について、第5・6学年共通して、様々な語彙が、ジャンルごとに分類され『Word Book』の何ページに示されているかが掲載されている。また、『Lesson』のはじめに、単元の見通しがもてるよう、学習の流れ、『GOAL』が示してある。
三省堂	児童の学習上の困難さへの対応について、文字と一緒に示されているイラストが『Panorama』などに掲載されている。また、児童の理解を促すヒントを示すキャラクターが『ことばのふしぎ』などに掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、第5学年では、挿絵や漫画の形式で示された『Read and Act』が掲載されている。また、巻末のアルファベットカードを使って、メモリーゲームなどゲーム形式でアルファベットに慣れ親しむ学習活動が『The Alphabet』に設定されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、第5・6学年共通して、イラストや写真で場面や状況に関する情報を示した『Let's watch』が掲載されている。また、会話や発表の役割ごとにセリフの吹き出しの色を変えてある。
啓林館	児童の学習上の困難さへの対応について、第6学年では、音を聞き取る課題の文字が青で色分けされて『Listen and Read』に掲載されている。また、第5・6学年共通して、状況や場面の理解の助けとして、写真やイラストなどを使用している。

15 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Let's Try』などに、小学校生活の思い出を振り返り、友達と思いを伝え合うなどの学習活動が『Enjoy Communication』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
開隆堂	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Let's Watch and Think』などに、音声で慣れ親しんだ英語を文字と結びつけるなどの学習活動として『Let's Listen and Read』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
三省堂	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Let's Watch』などに、慣れ親しんだ英語を聞きながら音と文字を結びつけるなどの学習活動が『Let's Listen & Read』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Final Activity』などに、また、会話を聞いて、その内容を聞き取るなどの学習活動が『Activity』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第5・6学年共通して『Let's Watch and Think』などに、また、学習した表現を使用した短いやりとりを聞くなどの学習活動が『Small Talk』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
啓林館	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が第5・6学年共通して『Watch and Do』などに、また、海外の友達が話している英語を聞き取るなどの学習活動が『Friends around the World』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。デジタル教科書についても、同様に構成されている。
16 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	言語の使用場面や言語の働きについて、第6学年では、世界の国について友達に聞き、自分の行きたい国を調べて文で表現し紹介する学習活動が『Let's see the world』に設定されている。また、第5学年では、だれがどんなことができるのかについて、友達に質問し、発表する学習活動が『Let's Try』に設定されている。
開隆堂	言語の使用場面や言語の働きについて、第5学年では、誕生日や特別な日を友達に質問し、発表する学習活動が『When is your special day?』に設定されている。また、第6学年では、行きたい国の魅力を伝え合い、グループで発表し合う学習活動が『Where do you want to go?』に設定されている。
三省堂	言語の使用場面や言語の働きについて、第6学年では、自分が就きたい職業について友達と対話し、将来の夢を書いて発表する学習活動が『I want to be a singer.』に設定されている。また、第5学年では、さまざまな人のできることや得意なことを人物紹介クイズを作って伝える学習活動が『She can bake cookies.』に設定されている。
教出	言語の使用場面や言語の働きについて、第5学年では、夢の時間割を友達に質問し、発表する学習活動が『I have P.E. on Monday.』に設定されている。また、第6学年では、外国人観光客が興味のある日本文化を聞き取り、ポスターを使って日本のよさを紹介する学習活動が『Welcome to Japan.』に設定されている。
光村	言語の使用場面や言語の働きについて、第5学年では、自分で考えたオリジナル料理を発表し、友達と対話する学習活動が『What would you like?』に設定されている。また、第6学年では、小学校での思い出を書き、発表する学習活動が『My Best Memory』に設定されている。
啓林館	言語の使用場面や言語の働きについて、第6学年では、学年行事の思い出を別の学校の人などに伝える学習活動が『My favorite memory is the school trip.』に設定されている。また、第5学年では、行ってみたい国や、そこでできることを伝え合うなどの学習活動が『Let's go to Singapore.』に設定されている。

⑰ 小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	小学校外国語活動と関連した構成について、第5学年では、外国語活動での学習内容を振り返る学習活動が『Let's Start』に設定されている。別冊の『My picture Dictionary』に『3・4年生で学習した主な表現』が掲載されている。
開隆堂	小学校外国語活動と関連した構成について、第5学年の冒頭に、外国語活動の学習内容を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『Let's Review!』に設定されている。別冊の『Word Book』には第3・4学年の外国語活動で扱われたものも含め、言語材料が掲載されている。
三省堂	小学校外国語活動と関連した構成について、学年の冒頭に、外国語活動で学習した語句や表現を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『英語で言ってみよう』に設定されている。別冊の『My Dictionary』にはアルファベットを確認する『アルファベット表』や『キーボード表』が掲載されている。
教出	小学校外国語活動と関連した構成について、第5学年では、外国語活動で慣れ親しんだ語句や表現について振り返る学習活動が『Let's start together』に設定されている。第5学年の教科書の巻末には、外国語活動で学習した語が掲載されている。
光村	小学校外国語活動と関連した構成について、外国語活動で学習した語句や表現、アルファベットをふり返るなどの学習活動が『Let's start』に設定されている。巻末の『Picture Dictionary』には小学校外国語活動での学習を生かせるように、『外国語活動の振り返り』が設定されている。
啓林館	小学校外国語活動と関連した構成について、第5学年では、外国語活動の学習内容を振り返り、慣れ親しんだ表現を使って話す学習活動が『Pre Unit』に設定されている。また、各Unit扉のページでは、既習事項を使ってやり取りできる挿絵や写真が掲載されている。
⑱ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	国際理解を深めることについて、第5学年では、世界の食事の方法の違いからその国の文化などについて考えるなどの学習活動が『Over the Horizon』に設定されている。また、第6学年では、世界遺産の魅力などについて考えるなどの学習活動が『Over the Horizon』に設定されている。
開隆堂	国際理解を深めることについて、おたがいの行きたい国についてわかってもらえるように「行きたい国クイズ」を考える学習活動が『Activity 3』に設定されている。第5学年では、いくつかの国の授業の様子を取り上げた『Around the World』が掲載されている。
三省堂	国際理解を深めることについて、世界の小学校の様子を伝え、世界の給食を見ながら自分の学校との共通点を見つける学習活動が『Hello, World!』に設定されている。また、第5学年では、名前をへボン式ローマ字で書くときのルールについて説明されている『ローマ字で自分の名前を書こう』が掲載されている。
教出	国際理解を深めることについて、行きたい国とそこで行いたいことについて尋ねあい、夢の世界ツアーのパンフレットを作成する学習活動が『Final Activity』に設定されている。第5学年では、世界の子どもの生活の様子を取り上げた『Let's Look at the World』が掲載されている。
光村	国際理解を深めることについて、世界の小学生になりきってどんな時間割で勉強しているかを尋ねあう学習活動が『Let's Try』に設定されている。第5・6学年共通して、世界の友達の国や生活についてなどの紹介が『世界の友達1～3』に掲載されている。
啓林館	国際理解を深めることについて、世界の人々が生活をよくするために、どんな工夫をしているかを考える学習活動が『Did you know?』に設定されている。また、第5学年では、導入で世界各国の名物料理や世界遺産が紹介されている『Let's go to Singapore.』が掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは見開き2ページの4つのパートで構成されている。第6学年では、中学校での学習につながる発展的な学習ページが2ページで構成されている。
開隆堂	学習内容ごとに8つのLessonで構成されている。各Lessonは見開き2ページの4つのパートで構成されている。第6学年では、中学校での学習につながる発展的な学習のページが4ページで構成されている。
三省堂	学習目標ごとに3つのUnitで構成されており、各Unitは2～3つのLessonで構成されている。各Lessonは各2ページのPartが2～3つ設定されている。
教出	学習内容ごとに、第5学年では9つ、第6学年では8つのLessonで構成されている。各Lessonは、2ページ程度の4つのパートで構成されている。
光村	学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは見開き2ページの4つのパートの流れで学習する構成となっている。
啓林館	学習内容ごとに8つのUnitで構成されている。各Unitは2ページの4つのパートと振り返りで構成されている。
⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『コミュニケーションカード』や、会話の動画、音声などを視聴する『Listen and Think アニメ』などが設定されている。
開隆堂	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で答えなどを書き込む『Let's Listen 2』や会話の動画、音声などを視聴する『Let's Listen and Read』などが設定されている。
三省堂	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's read & write』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。
教出	判型はA B判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Final Activity』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。
光村	判型はA B判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's write and read』や、会話の動画、音声などを視聴する『Let's watch』などが設定されている。
啓林館	判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について、紙と同じレイアウトの画面上で英単語などを書き込む『Let's Read and Write』や、会話の動画、音声などを視聴する『Watch the Scene』などが設定されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。
開隆堂	『日本語には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。
三省堂	『ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用している。』『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『次の観点から専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン（後略）』『日本語の文には、見やすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。（後略）』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	My Picture Dictionary 5ページ 『kamaboko』 第5学年 78ページ 横浜中華街 第5学年 95ページ 横浜中華街
開隆堂	第5学年 105ページ 温泉 第6学年 59ページ かながわ海岸美化財団
三省堂	第5学年 92ページ 『Yokohama Chinatown (横浜中華街)』
教出	第5学年 68ページ 『Kamakura Daibutsu』 『Yokohama Chinatown』 第6学年 74ページ 横浜中華街
光村	第5学年 101ページ 『Chinatown』 第6学年 61ページ 神奈川県の小学校
啓林館	第6学年 26ページ 『Yokohama Bay Bridge』 鎌倉大仏

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量 (g)

発行者名	総冊数	5年		5・6年	6年	
東書	3	267		129	267	
開隆堂	4	330	99		330	99
三省堂	3	301		113	302	
教出	2	321			324	
光村	2	357			330	
啓林館	2	383			381	

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい道徳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』として掲載されており、内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、役割演技を通して考える学習活動が『みさきさんのえがお』に、思考ツールを例示し議論を深める学習活動が『考えるためのツール』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを振り返り、これからの生活に生かしたいことを書く学習活動が『学習の記録』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材を関連付けた、いじめ・人権を考える学習活動がユニット『「いじめ」について、考えよう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやインターネットなどの適切な使い方や個人の権利等について考える学習活動がコラム『さまざまな角度から情報を確認しよう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『心をつなぐ音色』や人・公共のために働く思いなどを取り上げた『「あんぱんの日」』などが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学びの流れを説明した『どんな学びをするのかな?』が巻頭に示され、話し合いの流れなどが示された『問題を見つけて考えよう』が教材末に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、特別活動と関連した『かれてしまったヒマワリ』、外国語活動と関連した『三つの国』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言語活動を含めた授業の流れや、言語活動の例が『道徳の学習を始めよう・どんな学びをするのかな?』『こんな学び方もあるよ』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた教材『ふるしき』や『正月料理』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、登場人物になりきって考える学習活動が『えんじて考えよう』に、小学生が参加できる体験活動が『いろいろなボランティア活動』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年では絵や写真などを配置した教材が掲載されており、第6学年では中学生になる児童へのメッセージが『夢をつかむ、ちから。』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報の真偽を考えることなど現代的な情報モラルを取り上げた『ちょさくけんクイズ』やコラム『つながる 広がる さまざまな角度から情報を確認しよう』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習の流れや、学び方について説明する『道徳の学習をはじめよう どんな学びをするのかな?』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ある犬のお話』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いや、自己を見つめ今後を生かす学習活動が『考えよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、思考の共有を図るために活用する思考ツールを例示した『考えるためのツール』が巻末に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技など登場人物の言動を即興的に演技して考える学習活動が『えんじて考えよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	教出	書名	小学道徳 はばたこう明日へ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値の理解に関連した発問が教材名の下部に掲載されており、各教材の最後のページには『考えよう・話し合おう』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題に気づき話し合う学習活動が『なんとやってつたえる』に、解決方法を考えながら思考力を高める学習活動が『参考にするだけなら』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを振り返り、これからの課題や目標を見つける学習活動が『学習をふり返ろう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材を関連付けた、いじめ・いのちについて考える学習活動がユニット『いじめをなくす』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、ネット上でのコミュニケーションに関する問題や個人の権利について考える学習活動が『個人の権利って?』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『横浜港のガンマンの思い』や、自分の仕事を誇りに思う気持ちなどを取り上げた『カッコいいせなか』が掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、対話による学びの視点や発問例が教材名の下部に示されており、自らの考えを深める学びの視点が『考えよう』『深めよう』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、特別活動と関連した『応援団の旗』、国語科と関連した『おじいちゃん だいすき』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言語活動の例や話し合いの進め方が示されている『道徳ではこんな学び方をするよ』、『学びのガイダンス』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔から伝わる行事をとおして伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた『にっぽんの ぎょうじ』や『赤飯』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、登場人物になって考える学習活動が『演じて考えよう』に、道徳的行為に関する体験的な学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年ではひらがなで書かれた詩が掲載されており、第6学年では先人の生き方を取り上げた『世の中のためになることをしたいー石橋 正二郎ー』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、個人情報取り扱いについてや、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを取り上げた『個人の権利って?』やユニット『じょうほうとむき合う』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、1時間の学習の流れを説明する学びのガイダンス『道徳ではこんな学び方をするよ』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『まなびリンク』などに示され、画像などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、問題解決につながる言語活動が『問題を解決しよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、多様な視点から物事を見つめ、考え、議論できるような問いが『かんがえよう』『ふかめよう』などに掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技や登場人物等の立場になって考える学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、30の主たる教材が掲載されている。また、『補充の教材』が複数掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	光村	書名	道徳 きみが いちばん ひかるとき
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値について考える『考えよう・話し合おう』が掲載されており、学習指導要領で示されている内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、多面的・多角的な考え方に触れる学習活動が『こんな活動で考えることもできるよ』に、役割演技などの体験的な学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自分の考えや行動を振り返り、自己評価の記録を残すことができる学習活動が『学びの記録』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材を関連付けた「いじめ問題」を考える学習活動がユニット『いじめをゆるさない心』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、ネット上のルール、肖像権やプライバシー権について考える学習活動が『気に入らなかつた写真』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『働くって、どうのこと?』、人・公共のために働く思いを取り上げた『神戸のふっこうは、ぼくらの手で』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『みんなで気持ちよく話し合うためのこつ』が示され、思考や対話を促す問い『考えよう・話し合おう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、社会科と関連した『世界人権宣言から学ぼう』、図画工作科と関連した『よごれた絵』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合い活動の進め方や実践例が『みんなが気持ちよく話し合うためのこつ』『考える』準備たいそう』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、郷土の伝統や文化を守ることの大切さやそれを形成する心について取り上げた『曲げわっぱから伝わるもの』や『ふるしき』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、役割演技を通じて道徳的諸価値についての理解を深める学習活動が『ドッジボール対決』に、登場人物になりきって心情を考える学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年では絵や写真などを配置した教材が掲載されており、第6学年では先人の夢に触れ将来の生き方についての考える『一さいから百さいの夢』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、肖像権やプライバシーの権利など現代的な情報モラルを取り上げた『気に入らなかつた写真』やユニット『じょうほうとむき合う』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、1時間の学習の流れを説明する『道徳の学び方』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『私には夢がある』などに示され、音声資料などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、学びのめあてが示された学習活動が『考えよう・話し合おう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、他者と対話しながら意見を受け止め、道徳的価値について考える視点が『考えるじゅんびたいそう』などに掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、登場人物の言動を即興的に演じて考える学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。』『目次や吹き出し等には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	日文	書名	小学道徳 生きる力 道徳ノート
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値について考える発問が教材名の下部に掲載されており、各教材末には考えを深めるコーナー『見つめよう・生かそう』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決的な学習活動が『心づかいとおもいやり』に、道徳的行為に関する体験的な学習活動が『ぐっと深める』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、心に残っていることを記述し、自分の考えや行動を振り返る学習活動が別冊『道徳ノート』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材とコラムを関連付けた、いじめ問題について考える学習活動がユニット『いじめをなくすために』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、携帯電話等の節度ある使い方や情報モラルについて考える学習活動が『めざせ！情報モラルの達人』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『ウイルスとの戦いー父にエールをー』、人・公共のために働く思いなどを取り上げた『ぼくの草取り体験』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、役割演技や話し合いを深めるため授業の展開例が『ぐっと深める』に示され、授業の流れに沿った発問例が『考えてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、特別活動と関連した『さと子の落とし物』、生活科と関連した『あいさつの ある いちにち』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話すことや聞くことについての活動例や進め方が、『道徳のとびら』『道徳の学びかた』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、茶道における心づかいなど伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた『ぼくのお茶体験』や『につぼんの おかし』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、役割演技を通して考える学習活動が『気づいていなかったこと』に、役を演じて登場人物の心情を考える学習活動がコラム『ぐっと深める』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年では小学生になり楽しいことを考える発問が示され、第6学年ではよりよく生きることについて取り上げた『ゴゴ 九十四歳の小学生』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルについて取り上げた『きまりはだれのため？』や『心のベンチ めざせ！情報モラルの達人』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、1時間の学習の流れや活動形態について説明する『道徳の学び方』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『めざせ！情報モラルの達人』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いや、学びを振り返る学習活動が、『ぐっと深める』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、考え、議論する話し合い活動について、写真やイラストを用い視覚的に示した『道徳の学び方』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、話し合い活動や体験的な学習活動が『道徳の学び方』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	光文	書名	小学道徳 ゆたかな心
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値について理解を深めるため『ひろげよう』が掲載されており、各教材と関連する内容項目の対応一覧が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、役割演技を通して多面的・多角的に考える学習活動が『ドンマイ!ドンマイ!』に、人と関わり考える学習活動が『みんなでやってみよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、心に残っていることや、自らの学習状況を記述する学習活動が『学びの足あと』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材を関連付け、いじめ・人権について考える学習活動がユニット『いじめを生まない心』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の正確さ、安全性について、スマートフォンの使用について考える学習活動が『本当にだいじょうぶ?』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『ホペイロのヤマさん』、ボランティア等の活動に関わる人の思いを取り上げた『広村堤防の清掃ボランティア』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、考えを整理するために『話し合ってみよう』が示され、話し合いや思考を深める『ひろげよう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、社会科と関連した『鑑真和上』、生活科と関連した『もうすぐ 二ねんせい』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いの進め方や考えの整理の仕方について『道徳の時間はこんな時間です』『いろいろなやり方で考えてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、文化財や昔の人々のねがいから伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた『ねがいを つみ上げた石橋』や『キツネおどり』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、動作化や役割演技を通して考える学習活動が『温かいおまんじゅう』に、体験的な学習活動が、『みんなでやってみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年は絵や写真を配置した教材が掲載されており、第6学年では中学生の自分が大切にしたいことについて取り上げた『大空に飛び立つ鳥』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを取り上げた『ヒントまであと少し』や『情報モラル 情報を有効活用するために』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、1時間の学習の流れや、学習と日常生活の関わりについて説明する『道徳の時間は、こんな時間です』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『棚田と人をつなぐ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的価値に関連して考えることについての3つの柱が示され、それをもとに考える学習活動が、『かんがえよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、言語活動の中で、考えをまとめたり、広げたりするための思考ツールを示した『いろいろなやり方で考えてみよう』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、問題解決的な学習活動や教材の内容を元に役割演技をする学習活動が『みんなでやってみよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。『付録』として複数の教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『ユニバーサルデザインに配慮し、カラーバリアフリーを含む対応をしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	学研	書名	新版 みんなの道徳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値の理解を深めるため、考える視点を表すマークが『わたしのこと』などに掲載されており、各教材と関連する内容項目の対応一覧が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、話し合い活動や問題解決的な学習活動が『しんぱんは自分たちで』に、役割演技を通して考える学習活動が『心のパスポート』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自身の成長を振り返り、課題や目標を見つける学習活動が『つなげよう ひろげよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関連する教材とコラム『心のパスポート』を関連付け、いじめ問題について考える学習活動が設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、インターネットを使用する際の危険性や個人情報を書き込むことについての問題点を挙げた学習活動が『私たちと情報』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『この思いをフェルトペんにたくして』、社会貢献についてを挙げた『神戸のふっこうは、ほくらの手で』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、自らと教材の内容をつなげて考える『深めよう』が示され、道徳的価値について多角的・多面的に考えるため『心のパスポート』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、総合的な学習の時間と関連した『チョモランマ清掃登山隊』、生活科と関連した『あかるい あいさつ』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いの進め方や関連する言語活動の例が、『道徳の学習が始まるよ』『深めよう』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、郷土に伝わる行事や和食から伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた『大みそかの朝に』や『おしょうがつ』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、役割演技を通して考える学習活動が『うばわれた自由』に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的な学習活動が『心のパスポート』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年では小学生になった気持ちについて考える教材が掲載されており、第6学年では将来の夢について考える『栄光の架橋』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、インターネットの危険性など現代的な情報モラルを取り上げた『家のパソコンで』やコラム『私たちと情報 SNS 私の判断』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、考えを深めるための視点や手順について説明する『道徳の学習が始まるよ』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『カラフルな工夫』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、考え、議論する学習活動が『ふかめよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、自己を見つめ、深く考える議論のテーマ例を示した『深めよう・自分の進む道は自分で決める』などが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、教材での学習を基に自分につなげて考えたり、体験したりする学習活動が『心のパスポート』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35(1年のみ34)の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、ユニバーサルデザインに配慮して制作しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、全ての教材末に考えよう』のコーナーに主発問が掲載されている。また巻末に、道徳的諸価値を理解するために、学習指導要領で示されている内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各学年、教材名の下に内容項目や道徳的諸価値に関連する発問が掲載されている。また、各教材の最後のページに道徳的諸価値を理解するためのコーナー『考えよう・話し合おう』が掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各教材の最後のページに道徳的諸価値について考えるコーナー『考えよう・話し合おう』が掲載されている。巻末に、学習指導要領で示されている内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値について考える発問が教材名の下に導入の発問が設けられている。また、各教材末に『道徳的諸価値についての理解を深めるためのコーナー『見つめよう・生かそう』が掲載されている。
光文	「知識・技能」の習得について、巻末に、各教材と関連する学習指導要領で示されている内容項目の対応一覧が掲載されている。また、道徳的諸価値についての理解を深める『ひろげよう』などが掲載されている。
学研	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値についての理解を深めるため、考える視点を表すマークが『わたしのこと』などに掲載されている。巻末に、学習指導要領で示されている内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、役割演技を通して考えたり、問題を見つけて話し合う学習活動が『みさきさんのえがお』や『SL公園で』などに掲載されている。思考の共有化を通して議論を深めるよう、思考ツールが、巻末の『考えるためのツール』に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題を見つけてみんなと話し合う活動や動作化を通して考える学習活動が、第3学年『なんと言ったええ』に設定されている。問題を見つけて話し合い、解決方法を考え思考力を高める学習活動が、第5学年『参考にするだけなら』『図書館はだれのもの』に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年『たてわりはんそうじ』では多面的・多角的な考え方に触れる学習活動が『こんな活動で考えることもできるよ』に、『教えてあげる? 持ってあげる?』では役割演技などの体験的な学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決的な学習活動が第6学年『心づかいと思いやり』『手品師』に、道徳的行為に関する体験的な学習活動が『ぐっと深める』のコーナーに設定されている。
光文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では役割演技などを通して、多面的・多角的な考え方に触れる『ドンマイ! ドンマイ!』が設定されている。人と関わることで多面的・多角的な考え方に触れるコミュニケーション活動が『みんなでやってみよう!』『言葉のキャッチボール』に設定されている。
学研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、役割演技を通して考える体験的な学習活動が、特設ページ『心のパスポート』などに設定されている。話し合い活動や問題解決的な学習活動が第3学年では『しんぼんは自分たちで』、第6学年では『チョモランマ清掃登山隊』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各学年『道徳の学習を始めよう』『どんな学びをするのかな?』が設けられ、道徳の学習の学び方が例示されている。また、各学年に1年間の学びを振り返り、心に残った教材やこれからの生活に生かしたいことを書く学習活動が『学習の記録』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各学年、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたることができるように、『道徳ではこんな学び方をするよ』が、巻末『学習をふり返ろう』などに設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自分の考えや行動を振り返る学習活動が『あかるい あいさつ』に設定されている。1年間の学びを見渡すために、印をつけ自分の考えや行動を振り返る学習活動が巻末『学びの記録』に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した道徳的価値について、多面的・多角的な見方、考え方へ深める学習活動が『心のベンチ』に設定されている。自分の考えや行動について振り返ったり、教材から学び、心に残っていることを記述したりする学習活動が、別冊『道徳ノート』に設定されている。
光文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、「なりたい自分」を想起したり、心に残っていることや、自らの学習状況を記述したりする学習活動が自己評価シート『学びの足あと』に設定されている。
学研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、児童が自身の成長を振り返り、自己に向き合い、自分をとりまく現代的な課題を意識し目標を見つける学習活動が、巻頭『つながる私 広がる私』に、巻末『つなげよう ひろげよう』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「人権教育」について、第6学年では『ばかじゃん!』など、各学年に複数の教材が設定され、いじめ・人権を考える学習活動がユニット『「いじめ」について、考えよう』に設定されている。
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、第6学年では、いじめ・いのちについて考える学習活動が、『友達だからこそ』『ひきょうだよ』などの教材と『広い海へ出てみよう』で構成されたユニット『いじめをなくす』に設定されている
光村	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止の視点から、第6学年では、「いじめ問題」を考える学習活動が、教材『泣き虫』や『この胸の痛みを』とコラム『「隣人」として寄りそう』で構成されたユニット『いじめを許さない心』に設定されている。
日文	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止の視点から、複数の教材とコラムを関連付けて考える学習活動が、ユニット『いじめをなくすために』に設定されている。第5学年では、『真由、班長になる』『名前のない手紙』とコラム『心のベンチ いじめは止められる!』に設定されている。
光文	[思いやる力]の「人権教育」について、コラムと複数の教材を関連付けた、いじめ・人権について考える学習活動が、ユニット『いじめを生まない心』に設定されている。第5学年では、『いじめを生まない心 クラスの雰囲気、これでいいの?』と教材『光輝の告白』などがユニットとして設定されている。
学研	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止の視点から、第5学年では、いじめ防止に関連する教材とコラムを関連付け、いじめ問題について考える学習活動が、教材『いじめをなくすために』とコラム『心のパスポート 自分だったらどう思うか、三つの立場で考えてみよう』に設定されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 (公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやインターネットなどの適切な使い方及び個人の権利等について考える学習活動が、コラムや教材に設定されている。第6学年ではコラム『さまざまな角度から情報を確認しよう』、第3学年では『作ひんのかち』などに設定されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、第6学年ではネット上でのコミュニケーションに関する問題や個人の権利について考える学習活動が、『個人の権利って』に、第5学年では『ネット上の友達』などに設定されている。
光村	[たくましく生きる力]の「情報化」について、ネット上のルール、肖像権やプライバシー権について考える学習活動が、第6学年では『気に入らなかった写真』、第4学年では『じょうほうと向き合う インターネット上のやり取り』などに設定されている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、携帯電話等の節度ある使い方や情報モラルを考える学習活動が、第6学年では『めざせ!情報モラルの達人』のコーナーが設定されている。また、情報モラルを考える学習活動が第3学年では『きまりはだれのため?』に設定されている。
光文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の正確さ、安全性について考える学習活動が、第3学年では『ヒントまであと少し』やスマートフォンの使用について考える、第6学年では『本当にだいじょうぶ?』が設定されている。
学研	[たくましく生きる力]の「情報化」について、インターネットを使用する際の危険性や個人情報を書き込むことについての問題点を取り上げた学習活動が『私たちと情報』に設定されており、第3学年では『家のパソコンで』、第4学年では『カマキリ』などの教材が設定されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。 (生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第6学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『心をつなぐ音色ーピアニスト辻井伸行ー』や、第3学年では人・公共のために働く思いなどを取り上げた、『「あんぱんの日」ー木村安兵衛・英三郎』が掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第5学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『横浜港のガンマンの思い』や、第4学年では自分の仕事を誇りに思う気持ちを取り上げた『かっこいいせなか』が掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第6学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『「働く」って、どうのこと?』、第4学年では人・公共のために働く思いを取り上げた『神戸のふっこうは、ぼくらの手で』などが掲載されている。
日文	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第6学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『ウイルスとの戦いー父にエールをー』や、人・公共のために働く思いや、自分の仕事を誇りに思う気持ちを取り上げた第4学年『ぼくの草取り体験』などが掲載されている。
光文	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第4学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『ホペイロのヤマさん』や、第6学年ではボランティア等の活動に対する人々の思いについて取り上げた『広村堤防の清掃ボランティア』が掲載されている。
学研	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第5学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『この思いをフェルトペンにたくして』や、第4学年では社会に役立つことをするために必要な心について取り上げた『神戸のふっこうは、ぼくらの手で』が掲載されている。

3 内容と構成

○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭に児童が主体的に考え、議論できるよう、授業の流れを短い文章と挿絵を使って説明した『どんな学びをするのかな?』が掲載されている。また、教材末に発問や「気づく」「考える」「広げる・深める」という話し合いの流れが示されている『問題を見つけて考えよう』が掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、教材名の下に対話による学びの視点や発問例が示されている。また、教材の内容について話し合ったり演じたり書いたりして、自分を見つめ、様々な面から物事を見直し、自分の考えを深める学びの視点が示された『考えよう』『深めよう』が掲載されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭に『みんなで気持ちよく話し合うためのこつ』が掲載されている。また、教材末に、学びのめあてが太字で示され、思考や対話を促す問い『考えよう・話し合おう』が掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、役割演技や話し合いを深める手立てとしての授業展開例が、『ぐっと深める』に学年ごとに複数設定されている。また、全ての教材に、授業の流れに沿って学びを深める発問例が『考えてみよう』などとして掲載されている。
光文	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭に考えを整理するための絵や図の例や、言葉のカードなど話し合いのツールの中から言葉を選び自分たちで言葉を考えるコーナー『話し合って考えてみよう』が示されている。また教材末に、話し合いや思考の整理、学習内容の振り返りを促す『かんがえよう』などが掲載されている。
学研	主体的・対話的で深い学びについて、教材末に自らと教材の内容をつなげて考えるために、話し合いの流れや話し合いを深めるための発問や、考えを書く欄が示された『深めよう』や、道徳的価値について多角的・多面的に考えるための『心のパスポート』が特設ページとして掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第5学年では特別活動と関連した『かれてしまったヒマワリ』、第3学年では外国語活動と関連した『三つの国』などが設定されている。コラムページの上部に関連する教科名が掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第6学年では特別活動と関連した『応援団の旗』第1学年では、国語科と生活科と関連した『おじいちゃん だいすき』などが設定されている。また、児童や学校、地域の実態などに応じた指導のために補充教材が掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、第6学年では、社会科と関連した『世界人権宣言から学ぼう』、第3学年では図画工作科と関連した『よごれた絵』という教材が掲載されている。また、学習のてびきの下には、他教科との関連がわかるようなマークが付されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第3学年では特別活動と関連した『さと子の落とし物』、第1学年では、国語科や生活科と関連した『あいさつの ある いちにち』などが設定されている。また、コラムに「ほかの教科などとの関連」として教科名が掲載されている。
光文	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第6学年では社会科と関連した『鑑真和上』、第1学年に国語科や生活科と関連した『もうすぐ 二ねんせい』などが掲載されている。巻末の内容項目教材一覧の他教科との関連の欄に教科名が掲載されている。
学研	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第1学年では国語科及び生活科と関連した『あかるい あいさつ』、第6学年では総合的な学習の時間と関連した『チョモランマ清掃登山隊』とコラムなどが設定されている。また、安全や食育、スポーツなどとの関連を示すマークが目次や教材のページに掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、言語活動を含めた授業の流れが、文章と挿絵を使い、巻頭の『道徳の学習を始めよう・どんな学びをするのかな?』に掲載されている。また、第6学年では『言葉のおくりもの』に関連させて伝え合う活動例が『つながる・広がる』に掲載されている。
教出	言語能力の育成について、話し合いの進め方や言語活動の例が、巻頭の『道徳ではこんな学び方をするよ』や『学びのガイダンス』に掲載されている。考えを発表するなどの言語活動が、第5学年『ロレンゾの友達』の中に設けられた『やってみよう』に設定されている。
光村	言語能力の育成について、巻頭に話し合い活動の準備や、進め方の手引き、実施例が示されている『みんなが気持ちよく話し合うためのこつ』が掲載されている。また、児童がみんなで言う話し合い活動例が『「考える」準備たいそう』として掲載されている。
日文	言語能力の育成について、話すことや聞くことについての活動例や進め方が、巻頭『道徳のとびら』『道徳の学びかた』のコーナーに掲載されている。第4学年教材『雨のバスでいりゅう所で』では、役割演技を通して考えを深める場が設定されている。
光文	言語能力の育成について、話し合いの進め方や考えの整理の仕方について『道徳の時間はこんな時間です』、『いろいろなやり方で考えてみよう』に掲載されている。また、言語活動との関連を踏まえ、教材と関連する本を読む読書活動や考えたことをノートなどに書いて言語化する活動が『まとめよう』『ひろげよう』に設定されている。
学研	言語能力の育成について、話し合いの進め方や関連する言語活動の例が、『道徳の学習が始まるよ』、『深めよう』に掲載されている。第6学年では『チヨモランマ清掃登山隊』などの教材ごとに『深めよう』という特設ページが設けられ、言語活動例が掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では日本に古くから伝わっているものについて取り上げた『ふろしき』が掲載されている。また、第5学年では、児童にとって身近な題材から伝統的な文化に関することを取り扱った『正月料理』が掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では昔から伝わる行事について写真をもとに学習できるように『にっぽんのぎょうじ』が掲載されている。また、第4学年では、日本や地域の伝統の食べ物を例に、伝統的な文化に関することを取り扱った『赤飯』が掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、第6学年では郷土の伝統文化の継承や発展を通して、国や地域の文化について考える『曲げわっぱから伝わるもの』が掲載されている。第3学年では伝統的な文化を形成する様々な心について考える『ふろしき』などが掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本のお菓子について取り扱った『にっぽんのおかし』が掲載されている。第6学年では茶道における心づかいから伝統や文化について考える『ぼくのお茶体験』が掲載されている。
光文	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では文化財や昔の人々のねがいから伝統的な文化に関することを考える『ねがいをつみ上げた石橋』が掲載されている。第3学年では伝統的な文化について考える『キツネおどり』などが掲載されている。
学研	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では郷土に伝わる行事や歴史的な事象及び和食を取り上げた『おしょうがつ』が掲載されている。第6学年では伝統的な文化を形成する様々な心について考える『大みそかの朝に』などが掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、登場人物になりきって考える学習方法「役割演技」の紹介として『えんじて考えよう』が設定されている。また、『わたしのボランティア体験』の『つながる・広がる いろいろなボランティア活動』では、小学生が参加、体験できるようなボランティア活動が設定されている。
教出	体験活動の充実について、第6学年では、登場人物になって考える学習活動が『だまって借りてもいいのかな』の『演じて考えよう』に設定されている。道徳的行為に関する体験的な学習活動が、『父の言葉』などの教材末に『やってみよう』が設定されている。
光村	体験活動の充実について、役割演技を通じて道徳的諸価値についての理解を深める学習活動が第5学年では『ドッジボール対決』に設定されている。また、登場人物になりきって心情を考える学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。
日文	体験活動の充実について、役割演技や動作化を通して考えを深める教材、第3学年『気づいていなかったこと』など掲載されている。また、目次や教材に役割演技や動作化に関連したマークが示されている。役を演じて登場人物の心情を考える活動がコラム『ぐっと深める』や『心のベンチ』に掲載されている。
光文	体験活動の充実について、第5学年では動作化や役割演技を通して考える活動が『みんなの劇』に設定されている。第6学年では『温かいおまんじゅう』などが設定されている。また、実際に問題となる場面を想定した体験的な活動を通して人間関係の構築につなげるために、『みんなでやってみよう』に設定されている。
学研	体験活動の充実について、第3学年では役割演技を通して考えを深める活動が『貝がら』に設定されている。第5学年では『うばわれた自由』などに設定されている。また、コミュニケーションスキルを高め、考えを深めるための体験的な活動が、児童が学習した内容項目に関連させたコラム『心のパスポート』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、幼稚園・保育園からの接続に関連して、第1学年では、絵や写真など複数配置した教材が掲載されている。中学校との関連を図るため、第6学年では中学生になる児童へのメッセージが『夢をつかむ、ちから。』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、幼稚園・保育園からの接続に関連して、第1学年では、ひらがなで書かれた詩や、イラストや漫画などを用いた教材が掲載されている。第6学年では、巻末に先人の考えに触れ自己の生き方を考える5つの追加教材『世の中のためになることをしたいー石橋 正二郎ー』などが掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では絵や写真などを配置した教材が掲載されており、第6学年では、身近な12歳、卒業後につながる16歳など、先人の夢に触れ将来の生き方についての考える『一さいから百さいの夢』などが掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では小学生になり楽しいことを考える発問が示されており、第6学年では、学ぶことやよりよく生きることについて考える『ゴゴ 九十四歳の小学生』などが掲載されている。
光文	学校段階間の円滑な接続について、幼稚園・保育園からの接続に関連して、第1学年では、絵や写真など複数配置した教材が掲載されている。第6学年では、「本当の自由」について話し合う活動を通して、中学生になるにあたって自分が大切にしていきたいことについて考える『大空に飛び立つ鳥』などが掲載されている。
学研	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では小学生になった気持ちを考える教材として取り上げた『はりきり 1ねんせい』などが掲載されている。第6学年では将来の夢について考える『栄光の架橋』などが掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、著作権とはどのようなものなのか考える、第3学年では『ちょさくけんクイズ』などが設定されている。情報の真偽を慎重に考えることの大切さ、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを扱った第6学年コラム『つながる広がる さまざまな角度から情報を確認しよう』が掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、個人情報の取り扱いについてや、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを扱った複数の教材からなるユニット『じょうほうとむき合う』が設定されている。第6学年では、個人の権利を守るために、プライバシー権があることについての内容『個人の権利って?』などが掲載されている。
光村	情報活用能力の育成について、肖像権やプライバシーの権利、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを扱った複数の教材からなるユニット『じょうほうとむき合う』が設定されている。第2学年『じょうほうとむきあう』では、『どうして声をかけるのかな』、友達の写真をSNSに投稿したことにより、友達が傷ついてしまうことについて考える第6学年『気に入らなかった写真』などが掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、第3学年では、SNSの適切な使い方など、きまりやルールが誰のためにえるのかについて考える『きまりはだれのため?』などが設定されている。第6学年では、情報モラルについてクイズで確かめ、情報モラルについての理解度を確かめる『心のベンチ めがせ!情報モラルの達人』が掲載されている。
光文	情報活用能力の育成について、第3学年では、情報の正確さや、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを扱った『ヒントまであと少し』などが設定されている。第6学年では、危険性も理解した上で、情報を有効活用する方法を考える『情報モラル 情報を有効活用するために』が掲載されている。
学研	情報活用能力の育成について、第3学年では危険なサイトにつながってしまうインターネットの危険性など現代的な情報モラルを扱った『家のパソコンで』などが設定されている。第6学年では、SNS上での適切なやりとりや交流について、具体的な事例を踏まえて考えるコラム『私たちと情報 SNS 私の判断』が掲載されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、学習のおおまかな流れや、学び方の形態についてイラストを用いて説明する『道徳の学習をはじめよう どうな学びをするのかな?』に掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に1時間の学習の流れをイメージするための説明、学びのガイダンス『道徳ではこんな学び方をするよ』が掲載されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、第3学年より冒頭の教材下段に1時間の学習の流れが見てわかるように説明した『道徳の学び方』が掲載されている。
日文	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に1時間の学習の流れや活動形態についてイラストや写真を用いて説明した『道徳の学び方』が掲載されている。
光文	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に1時間の学習の流れや、学習と日常生活の関わりについてイラストを用いて説明する『道徳の時間は、こんな時間です』が掲載されている。
学研	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に考えを深めるための視点や手順についてイラストを用いて説明する『道徳の学習が始まるよ』が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第6学年『ある犬のお話』などに示され、動画や各教材の朗読、スライドショー、デジタルノート等などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第6学年『まなびリンク』などに示され、画像や各教材の解説、参考資料などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第6学年『私には夢がある』などに示され、音声資料、参考資料などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第6学年『めざせ!情報モラルの達人』などに示され、動画や音読データ、参考資料などにつながる二次元コードが掲載されている。
光文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『棚田と人をつなぐ』などに示され、動画や関連するWebサイトへのリンクなどにつながる二次元コードが掲載されている。
学研	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『カラフルな工夫』などに示され、動画や写真、ワークシートへのリンクなどにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」、につながる工夫や配慮がなされているか。	
東書	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いや、自己を見つめ今後に生かす学習活動が、『考えよう』に設定されている。友だちとかかわりあって考える学習活動例が、第2学年では『いそいでいても』の『やってみてかんがえよう』に、第6学年では『ピアノの音が…』の『演じて考えよう』に設定されている。
教出	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、問題解決につながる言語活動が、第2学年では『みほちゃんと、となりのせきのますだくん』、第6学年では『〇〇しながら』の『問題を解決しよう』に設定されている。
光村	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、学びのめあてが示された学習活動が『考えよう・話し合おう』に設定されている。考えを深めるための学習活動が、第2学年では『ありがとうの手紙』、第6学年では『コスモスの花』に『考えるヒント』として設定されている。
日文	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いや、学びを振り返る学習活動が、『ぐっと深める』に設定されている。第6学年では感謝についての思いや考えを友だちと交流する学習活動が示された『ぐっと深める アスリートの言葉』が設定されている。
光文	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的価値に関連して考えることについての3つの柱が示され、それをもとに考える学習活動が、『かんがえよう』に設定されている。同じテーマを多角的な視点から考えることができるよう、第6学年では『生命のメッセージ』が『命をかがやかせて』に設定されている。
学研	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、考え、議論する学習活動が『かんがえよう』や『ふかめよう』に設定されている。友達と話し合う学習活動が、第6学年では『ふかめよう 自然と共存するために』のように設定されている。

⑰ 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。	
東書	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、巻頭の『どんな学びをするのかな?』では、言語活動を含めた授業の流れを文章と挿絵で掲載している。思考ツールを例示し、思考の共有化を通して、議論を深められるよう、巻末に『考えるためのツール』が掲載されている。
教出	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、道徳的課題について解決方法を考え、議論が深まるよう、第6学年では『個人の権利って?』などが掲載されている。児童が多様な視点から物事を見つめ、多面的・多角的に考え、議論できるよう、様々な問いが各教材末の『かんがえよう』『ふかめよう』『つなげよう』に掲載されている。
光村	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、児童から考えを引き出し深めていく様々な手立てが『考えるヒント』に示されている。第3学年では、他者と対話しながら様々な意見を受け止め、道徳的価値について考えを深める『考えるじゅんぴたいそう』が掲載されている。
日文	「議論する道徳」につながる内容構成について、多面的・多角的に考え、議論する話し合い活動について、写真やイラストを用いて視覚的に示した『道徳の学び方』が掲載されている。教材とは異なった角度から問題を考えるコラム『心のベンチ』が設定されている。
光文	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、言語活動の中で、考えをまとめたり、広げたりするための思考ツールを示した『いろいろなやり方で考えてみよう』が掲載されている。第6学年では『夢に向かって』など、オリエンテーション内に設定された思考ツールに立ち戻る手立てが掲載されている。
学研	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、自己を見つめ、深く考える議論のテーマ例を示した『深めよう・自分の進む道は自分で決める』が掲載されている。第6学年では議論するテーマを提示し、多面的・多角的に議論する学習活動が『鬼の銀蔵』などに掲載されている。
⑱ 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技など登場人物の言動を即興的に演技して考える学習活動を示した『えんじて考えよう』が設定されている。第5学年では実際に折り紙を作ることで考えを深める学習活動が『「折り紙大使」—加瀬三郎』に設定されている。
教出	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技や登場人物等の立場になって考える学習活動が『やってみよう』に設定されている。第6学年では、教材の登場人物に話しかけることで多面的・多角的に考える学習活動が『父の言葉』に設定されている。
光村	道徳的行為に関する体験的な学習について、登場人物の言動を即興的に演じて考える役割演技を示した『演じて考えよう』が設定されている。第5学年では、教材の登場人物の言動を演技し考える学習活動が『ドッジボール対決』に設定されている。
日文	道徳的行為に関する体験的な学習について、話し合い活動や体験的な学習などの手法を用いた授業の様子を紹介した『道徳の学び方』が設定されている。第5学年では、考えを深めるために、役を演じて登場人物の心情を考える学習活動が『うばわれた自由』に設定されている。
光文	道徳的行為に関する体験的な学習について、問題解決的な学習や教材の内容を元に役割演技をする学習活動を示した『みんなでやってみよう』が設定されている。第5学年では、教材の内容をもとに役割演技をする学習活動が、『みんなでやってみよう! ナイスリターン』に設定されている。
学研	道徳的行為に関する体験的な学習について、教材での学習を基に、自分につなげて考えたり、体験したりする学習活動を示した『心のパスポート』が設定されている。第3学年では、役割演技を通して考える体験的な学習活動が『貝がら』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。

東書	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、35時間（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。
教出	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、30の主たる教材が掲載されている。また、『補充の教材』として5つ（第1学年のみ4）の教材が掲載されている。
光村	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、35時間（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。
日文	22の内容項目を（低学年19、中学年20）含む、35（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。また、『ふろく』として3つの教材が掲載されている。
光文	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、35（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。また、『付録』として5つ（1年のみ6）の教材が掲載されている。
学研	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、35（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。

⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。

東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
光村	判型はB 5変型判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
光文	判型はA B判が採用されている。
学研	判型はA B判が採用されている。

㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。

東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。』『目次や吹き出し等には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
光文	『ユニバーサルデザインに配慮し、カラーバリアフリーを含む対応をしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学研	『この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、ユニバーサルデザインに配慮して制作しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第6学年	68ページ元気に中学校に通う誉佳さん、70ページししゅうをする誉佳さんとその作品、 72ページ病室でにじをえがく誉佳さん 74ページ地図・神奈川県 78ページ多摩川 109ページ横浜市SDGsの取り組みの例
教出	第5学年 第6学年	42ページ横浜港のガントリークレーン、43ページクレーンを運転する上坪さん 44ページクレーンを下から見た様子、45ページコンテナ、46ページクレーンについて語る上坪さん 120ページ日本青年館での人形かんげい式（写真提供横浜人形の家） 121ページ保存されている人形 39ページ湯河原温泉 157ページ地図・横浜、横浜水道局、158ページ横浜市のマニュアル
光村	第5学年 第6学年	173ページ神奈川県のホテル 26ページ横須賀市立中学校のユニフォーム
日文	第3学年 第5学年 第6学年	116ページ八景島にある水族館、117ページ水族館の館内、 118ページ水族館の館内、119ページ水族館の館内 42ページ相模湾沿岸、43ページ由比ガ浜海岸、山王網一色海岸 99ページ地図・横須賀
光文	第2学年 第3学年 第4学年 第6学年	42ページ小田原市 おぎくぼ用水 めだかの学校石碑 97ページ神奈川県綾瀬市地図 34ページ相模原市石砂山ギフチョウ、35ページカンアオイ、36ページギフチョウのタマゴ 152ページ地図・横浜 58ページ『「一つの『青』」にねがいをこめて』相模原市立青和学園 60ページ相模原市立青和学園校歌 145ページ地図・根岸、製油所 74ページ葉山町棚田、75ページ作業中の写真、77ページ作業中の写真
学研	第3学年	114ページ小田原市 二宮金次郎

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量（g）

発行者名	総冊数	1年	1年別冊	2年	2年別冊	3年	3年別冊	4年	4年別冊	5年	5年別冊	6年	6年別冊
東書	6	278		301		330		340		356		371	
教出	6	337		337		354		353		384		383	
光村	6	254		310		339		341		349		374	
日文	12	305	106	334	105	362	105	371	105	365	105	379	105
光文	6	319		347		360		367		375		375	
学研	6	296		311		325		339		333		349	